COP10/MOP5 公式ガイドブック



生物多様性条約COP10日本準備事務局

COP10 AICHI-NAGOYA

2010年 国際生物多様性年

目　次

◆メッセージ　1

◆会議場案内　7

会場の詳細情報 …… 7
会場外観 …… 11
会場見取り図 …… 12

◆会議日程　20

◆開会式　25

伝統芸能について …… 26
COP10 名誉大使 MISIA プロフィール、歌詞
（LIFE IN HARMONY） …… 27

◆ハイレベル・セグメント　29

◆レセプション　30

伝統芸能について …… 31

◆サイドイベント・展示等　32

サイドイベント …… 33
屋内展示 …… 58
生物多様性交流フェア …… 63
エクスカーション等各種イベント …… 65
〈コラム〉日本政府が参加するサイドイベント・展示等 … 75

◆NGO 関連　79

◆環境配慮　80

◆交通案内　86

案内所 …… 86
公共交通機関 …… 88
タクシー乗降場 …… 89
駐車場 …… 90
主要ホテル位置図 …… 91
名古屋国際会議場と名古屋学院大学内の飲食店・
コンビニエンスストアー …… 92

◆ウェブサイトでの情報提供について　96

◆非常時の注意事項　96

◆その他注意事項　97

◆メッセージ



日本国政府ならびに国民を代表して、2010年10月18日から29日の間愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）に謹んで皆様をお迎えいたします。この生物多様性にとって歴史的な会合を開催することは誠に名誉なことであります。

日本は、COP10の開催国として同会議のロゴマークとスローガン「いのちの共生を、未来へ」を2009年10月13日に発表しました。このロゴでは、折り紙で作られた多様な動植物によって、地球上の生き物の多様性を表現しました。さらに重要なことは、ロゴの中心に大人と子どもを配置して、自然と共生した私たちの暮らしと、この星の豊かな生物多様性を次の世代に引き継いでいくという私たちの決意を表しています。

日本は、開催国としてのCOP10の開催準備に加え、同会議で採択される決議の実施に貢献していきたいと考えています。例えば、日本国環境省は、自然資源の持続可能な管理及び利用を促進する世界共通理念及びその推進のための取組を「SATOYAMAイニシアティブ」として提案するとともに、COP10を契機に、国際協調のための枠組を創設します。

生物多様性の損失は、気候変動の影響とあいまって、世界中でこれまでにない速度で進行しています。COP10は、地球規模の生物多様性の課題に対応し、現在の世代と将来世代のためのニーズを満たす、貴重な機会となるでしょう。日本は、同会議の開催国及び議長国として、行動を起こす用意があります。

さらに、この星の豊かな生物多様性を維持するためには、全ての利害関係者の参加が必要です。COP10において、幅広い利害関係者が愛知・名古屋に集まり、生物多様性そして我々の共通の未来のために、協力していくことを私は望んでおります。

COP10議長
日本国環境大臣
松本龍



この度、農林水産大臣を拝命いたしました鹿野道彦です。

今年は国連の定めた国際生物多様性年であります。この年に日本でCOP10/MOP5を開催できること、そして農林水産大臣として会議に参加できることを私は誇りに思っています。

日本は温帯モンスーン地域に位置していることから、四季の移り変わりが明瞭であります。

会議が開催される10月は、収穫の季節を迎えており、各地で稲刈りが行われていることでしょう。夜には美しい虫の音が聞こえるかもしれません。

そして、会議が終わる頃、日本は北の地方から美しい紅葉の季節を迎えます。

日本は大小およそ7千の島々からなる島国で、隅々にまで、その特徴を生かした農林水産業が営まれています。その農林水産業は多様な生物の関わりを利用した活動です。

特に我が国においては、農林水産業の持続的な営みを通じて、里地・里山・里海といった特有の自然環境を形成、維持し、生物多様性保全に貢献しています。

中でも、水田は陸地におけるまとまった水域を形成し、水生動物を含めた多様な生態系の形成に大きな役割を果たしています。

そして、農山漁村においてこのような生物多様性を持続的に利用することにより、我々は四季折々の豊かな恵みを享受し、農林水産業にまつわる多様な文化を形成してきました。秋の収穫はその最たるものです。

日本では「食欲の秋」と言うくらい、秋は食べ物がおいしい季節です。日本へお越しの際には、素晴らしい自然景観とあわせ食べ物も是非楽しんでください。

この会議においては、生物多様性保全にとって非常に重要である「生物多様性保全のための新たな目標の設定」、「遺伝資源へのアクセスと利益配分に関する国際的な枠組みの策定」、「カルタヘナ議定書の「責任と救済」に関する補足議定書の採択」について議論が行われます。

そして、これらの課題を解決するため、参加される皆さんの大きな努力が求められています。

私はMOP5の議長として、これらの困難な課題を乗り越え、会議の成功へ貢献する所存であります。

また、近年、科学技術の発展により、様々な遺伝子組換え生物が創り出されておりますが、これらの安全性に対する人々の関心は極めて高く、各国が協力してその安全性確保に努める必要があります。私は、MOP5議長として、また、食料をあずかる農林水産大臣として、真剣かつ積極的にこの問題に取り組んで参りたいと考えております。

皆さんと名古屋でお会いできることを楽しみにしています。

COP-MOP5 議長
日本国農林水産大臣
鹿野 道彦



皆さん、この歴史的な愛知県名古屋市における生物多様性会議にようこそおいで下さいました。国連の生物多様性条約とバイオセーフティに関するカルタヘナ議定書を私たちが一丸となって奮闘しつつ実施していくなかで、本会議はひとつの大きな節目に開催されます。そのため、本会議は「いのちの共生を、未来へ」をモットーに行なわれます。日本の人々と日本政府がリーダーシップを発揮し、万事準備してくださったため、皆さんにとって忘れがたい滞在となることでしょうし、また今の世代と未来の世代とが地球上の生命を守るために共に努力していくうえで、本会議は目覚ましい成功をおさめることでしょう。

COP10 には大きな期待が寄せられています。生物多様性の 2020 年目標およびその下位目標の採択のみならず、生物多様性の 2050 年ビジョンの採択も締約国には期待されています。この新たな生物多様性の戦略は、2011 年から 2020 年の生物多様性条約の新戦略計画に組み込まれることになります。また、開発のための生物多様性についての南南協力に関する複数年にわたる活動計画は、生物多様性に関する初めての G77 フォーラムにて採択される見込みにあります。さらには、遺伝資源へのアクセスと利益配分に関する国際レジームの採択も締約国には期待がかけられています。この国際レジームは、生物多様性条約の第三の目的を実際に稼働させることで、ミレニアム開発目標の達成に大きく貢献することとなるでしょう。生物多様性の持続可能な利用にさらに資するものとして、バイオセーフティに関するカルタヘナ議定書第 5 回締約国会議は、「責任と救済」に関する重要で新たな議定書の採択を検討することになります。

世界中の人々の期待に応えることにより皆さんは歴史の証人となり、そして名古屋市と愛知県は、地球上の生命を守るための世界的な協定が誕生した地として、来たる世代に記憶されていくことでしょう。それぞれの国家は同じ地球上に存在する一つの家族のようなものですが、私たちが共有する未来は、いま運命の分かれ目にあります。そして気候変動により輪をかけられて進行している生物多様性の損失という未曾有の難題に対して、私たちは個人として、また団結して立ち向かわなければなりません。
その責任は皆さんにあるのです。

生物多様性条約 事務局長
アフメッド・ジョグラフ

COP10/MOP5



愛知県へようこそいらっしゃいました。

生物多様性条約第 10 回締約国会議及びカルタヘナ議定書第 5 回締約国会合（COP 10, COP-MOP 5）は愛知県内で初めて開催される世界規模の条約締約国会議です。国際生物多様性年にあたる 2010 年に、この会議が開催されみなさまをお迎えすることを、誠に光栄に存じます。

愛知県は日本のほぼ中央に位置し、豊かな自然と活力のある産業、交通利便性の高い都市が調和し、歴史や文化資源などにも恵まれた地域として発展してきました。現在では、自動車産業をはじめとしたものづくりが日本一盛んな地域であるとともに、県域の面積の 42.5% が森林である自然豊かな地域です。その他にも、重要な渡り鳥の飛来地としてラムサール条約に登録されている藤前干潟など貴重な野生生物の生息・生育地が残っています。

2005 年に「自然の叡智」をテーマに愛知県で開催された愛・地球博は、環境に焦点を当てた世界で初めての国際博覧会でした。その後、この愛・地球博を踏まえて、低炭素社会づくりや資源循環型社会づくりに向けて、愛知県はもとより地域が一丸となって取組を進めてまいりました。

そして、愛知県では人と自然が共生する社会の構築を目指すための行動計画として「あいち自然環境保全戦略－生物多様性の保全と持続可能な利用を目指して－」を 2009 年 3 月に策定しました。この戦略に基づき COP 10 の開催地としてふさわしい生物多様性に配慮した地域づくりを目指しています。

COP 10 の開催にあたり、COP 10 の開催地として会議の円滑な運営を支援するため、愛知県をはじめとした行政機関、経済界等が集まり、2008 年 9 月に COP 10 支援実行委員会を設立し、生物多様性に関する普及活動など地元の COP 10 開催機運の醸成を進めるとともに、会議支援の準備などを進めてまいりました。

愛知・名古屋は世界中から多くの人々をお迎えした愛・地球博の経験を活かして、自信を持って、会議参加者のみなさまを温かいホスピタリティでお迎えいたします。

みなさまの快適な愛知・名古屋での滞在と会議の成果が実り多いものとなることを心から祈念しております。

愛知県知事
神田 真秋



国際生物多様性年にあたる 2010 年に、本市で生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）が開催されることは誠に光栄であり、世界中から名古屋へお越しいただいた皆様を心より歓迎いたします。

ドイツ・ボンで開催された COP9 では、生物多様性の保全・管理において、都市や自治体の果たす役割の重要性が、その決議において確認されました。

これを受け、名古屋市は愛知県とともに、生物多様性条約事務局と ICLEI の協力を得て、COP10 関連会議として、生物多様性国際自治体会議を開催いたします。この会議では、国内外の自治体の首長や国際機関の責任者のほか、締約国の代表の皆様にもご参加いただき、COP10 の議題の一つである「都市、地方自治体及び生物多様性に関する行動計画」についても議論してまいります。
また、実際に生物多様性の保全・再生を進めている自治体の先進的な取組について、情報交換や経験交流を行い、地域レベルでの取組のさらなる拡大を目指してまいります。

さて、名古屋は、中部地方における政治・経済・文化の中枢を担う、人口 225 万人の都市です。古来より交通の要衝として栄え、自動車や航空宇宙、ファインセラミックスなどのモノづくりの分野において発展を続ける一方、西部にあるラムサール条約登録湿地の藤前干潟や、東部の東山の森などの里山が残されており、数多くの生き物が生息している都市でもあります。

今年、名古屋は開府 400 年という記念の年を迎え、COP10 開催期間中も市内では様々な催しを実施しております。また、「モノづくりの技と心、自然環境の大切さ」を後世に伝える一大文化事業として、名古屋城本丸御殿の復元にも取り組んでいるほか、1900 年の歴史を有する熱田神宮など、名古屋にはたくさんの歴史的資産が残っております。ご滞在中には、これら名古屋の魅力もお楽しみいただければ幸いです。

名古屋で開催される COP10 が実り多きものとなるとともに、皆様の名古屋でのご滞在が良き思い出となりますよう、心より祈念いたします。

名古屋市長
河村たかし



ご来場のみなさま、COP10 名誉大使の MISIA です。

私は、今年 3 月に COP10 名誉大使に就任して以来、生物多様性に関連する様々な場所を訪れてきました。また、私の活動のあらゆる場面において、生物多様性の普及促進に努めてまいりました。その活動を通じて知ったことは、生物多様性が、私たちの生活すべてを支える基盤であるということです。

私は以前からアフリカの子どもの教育支援を行っているのですが、この地は、生物多様性の損失が深刻な地域のひとつです。開発と近代化が進む中で、環境破壊により、それまでの伝統的な自然と共存する生活ができなくなってしまい、自給自足の生活が厳しくなってしまう現実があります。それにより、貧困層の人々は生活がさらに苦しくなっていることも知っています。生物多様性の損失は、あらゆる問題につながっているのだと思います。

日本に昔からある里山も同様に無くなっています。里山は、人間と動植物が共存し、人間が持続可能な形で自然利用を行ってきましたが、過疎化や高齢化により手入れが行き届かなくなり、里山が荒廃することで、持続可能な利用ができなくなってきたということが大きな問題になっています。つまり、コミュニティの崩壊により、生態系が変容してしまったのです。

開発による生物多様性の損失と持続可能な利用を維持できなくなったことによる生物多様性の損失。これらの損失は、結局すべて人間が引き起こしているものだと感じます。そして、問題解決のために、地域の人達自身がその地域を守るという気持ちが大切なのだと実感しました。
人間はあらゆる生物種と互いに依存し、時には反発し、競争しながら生きています。そのつながりこそが、私たちにとっての幸せにもつながるのだと思います。

国際生物多様性年である 2010 年は、その生物多様性を知り、何ができるのか考える、大きなチャンスの年です。
COP10 に参加していらっしゃるみなさま、国境や性別を超えて、専門や経験に基づいた知識と意識を御活用いただき、この COP10 を機会に、この世界をより良い方向に変えてください。

この COP10 を機会に、一人でも多くの方々に生物多様性について知っていただき、お集まりのみなさまとともにアクションを起こしていけばと願っています。

生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）名誉大使
MISIA

◆ 会議場案内

会議場の詳細情報

インフォメーションセンター

インフォメーションセンターでは名古屋国際会議場（ＮＣＣ）内のご案内の他、ＮＣＣ周辺や名古屋の観光などの諸情報を提供します。

なお会議の会場、議題、開催時刻等は頻繁に変更になりますので、ＣＣＴＶのｃｈ５で流される最新の情報をご確認ください。

場　　所／中庭　騎馬像付近
在席時間／８：30 ～ 19：00（土日含む）
対応言語／英・仏・西・日

CCTV

会議期間中､各種会議･記者会見およびイベントなどの映像を会議場内に配置したモニター（CCTV）で放映する予定です。

（１）CCTV ５ch の編成

チャンネル	ライブ・録画	内容
ｃｈ１	ライブ（一部録画再生）	開会式・閣僚級会合・全体会合・第一、二作業部会冒頭撮り（録画）・記者会見（録画）・サイドイベント（録画）･主要関連行事（録画）
ｃｈ２	ライブ	全体会合・第一作業部会
ｃｈ３	ライブ	第二作業部会
ｃｈ４	録画再生（一部ライブ）	関連情報番組・記者会見（ライブ） ブリーフィング（ライブ）
ｃｈ５	Grand Reserva システム（文字情報）	最新の会議・記者会見の日程など ※ SCBD のホームページからもアクセスできます。

※音声：オリジナル（使用言語）、英語

（２）ＣＣＴＶモニターの設置場所

＜１号館＞
１階：アトリウム、イベントホール、白鳥ホール
２階:ティールーム“ユリ”､センチュリーホールのロビー､ロビー､サイドウォークカフェ
３階：ロビー
４階：ロビー
７階：ロビー

＜２号館＞
１階：ロビー
２階：ラウンジ
３階：サイバーカフェ

＜３号館＞
３階：ロビー

＜４号館＞
３階：ロビー

ウェブキャスト

会議･イベントの模様はインターネットでも動画配信を行っており以下のURLでご覧いただけます。
http://webcast.cop10.go.jp

配信映像（ライブストリーミング）

チャンネル	音声	内容
ｃｈ１	４ｃｈ	開閉会式・閣僚級会合・全体会合・第一、二作業部会冒頭撮り（録画）・記者会見（録画）・サイドイベント（録画）・主要関連行事（録画）
ｃｈ２	４ｃｈ	全体会合・第一業部会
ｃｈ３	４ｃｈ	第二作業部会
ｃｈ４	４ｃｈ	記者会見

※音声４ｃｈ：オリジナル（使用言語）、日本語、英語、フランス語
※各種プログラムは、オンデマンドの配信も行っております
※会議に関する最新の情報はサイト内にある「会議の最新情報」で確認できます。

IMC インフォメーションカウンター

２階IMC内に設置されたインフォメーションカウンターでは、メディア関係者に対しIMC内の施設案内、会議予定情報、取材関連情報を提供しています。また、配布資料等の受付も行っております。

セキュリティ・持ち込み禁止物

会議の安全かつ円滑な実施のため、COP9同様、NCC周囲のフェンス（peripheral fence）の設置、金属探知機（metal detector）、X線透視装置（X-ray detector）、液体物検査装置（Liquid detector）などのセキュリティチェックを行います。また、NCC内に入場するにあたって、施設内禁止事項と持込禁止物を定めております。

会議参加者には、ご不便をかけますが、会議の安全かつ円滑な実施のためよろしくご協力ください。

名古屋国際会議場内での飲食禁止場所及び、喫煙場所について

名古屋国際会議場では、ＣＯＰ１０／ＭＯＰ５開会式会場及び閣僚級会合が開催される１号館のセンチュリーホール及び、３号館３階の記者会見場においての飲食は禁止されています。

また､4号館脇の中庭の灰皿が設置された箇所以外での喫煙は禁じられていますので､ご協力願います。

通訳について

ＣＯＰ１０／ＭＯＰ５の開会式、第一、二作業部会、閣僚級会合においては、国連公用語（６カ国語：英、仏、西、露、アラビア、中）についての同時通訳が行われます。

また、サブイベントにおいて通訳が必要な場合は、通訳サービス（有料）が受けられます。詳細は下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

【通訳サービス連絡先】
株式会社 コングレ　ｅメール：side_event@congre.co.jp　　ＦＡＸ：052-950-3370

代表団ラウンジ

２号館１階に、ラウンドテーブル10台、椅子40脚を用意しています。

サイバーカフェ

２号館３階に50台以上のパソコンを用意しており、無料でインターネット・プリンターをご利用いただけます。なお、館内は無線LAN環境を整備しています。

救護室

1 号館 1 階イベントホール脇には、救護室があり、医師、看護士、通訳（日英）が 10 月 11 日～ 29 日の毎日 8:00 から 20:00 まで待機しております。会議中、具合が悪くなった場合、また、具合が悪い方を見かけたら、救護室まで御連絡下さい。

なお、8:00 ～ 20:00 は救護室医師が対応しますので、119 番通報は控えて下さい。医師が待機していない夜間の時間帯には、119 番通報する必要がありますが、患者の場所を警備員が把握してないと救急隊が現場に直行できないので、119 番通報をした際には、1 号館と 4 号館の間にある警備本部にご連絡願います。

救護室連絡先：090-1476-7042（日英対応）

ビジネスセンター

参加者は、名古屋国際会議場の 1 号館 1 階にあるビジネスセンターで、下記のサービスを受けることができます。

【キンコーズ】営業時間：8:30 ～ 17:00（平日のみ）

コピー（白黒、カラー、サイズは A3 まで）

FAX（送受信）

印刷（サイズは A3 まで）

A3 版より大きいサイズのものはＮＣＣで受け付け、原則として翌日開店時以降に引き渡すことができます。

スキャンニングサービス

製本

ＮＣＣで受け付け可能、原則として翌日開店時以降に引き渡し可能。急ぐ場合は本件業務を行っているキンコーズの名古屋市内各店舗に直接お持ち込みください。

伏見支店

〒 460-0008 名古屋市中区栄 2-3-31 キリン広小路ビル 1F
電話 : 052-231-9211　Fax: 052-231-9258
年中無休

栄支店

〒 460-0003 愛知県名古屋市中区錦 3-15-28 明治安田生命 名古屋錦ビル 1F
電話 : 052-951-8826　Fax: 052-951-8827
月：8:00 開店、火～金：24 時間営業、土：22 時閉店、日：8:00-22:00、祝日：24 時間営業

名駅広小路支店

〒 450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南 1-17-29 広小路 ES ビル 1F
電話 : 052-541-9800　Fax: 052-533-7788
月：8:00 開店、火～金：24 時間営業、土：22 時閉店、日：8:00-22:00、祝日：24 時間営業

お支払いについては、クレジットカード の利用が可能です（VISA, MASTER, JCB, Diners, American Express）。携帯電話レンタルサービスも取り扱っています。

宿舎カウンター（COP10 宿泊予約センター）

会議参加者への宿泊施設の情報提供や、予約・取消・変更などを行います。
【場　　所】2 号館 1 階
【設置期間】10 月 7 日 (木) ～ 29 日 (金)
【業務時間】7 日（木）、8 日（金）、平日（月～金）：9：00 ～ 19：00
　　土、日：10：00 ～ 19：00

会場における荷物の受発送

COP10/MOP5 期間中、名古屋国際会議場で日本郵便および西濃シェンカーが荷物の受発送を行います。
日本郵便は 30kg までの荷物を取り扱うことができます。また、切手販売も行います。
西濃シェンカーは、貨物として荷物を扱います。荷物の重量制限はありません。

遺失物預かり所

落とし物を見つけた方は、2 号館 1 階の参加者ラウンジ横の遺失物預かり所（Lost & Found Desk）まで落とし物を持ってきて下さい。（在席時間：月～金 9：00 ～ 18：00）
落とし物をした方は、落とし物があるかもしれませんので遺失物預かり所までお越し下さい。ただし、落とし物は長期間預かることができませんので、気がついたらできるだけ早く訪れてください。落とし物が既に警察署に移管されている場合には、警察署までとりに行って頂くことになりますので、ご了承ください。

二国間会談室

名古屋国際会議場 1 号館 7 階レストラン「パステル」は、10 月 25 日～ 29 日までの 9:00 ～ 19:45（予定）までの間、二国間会談室として使用します。各締約国・各機関の閣僚以上が使用対象となり、予約申し込みが必要です（1 スロット 45 分間）。予約申し込みは、10 月 11 日以降（予定）、先着順で受け付けますので、bilateral@convention.co.jp までご連絡ください。詳細についても上記連絡先にお問い合わせください。

廃棄物処理

館内で発生した廃棄物につきましては、1 階（1 号館、2 号館、4 号館）に設置してあるごみステーションに各自でお捨てください。ごみは 11 種類（P.84 参照）に分別しての回収となりますので、詳しくはごみステーションで、待機している地元ボランティアの方々にお尋ねください。

国際会議場内でのレストラン施設及び、コンビニエンスストアーの営業について

P.92 ～ P.95 参照

会場外観

北側・正面玄関（外観）



北側・正面玄関（空撮）



会場見取り図 1F

①インフォメーションセンター
②代表団ラウンジ
③救護室
④ビジネスセンター
⑤宿舎カウンター
⑥郵便局
⑦遺失物預かり所
⑧ごみステーション
⑨コンビニエンスストアー

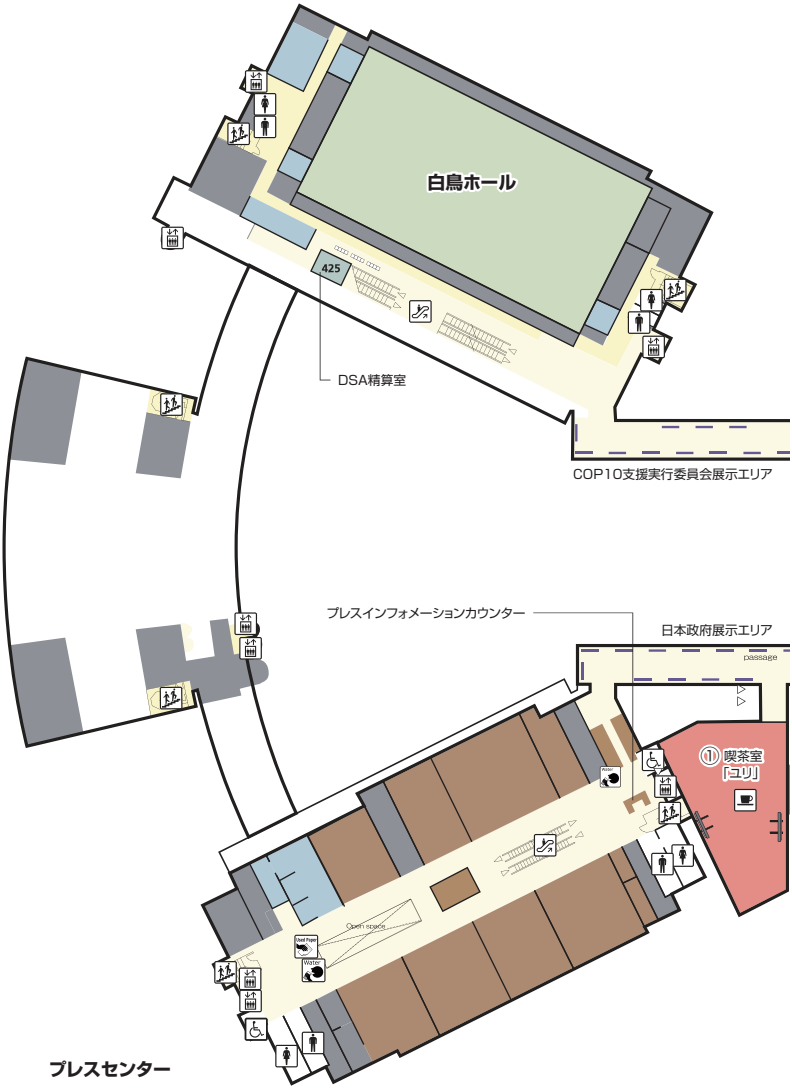


1F


③救護室
出入口通路
イベントホール
プレナリー & ワーキンググループ 1
⑧
リオ3条約
事務局展示エリア
①インフォメーション
センター
騎馬像
COP10支援実行委員会
インフォメーションセンター
コングレスバック
配布机
アトリウム
文書配布
エリア
④ビジネス
センター
④ビジネス
センター
⑨コンビニ
エンス
ストアー
⑥郵便局
バッジチェック
ポイント
X線検査機
出入口通路
NCC
管理室
センチュリーホール
COP-MOP5開会
COP10開会
ハイレベルセグメント
ステージ
登録エリア
△△△△
会議室
オフィス
展示
ボランティア
各種サービス
スーパーワールドカード販売機
ごみ(7分別)
使用済み用紙集積所
給水所

会場見取り図 2F

①喫茶室「ユリ」

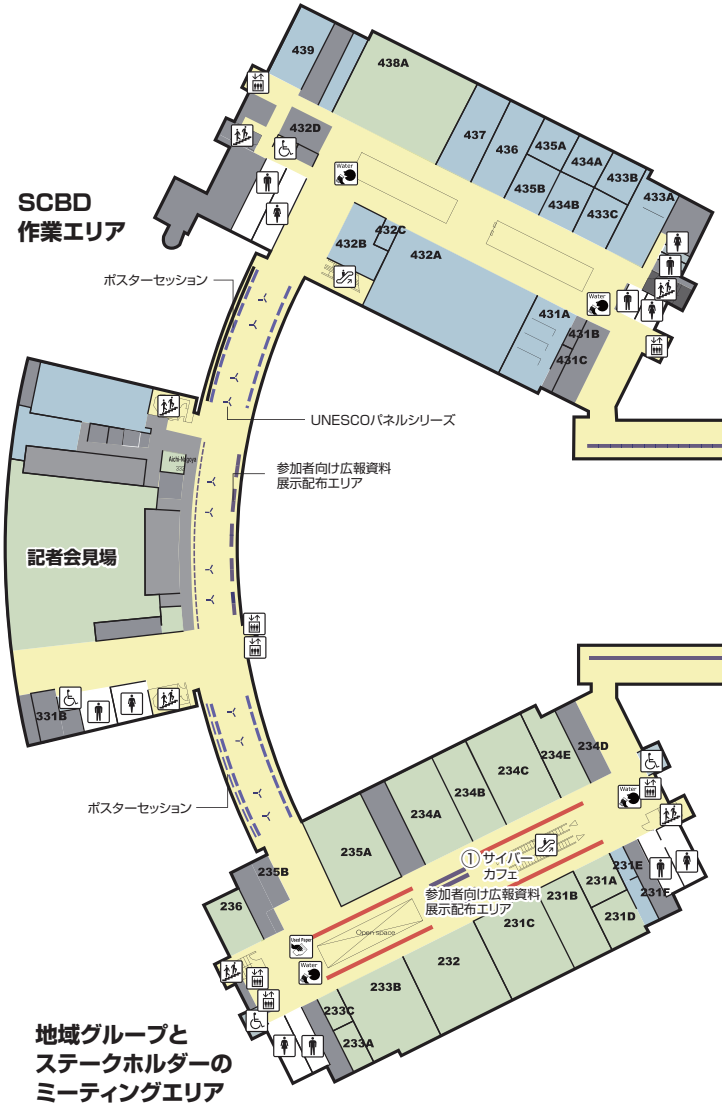


2F

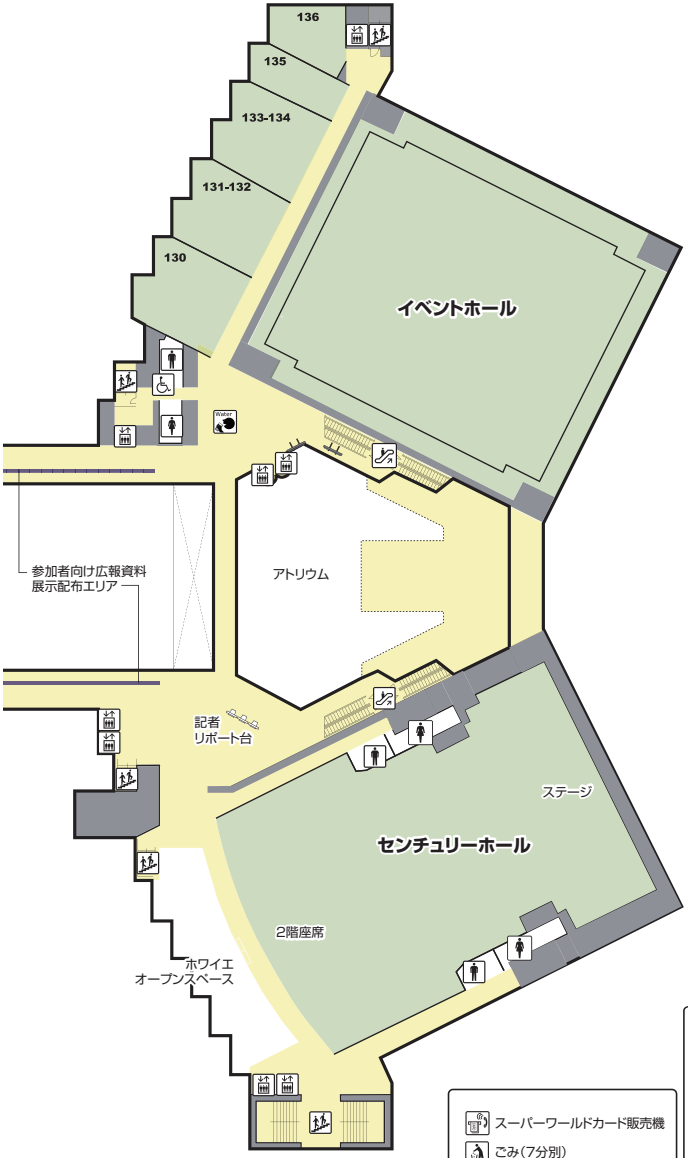

125
124
イベントホール
サイドウォークカフェ
アトリウム
入口
ハイレベルセグメント
VIP用出入口
センチュリーホール
スーパーワールドカード販売機
ごみ(7分別)
使用済み用紙集積所
給水所
会議室
オフィス
展示
国際メディアセンター
ボランティア
各種サービス

会場見取り図 3F

①サイバーカフェ



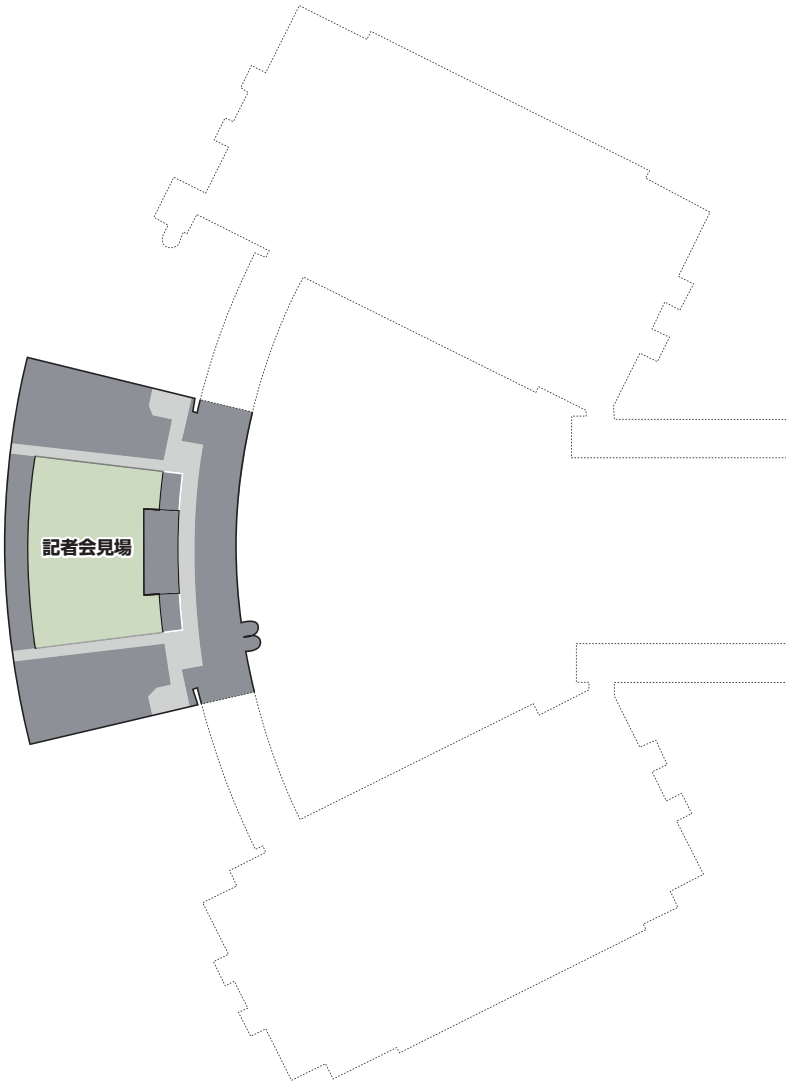
3F



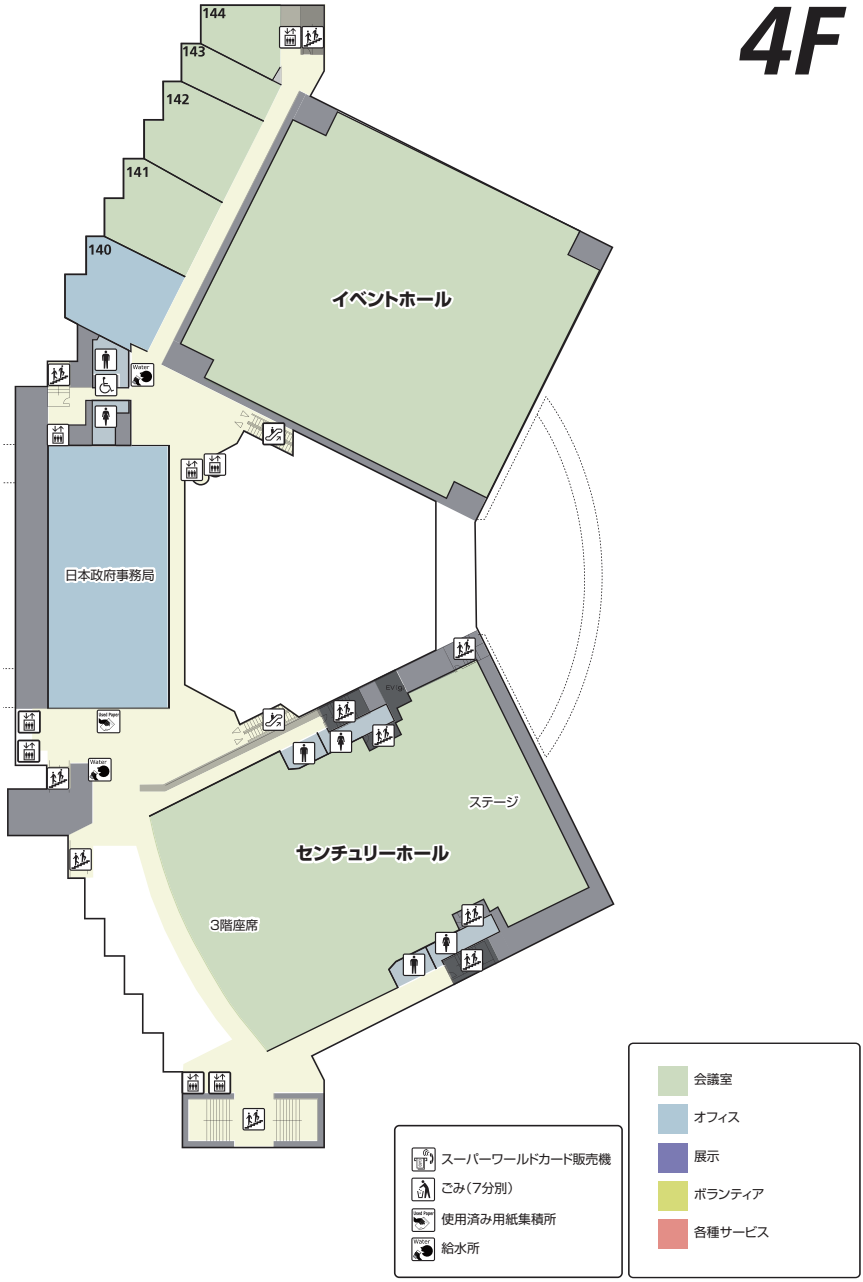
- スーパーワールドカード販売機
- ごみ(7分別)
- 使用済み用紙集積所
- 給水所

- 会議室
- オフィス
- 展示
- ボランティア
- 各種サービス

会場見取り図 4F



4F


144
143
142
141
140
イベントホール
日本政府事務局
ステージ
センチュリーホール
3階座席
スーパーワールドカード販売機
ごみ(7分別)
使用済み用紙集積所
給水所
会議室
オフィス
展示
ボランティア
各種サービス

◆ 会議日程

COP-MOP5

	全体会合	第一作業部会	第二作業部会
10/11（月） 10：00 ～ 11：00	1. 開会		
11：00 ～ 13：00	個別議題： 2. 組織の運営に関する事項 2.1. 役員 2.2. 議題の採択 2.3. 作業組織 3. COP-MOP5 への代表団信任状に関する報告 4. 遵守委員会からの報告 7. 資金供与メカニズムと資金源に関する事項 8. 他の組織、条約及び、イニシアティアブとの協力 9. 議定書の行政管理及び予算関連事項についての事務局長からの報告 12. 責任と救済（第 27 条）		
15：00 ～ 18：00		個別議題： 4. 遵守委員会からの報告 11. 改変された生物の通過に関する締約国の権利及び / 又は義務 15. モニタリング及び報告（第 33 条） 16. 評価及び再検討（第 35 条） 17. カルタヘナ議定書の戦略計画及び締約国会議の作業計画	個別議題： 5. バイオセーフティ情報交換センター（BCH）の運用及び活動 6. 能力開発活動及びバイオセーフティ専門家登録制度の利用に関する状況 10. 改変された生物の取扱い、輸送、包装及び表示（第 18 条） 13. リスク評価及びリスク管理（第 15,16 条） 14. 公衆の啓発と参加（第 23 条）

	全体会合	第一作業部会	第二作業部会
10/12 (火) 10：00 ～ 13：00		個別議題： 議題 4, 11, 15, 16 及び 17 の継続審議	個別議題： 議題 5, 6, 10 及び 14 の継続審議
15：00 ～ 18：00		個別議題： 議題 4, 11, 15, 16 及び 17 の継続審議	個別議題： 議題 5, 6, 10, 13 及び 14 の継続審議
10/13 (水) 10：00 ～ 11：00	作業部会の進捗状況に関する報告		
11：00 ～ 13：00	個別議題： 議題 3, 4, 7, 8, 9 及び 12 の継続審議		
15：00 ～ 18：00		個別議題： 議題 4, 11, 15, 16 及び 17 の継続審	個別議題： 議題 5, 6, 10, 13 及び 14 の継続審議
10/14 (木) 10：00 ～ 13：00		個別議題： 議題 4, 11, 15, 16 及び 17 の継続審議	個別議題： 議題 5, 6, 10, 13 及び 14 の継続審議
15：00 ～ 18：00		個別議題： 議題 4, 11, 15, 16 及び 17 の継続審議	個別議題： 議題 5, 6, 10, 13 及び 14 の継続審議
10/15 (金) 10：00 ～ 13：00 及び 15：00 ～ 18：00	個別議題： 18. その他事項 19. COP-MOP6 の開催日と場所 20. 報告書の採択 21. 閉会		

COP10

	全体会合	第一作業部会	第二作業部会
10/18 (月) 10：00 ～ 11：30	1.1. 開会		
11：30 ～ 13：00	1.2. 役員選出 1.3. 議題の採択 1.4 組織運営に関する事項 1.5. COP10 への代表団信任状に関する報告 1.6. 保留事項 2.1. 会期間会合及び地域準備会合に関する報告 2.2. 地球環境ファシリティによる報告 2.3. 条約事務局長による条約の行政管理と条約信託基金予算に関する報告 3. アクセスと利益配分に関する国際レジーム 7. 条約の行政管理及び条約信託基金の 2011 年～ 2012 年 2 か年予算		
15：00 ～ 18：00		5.1. 陸水の生物多様性 5.3. 山岳の生物多様性	4.1. 生物多様性 2010 年目標の進捗－国別報告書、地球規模生物多様性概況など 4.2. 改定戦略計画、生物多様性目標及び指標
10/19 (火) 10：00 ～ 13：00		5.2. 海洋と沿岸の生物多様性	4.3. 条約の運営－2011 年から 2022 年までの作業プログラム、締約国会議の開催頻度 6.9. 新たな課題
15：00 ～ 18：00		5.4. 保護地域 5.5. 生物多様性の持続可能な利用	4.4. 資源動員戦略 4.10. 資金メカニズム－第 4 回有効性検証とガイダンス

	全体会合	第一作業部会	第二作業部会
10/20 (水) 10：00 ～ 13：00		5.6. 生物多様性と気候変動	4.5. 科学及び技術協力とバイオセーフティ情報交換センター（BCH） 4.6. 技術移転と協力
15：00 ～ 18：00		6.2. 乾燥地と半湿潤地の生物多様性 6.3. 森林の生物多様性	4.8. 広報、教育、普及啓発（CEPA）及び国際生物多様性年
10/21 (木) 10：00 ～ 13：00		6.1. 農業の生物多様性 6.4. バイオ燃料と生物多様性	4.9. 他の条約、国際機関及び国際イニシアティブとの協力、ステークホルダーの参画－ビジネスと生物多様性、都市と生物多様性、南南協力など
15：00 ～ 18：00		6.5. 侵略的外来種 6.6. 世界分類学イニシアティブ	4.7. 世界植物保全戦略
10/22 (金) 10：00 ～ 13：00		6.8. 奨励措置	6.7. 第 8 条（j）及び関連条項
15：00 ～ 18：00		全体会合に引き続き （議題未定）	全体会合に引き続き （議題未定）
18：00	作業部会並びアクセスと利益配分及び予算に関するコンタクトグループの進捗状況の報告		
10/25 (月) 10：00 ～ 13：00	リンネ・レクチャー	（議題未定）	（議題未定）
15：00 ～ 18：00		（議題未定）	（議題未定）

	全体会合	第一作業部会	第二作業部会
10/26 (火) 10：00 ～ 13：00		(議題未定)	(議題未定)
15：00 ～ 18：00		(議題未定)	(議題未定)
10/27 (水) 10：00 ～ 13：00		(議題未定)	(議題未定)
15：00 ～ 18：00		(議題未定)	(議題未定)
10/28 (木) 10：00 ～ 13：00		(議題未定)	(議題未定)
15：00 ～ 18：00		(議題未定)	(議題未定)
10/29 (金) 10：00 ～ 13：00	(会議の予定なし)	(会議の予定なし)	(会議の予定なし)
15：00 ～ 18：00	3. アクセスと利益配分に関する国際レジーム 7. 条約の行政管理及び条約信託基金の2011年～2012年2か年予算 1.7. COP11の開催日と場所 8.1. その他の事項 8.2. 報告書の採択 8.3. 閉会		
18：00	COP11のホスト国によるクロージングレセプション		

◆ 開会式

COP-MOP５開会式議事次第

（10 月 11 日（月）10：00 ～ 11：00、於：名古屋国際会議場「センチュリーホール」）

1．開会式前（9：30 ～ 10：00）
　日本政府作成広報 DVD をスクリーンにて放映
2．開会式（10：00 ～ 11：00）
　（1）関係者挨拶
　　・COP-MOP4 議長挨拶
　　・COP-MOP5 議長挨拶
　　・来賓挨拶
　（2）「参加ふれあい ～木づかいで COP10 ～」ネームプレート贈呈
3．議事（11：00 ～ 13：00）

COP10開会式議事次第

（10 月 18 日（月）10：00 ～ 11：30、於：名古屋国際会議場「センチュリーホール」）

1．開会式（10：00 ～ 11：30）
　（1）伝統芸能披露（詳細は P.26 をご覧ください）
　　出演：篠笛奏者 デヴァ・ヨーコ／ 手影絵（映像出演）劇団かかし座
　（2）関係者挨拶
　　・COP9 議長挨拶
　　・COP10 議長挨拶
　　・来賓挨拶
　（3）日本政府作成広報 DVD をスクリーンにて放映
　（4）MISIA COP10 名誉大使 挨拶及び歌唱（詳細については P.27 ～ 28 をご覧ください。
2．議事（11：30 ～ 13：00）

伝統芸能について

ＣＯＰ１０開会式では、“ホスト国　日本らしさ”と“生物多様性”をコンセプトに、「篠笛演奏」と「手影絵」が融合した幻想的なオープニング演出を行います。

「篠笛」は、日本の伝統的な横笛の一種であり、人々の心を癒す笛として、遠く神話の時代から吹き継がれてきました。そして、その特徴は近代的な改良が加えられず、竹の原形をそのまま活かした環境に優しい楽器であることです。開催都市：名古屋在住の篠笛奏者「デヴァ・ヨーコ氏」に演奏していただきます。

途中、篠笛演奏に合わせて、スクリーンでは日本の四季の風景画と手影絵により生物多様性を表現した映像を上映します。手影絵は、日本で最初にできた影絵の専門劇団「劇団かかし座」によるものです。手影絵が作り出す不思議な世界、そして多様な生き物をご覧ください。

出演者プロフィール／デヴァ・ヨーコ

名古屋市在住。国立音楽大学フルート科卒業。後に日本の伝統音楽を学ぶ。

1979 年頃より篠笛のプロ演奏家として音楽活動を開始。

その後民族音楽を求めてアジアの各地を訪れたことが深い精神性の扉を開く機会となり、無心のスペースから沸き起こる音楽を聞き手に届ける演奏活動を世界の各地で行っている。

出演者プロフィール／劇団かかし座

劇団かかし座は、日本で最初にできた影絵の専門劇団として、1952 年に後藤泰隆（とうたいりう）によって創立。

影絵の世界は人々の心を無限の想像へ駆り立てる、ふしぎな性質と魅力をもっている。

この性質と魅力をもって「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで創立以来 50 年にわたりかかし座独自の手法で独特な影絵を、ＴＶ、映画、舞台、出版などを通じて提供。

COP10 名誉大使 ＭＩＳＩＡ プロフィール



1998 年「つつみ込むように…」でデビュー以来、「Everything」や「逢いたくていま」など数多くの名作を発表し、アジア全域においても人気を博している。

その類稀な才能は音楽だけにとどまらず、2005 年より G-CAP（Global Call to Action Against Poverty: 貧困をなくすためのグローバル・コール）の日本版キャンペーンに参加。2008 年にはアフリカや世界の問題についての啓発を目的とする「Africa Benefit Live YOKOHAMA」を開催。U2 のボノ、ユッスー・ンドゥールらとともに貧困撲滅を訴えるイベントに参加。2008 年から途上国の子どもたちを取り巻く教育支援活動など、世界的視野のもとでの社会貢献活動にも注力している。

2010 年 3 月 これまでの功績を認められ、国連本部より生物多様性条約の会議 (COP10) の名誉大使に任命された。同年 5 月に世界的課題を音楽やアートを通じて普及啓発することを目的に設立された一般財団法人 mudef に理事として参加。

8 月には世界的な音楽プロデューサー、デイビッド・フォスターによる新曲「Life in Harmony」を制作。生物多様性をテーマに作られた同曲はフォスターからも高い評価を得ている。

COP10 タイアップ曲

LIFE IN HARMONY

Lyrics by MISIA
Music by yellowRubato
Produced by David Foster

ほどけた糸を見つけ そっと結び直すの
共に信じていることを 見つめ合う 時の中で

風は花を揺らして 雨は地に降りそそぎ この頬に触れて
鳥は大空を飛び 遥か遠く羽ばたく また花を咲かせる

Living life in harmony I’ m just feeling この空の下
数えきれないほどの命が 繋がり 生きている

例えば君のために 何か一つできたら
同じ時代に生きていくことを 語ろう この場所で

親が泣いた姿に 子供は心傷つけてる
ねえ どうか気がついて

Living life in harmony 一人では 生きていけないと
語りきれないほどの 痛みが 教えてくれる

共に歩いていく道ならば 共に築いていけばいい
互いの命の重さだけ この長い道を踏み固めながら

Living life in harmony I’ m just feeling この空の下で
語りきれないほどの祈りや 願いが作っていく 果てない未来を
Living… I’ m just feeling
数えきれないほどの命が 繋がる あなたへと

Living… We are living together

◆ ハイレベル･セグメント

日程：2010 年 10 月 27 ～ 29 日
会場：愛知県名古屋市、名古屋国際会議場内「センチュリー・ホール」

ハイレベル・セグメント 日程表

2010 年 9 月現在

日付	10 月 27 日 水曜日	10 月 28 日 木曜日	10 月 29 日 金曜日
午前	10:00 **ハイレベル・セグメント開会式** 11:30	10:00 **多様な主体によるパネル・ディスカッション** 11:30	10:00 **出席者によるステートメント**
		11:30 **出席者によるステートメント** 12:00	**議長による総括ステートメント** 12:00
昼	12:30 **日本政府主催レセプション** 会場：名古屋観光ホテル 被招待者：ハイレベル・セグメント参加者 14:00	13:00 **日本政府主催レセプション** 会場：ヒルトン名古屋ホテル 被招待者：ハイレベル・セグメント参加者 14:30	13:00 **COP10 支援実行委員会主催レセプション** 会場：ホテル・グランコート名古屋 被招待者：ハイレベル・セグメント参加者 14:30
	15:00 **出席者によるステートメント** 19:00	15:30 **出席者によるステートメント** 18:00	**CBD-COP10 閉会式**
夜	20:00 **日本政府主催レセプション** 会場：ウェスティン・ナゴヤ・キャッスル 被招待者：ハイレベル・セグメント参加者	19:00 **CBD 事務局･GEF･日本経団連･COP10 支援実行委員会共催ビジネスCEOとの対話** 会場：ポートメッセなごや 被招待者：ハイレベル・セグメント参加者 19:00-20:45[未定] パネル・ディスカッション 20:45[未定] レセプション	

詳細は追って日本政府公式ウェブサイトに掲載予定　http://www.cop10.go.jp

◆ レセプション

日本政府は、会議に参加される皆様を歓迎し、更に活発な議論を引き出す雰囲気を醸成するために、COP10/MOP5 会期中、会議に参加される皆様に対して下記の通りレセプションを開催いたします。

レセプションでは地元の食材を使った料理に加え、日本の伝統芸能等によるエンターテイメントを企画しております。会議参加者と日本政府、地元愛知県及び名古屋市の関係者との交流をどうぞお楽しみください。

MOP 開会レセプション

主催：COP-MOP 議長
日時：10 月 11 日（月）19：00 ～ 21：00
形式：立食ビュッフェ
会場：名古屋観光ホテル那古の間
アトラクション：伝統芸能（尾張太鼓）（P.31 参照）
移動：公共の交通機関をご利用ください。（P.88 参照）
地図：P.91 参照


名古屋観光ホテル


那古の間

COP 開会レセプション

主催：COP 議長
日時：10 月 18 日（月）18:30 ～ 20:30
形式：立食ビュッフェ
会場：名古屋国際会議場中庭
アトラクション：伝統芸能（ものまね）
（P.31 参照）
地図：P.91 参照


名古屋国際会議場中庭

伝統芸能（尾張太鼓）について

COP-MOP5 開会レセプションでは、地元名古屋の伝統芸能である尾張太鼓を披露します。

江戸時代後期、今から 200 年ほど前より今日まで伝えられた尾張太鼓。五穀豊穣と住民の安全を願って、神社の祭礼の時に、金色に輝く屋形神楽を引き出し、太鼓を打ち鳴らしながら村々を引き廻る風習が、尾張地方、ことに愛知県海部郡に伝えられています。その太鼓を基本として、現代風にアレンジした打法が「尾張太鼓」です。これまでに、愛知県を中心に、海外では中国、オーストラリアのウィーン、シンガポール、スペインなどの舞台で大変好評を得ました。素朴な中にも、勇壮で繊細な尾張太鼓の醍醐味をどうぞお楽しみください。

『出演者プロフィール／安倭流竜鳳鼓謡会』

安倭流竜鳳鼓謡会は、名古屋の民謡会及び尾張太鼓「竜の会」を合併させることにより、家元である安倭滋成が 1994 年に結成。

愛知万博「愛・地球博」における演奏等、愛知県内のみならず、世界各地の舞台で公演を行い実績を積んでいる。その素朴でありながらも勇壮で繊細な演奏は世界中で大変好評を得ている。

伝統芸能（ものまね）について

COP10 開会レセプションでは四代目江戸家猫八による動物のものまねと音楽のコラボレーションを披露します。

日本の人々は、生活に密接に関係する動物や昆虫、様々な鳥の鳴き真似に古くから親しんでおり、虫の音や鳥の鳴き声は人々の生活に溶け込んだものとなっています。

初代江戸家猫八は、およそ 100 年前、この「動物の鳴き真似や仕草」を芸術の域にまで昇華させました。

その芸は本日紹介する四代目江戸家猫八に引き継がれています。

日本の豊かな自然を背景に生まれたものまねと皆さんのご存知な音楽がどのようなハーモニーを奏でるのか、どうぞお楽しみください。

『出演者プロフィール／四代目 江戸家猫八』

1949 年、東京生まれ。祖父・父の代から続くものまね芸に携わる。
2009 年、四代目江戸家猫八襲名。動物や鳥のものまねを得意とし、テレビ、ラジオ、寄席などで活躍。
また「文化」「健康」「環境」などをテーマに全国で講演も行っている。
受賞歴は、放送演芸大賞、ベストファーザー賞、文化庁芸術祭優秀賞など。

◆ サイドイベント・展示等

名古屋国際会議場の内外では、サイドイベントや展示など、会議に参加する様々な主体がCOP10/MOP5の議題に関連する自らの取組を紹介するとともに、会議参加主体以外も含めた様々な関係主体の取組について情報収集し、またお互いに情報交換する場が用意されています。大きく分けて、主として会議場内で開催される「サイドイベント」・「屋内展示」、会議場に隣接する白鳥公園を中心に開催される「生物多様性交流フェア」、様々なサテライト会場で開催される「エクスカーション等各種イベント」があります。

1. サイドイベント（P.33 ～ 58 参照）

CBD事務局が主催する発表者公募型のセッションイベントです。CBD事務局の呼びかけに対して世界中から300を超える申込があり、会議場内の17の部屋、名古屋学院大学体育館及び白鳥公園内の日本政府屋外大型テントにおいて同時並行で開催されます。

2. 屋内展示（P.58 ～ 62 参照）

CBD事務局が主催する発表者公募型の展示・セッションイベントと して、情報交換・教育・普及啓発をテーマとした「CEPAフェア」及び生物多様性保全・気候変動・土地管理をテーマとした「リオパビリオン」があり、日本政府が主催する発表者公募型の展示イベントとして「ポスターセッション」があります。また、参加者向けの広報資料展示配布エリアもあります。このほか、CBD事務局を含むリオ3条約事務局の展示エリアやUNESCOのパネルシリーズ展示エリア、日本政府の展示エリア、地元愛知県・名古屋市のCOP10支援実行委員会の展示エリアがあります。

3. 生物多様性交流フェア（P.63 ～ 64 参照）

地元のCOP10支援実行委員会が主催する発表者公募型の展示・セッションイベントとして、白鳥公園、熱田公園及び名古屋学院大学体育館にて「生物多様性交流フェア」が開催されます。

4. エクスカーション等各種イベント（P.65 ～ 74 参照）

地元のCOP10支援実行委員会が中心となって、関係省庁の中部地区の出先機関にも協力を呼びかけ、愛知県内外の様々なサテライト会場にてエクスカーションや発表交流事業、展示会、各種関連会議等が開催されます。

1.サイドイベント

締約国、各種団体の取組の紹介及び情報共有・意見交換の場として CBD 事務局が主催するセッション形式のイベントです。会議場内の各種会議室において、主として本会議の休憩時間中に同時並行で開催されます。

日程（P.36 ～ 58 参照）

COP-MOP5 期間中：10 月 11 日昼、12 ～ 14 日昼 / 夜、15 日昼
COP10 期間中：10 月 18 日昼、19 ～ 22 日昼 / 夕 / 夜、23 日昼、25 ～ 28 日昼 / 夕 / 夜、29 日昼
（昼：13:15-14:45、夕：16：30 ～ 18：00、夜：18：15 ～ 19：45）

会場（P.35 参照）

名古屋国際会議場 1 号館 1 ～ 3 階、2 号館 1 ・ 3 階、3 号館 3 階、4 号館 1 階（17 部屋程度）
名古屋学院大学体育館 2 階
日本政府屋外大型テント（白鳥公園内）

オーガナイザー向け情報

サイドイベントに関する情報、規則および手順」（CBD 事務局 HP より仮訳転載）

サイドイベントへの参加

サイドイベントでのスピーカーや特別招待者は、サイドイベントのみの参加であっても COP-MOP5 または COP10 への参加者として事前登録が必要です。

会場での開催支援

本ウェブサイト上に、会場で利用できるサイドイベントオーガナイザーへの開催支援専用の電話番号を掲載する予定です。開催支援の内容は、IT 機器、ケータリング、印刷物や物品の送付場所、スピーカーや特別招待者の会場入場の誘導です。利用時間は COP-MOP5、COP10 会議開催中の午前 9 時から午後 6 時までとなります。詳細は 10 月 8 日に掲載する予定です（更新情報については、このページを再訪問してください）。

サイドイベント会場の標準設備

全てのサイドイベント会場には下記のものが用意されています。
・音声・画像付き LCD プロジェクター　・コンピューター（ノートパソコンの可能性あり）
・演壇用マイク 1 本　・参加者用マイク 2 本

サイドイベントオーガナイザーの費用負担

下記のサービスは有料です。
・サイドイベント用追加機器のレンタル
技術機器のレンタル
株式会社コングレ　E-mail: side_event@congre.co.jp　Fax: 052-950-3370
・主催者が手配するサイドイベント用ケータリング
ケータリング
株式会社名鉄グランドホテル　E-mail: ncc-cop10@meitetsu-gh.co.jp　Fax: 052-683-7730
ケータリングのご要望はこちらから
http://www.nagoya-congress-center.jp/english/catering.html
（日本語：http://www.nagoya-congress-center.jp/catering.html）
ケータリングサービスの詳細はウェブサイト上に掲載する予定です。
・通訳者と通訳機器

通訳サービスと通訳機器

株式会社コングレ　E-mail: side_event@congre.co.jp　Fax: 052-950-3370

サイドイベント情報の掲示

会議場内にはサイドイベント宣伝用のパネルを設置する予定です。指定の場所以外の宣伝物掲示は禁止されており、即時撤去されます。参加者にチラシを直接手渡しするのは可能です。

サイドイベント会場での飲食

以下の会場での飲食は禁止されています。

・センチュリーホール　・白鳥ホール　・イベントホール

その他のサイドイベント会場で飲食する場合は、主催者の責任においてサイドイベント後に会場をきれいに掃除してください。

部屋番号の表示

サイドイベント会場の部屋番号の表示は、名古屋国際会議場の表記方法に準じます。

例：234 号室の場合、「2」は 2 号館、「3」は 3 階、「4」は部屋番号を示す。

会場変更

会場変更が生じた場合、主催者の責任においてケータリング、機器レンタル、通訳の業者に連絡してください。会場変更については事務局からオーガナイザーに E-mail にてご連絡します。サイドイベントの申込書に記載されている連絡先 E-mail アドレスが正しいかどうかご確認ください。事務局では COP-MOP5 及び COP10 期間中の全サイドイベント用のスペースを予約済みですので、各サイドイベントの日時の変更はできません。

会場設定と IT 機器

U 字型、教室型、シアター型など様々な会場設定スタイルがありますが、会場設定の変更はできませんのでご了承ください。また演壇、椅子、テーブル、機器は絶対に持ち出さないようお願いいたします。

サイドイベントの追加時間枠

非常に多数のサイドイベント申込が事務局に寄せられました。できるだけ多くのサイドイベントを採用するために毎日午後 4：30 から 6：00 までの時間枠を追加しました。

サイドイベント会場の設備

全ての会場には、インターネットに接続できるコンピューター（ノートパソコンの場合有り）、プロジェクター（音声・画像付き）、演壇用マイク 1 本、出席者マイク 2 本以上が備え付けられています。

通訳機器付きの会場

通訳ブース付きの会場は以下の会場のみとなりますのでご了承ください。

・センチュリーホール（6 ブース）　・白鳥ホール（6 ブース）

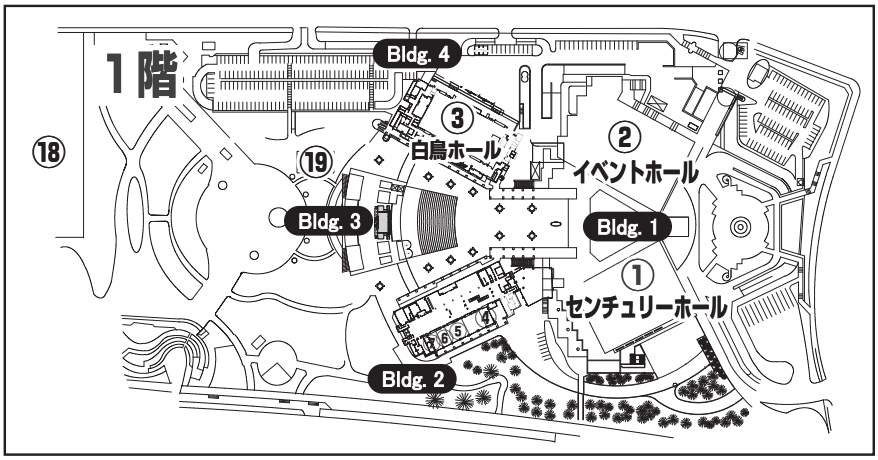
・イベントホール（6 ブース）　　・名古屋学院大学（2 ブース）

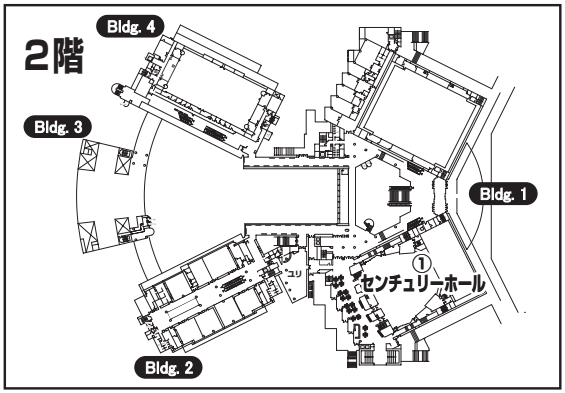
サイドイベント抄録

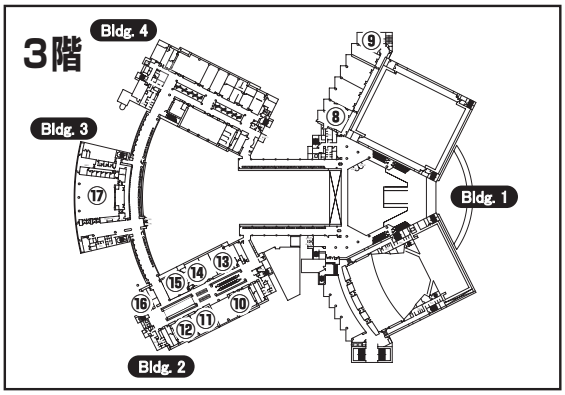
事務局では会議期間中に開催されたサイドイベントの抄録を発行するため、各サイドイベント主催者はお手数ですが Ms. Pedicelli (lisa.pedicelli@cbd.int) 宛にサイドイベントの目的と概要を簡単に記したものを 11 月 15 日までにご送付ください。締め切り後に到着したものは抄録には掲載いたしませんのでお気をつけください。

サイドイベント会場案内

サイドイベントは、COP10/MOP5 期間中に以下の会場にて開催されます。







会議場内	
①	センチュリーホール
②	イベントホール
③	白鳥ホール
④	210A 号室
⑤	211B 号室
⑥	212A 号室
⑦	212B 号室
⑧	130 号室
⑨	136 号室
⑩	231B 号室
⑪	232 号室
⑫	233B 号室
⑬	234C 号室
⑭	234A 号室
⑮	235A 号室
⑯	236 号室
⑰	記者会見場
⑱	名古屋学院大学体育館
白鳥公園内	
⑲	日本政府屋外大型テント

サイドイベントのタイムスケジュール

9月21日現在のタイムスケジュールを以下に掲載します。サイドイベント開催当日まで情報が更新される可能性がありますので、必ず会場内のCCTV（館内放送チャンネル5）あるいはCBD事務局のHP上にて最終確認してください。

【COP-MOP5 期間】

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
Monday, 11 October 2010, Lunch-Time				
1	1772	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	THIRD WORLD NETWORK	KEY DECISIONS FOR ADOPTION IN NAGOYA
2	1865	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	EUROPEAN COMMISSION JOINT RESEARCH CENTRE	EU GMO REGULATORY SYSTEM AND ACTIVITIES TOWARDS INTERNATIONAL HARMONISATION OF GMO ANALYSIS
3	2011	13:15 - 14:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	EL OJO COJO	EL OJO COJO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL
4	2040	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	PROGRAM FOR BIOSAFETY SYSTEMS, AGROSPCOPE ART AND PUBLIC RESEARCH AND REGULATION INITIATIVE	BIOTECHNOLOGY AND BIODIVERSITY INTERFACE: INTEGRATION OF INSECT-RESISTANT GM CROPS WITHIN INTEGRATED PEST MANAGEMENT PROGRAMS
5	2086	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	COORDINATION MEETING OF GOVERNMENTS AND ORGANIZATIONS IMPLEMENTING AND/ OR FUNDING CAPACITY-BUILDING ACTIVITIES	COORDINATION MEETING OF GOVERNMENTS AND ORGANIZATIONS IMPLEMENTING AND/OR FUNDING CAPACITY-BUILDING ACTIVITIES SOCIO-ECONOMIC CONSIDERATIONS IN LMO DECISION-MAKING - AN INPUT BY THE COORDINATION MEETING ON BIOSAFETY CAPACITY BUILDING
6	2329	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	BIOSAFETY CLEARING-HOUSE: NEW ONLINE TOOLS FOR STATISTICAL ANALYSIS AND GRAPHIC REPRESENTATIONS OF DATA
Tuesday, 12 October 2010, Lunch-Time				
7	1823	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	EUROPEAN NETWORK OF SCIENTISTS FOR SOCIAL AND ENVIRONMENTAL RESPONSIBILITY	ADVANCING THE UNDERSTANDING OF BIOSAFETY
8	2061	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	WASHINGTON BIOTECHNOLOGY ACTION COUNCIL (LEAD) AFRICAN CENTRE FOR BIOSAFETY	DYSFUNCTIONAL PHILANTHROPY: AFRICAN RESPONSES TO THE GATES FOUNDATION'S "GREEN REVOLUTION IN AFRICA"
9	2080	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	JAPAN CITIZENS' NETWORK FOR PLANET DIVERSITY	GM CANOLA FINDINGS SPREADING IN JAPAN AND CITIZEN'S INVESTIGATIVE ACTIVITIES
10	2258	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	INTERNATIONAL FOOD POLICY RESEARCH INSTITUTE (IFPRI)	ASSESSMENT OF SOCIO-ECONOMIC CONSIDERATIONS AND BIOSAFETY DECISION MAKING: EXPERIENCES, ISSUES, GAPS, AND LIMITATIONS FOR IMPLEMENTATION IN DEVELOPING COUNTRIES
11	2331	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	REGIONAL AGRICULTURAL AND ENVIRONMENTAL INITIATIVES NETWORK – AFRICA	UNPACKING BIOSAFETY SOCIO-ECONOMIC CONSIDERATIONS: SOUTHERN AFRICAN EXPERIENCES
Tuesday, 12 October 2010, Evening				
12	2081	18:15 - 19:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	JAPAN CITIZENS' NETWORK FOR PLANET DIVERSITY	CITIZEN'S PROPOSALS FOR THE BIOSAFETY PROTOCOL NEGOTIATION
13	2324	18:15 - 19:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	THE COMPACT EXECUTIVE AND CROPLIFE INTERNATIONAL	THE COMPACT: AN APPROACH TO FINANCIAL SECURITY

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
Wednesday, 13 October 2010, Lunch-Time				
14	2018	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	GERMAN TECHNICAL COOPERATION ON BEHALF OF THE FEDERAL MINISTRY FOR ECONOMIC COOPERATION AND DEVELOPMENT	GERMAN TECHNICAL COOPERATION ON BEHALF OF THE FEDERAL MINISTRY FOR ECONOMIC COOPERATION AND DEVELOPMENT GERMAN DEVELOPMENT COOPERATION SUPPORTING THE IMPLEMENTATION OF THE CARTAGENA PROTOCOL: EXPERIENCES AND LESSONS LEARNED
15	2249	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	GM FREE LATIN AMERICA NETWORK	GM IN OUR FOOD SYSTEM - THE ROLE OF TRANSNATIONAL COMPANIES
Saturday, 16 October 2010, Lunch-Time				
16	1767	13:00 - 15:00 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES & MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	LEGAL FRAMEWORK, RISK ASSESSMENT, RISK MANAGEMENT AND DEVELOPMENT OF LMOS IN JAPAN

【COP10 期間】

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
Monday, 18 October 2010, Lunch-Time				
1	1735	13:15 - 14:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES OF JAPAN	THE ROLE OF FORESTS IN CONSERVATION OF GLOBAL BIODIVERSITY—FROM JAPAN TO THE WORLD—
2	1744	13:15 - 14:45 CENTURY HALL - Bldg 1 - 1st Floor	MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY OF JAPAN	OBSERVATION OF MARINE BIODIVERSITY (FEAT. JAPAN AGENCY FOR MARINE-EARTH SCIENCE AND TECHNOLOGY)
3	1776	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	UNITED NATIONS UNIVERSITY INSTITUTE OF ADVANCED STUDIES	ASSESSING IMPLEMENTATION OF CBD NATIONAL BIODIVERSITY STRATEGIES AND ACTION PLANS
4	1778	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	RAMSAR, MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN, SCBD	THE ROLE OF RAMSAR IN IMPLEMENTATION OF THE CBD
5	1848	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	(I) 2010 BIODIVERSITY INDICATORS PARTNERSHIP, (II) SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	2010 BIODIVERSITY INDICATORS PARTNERSHIP: LESSONS LEARNT FROM TRACKING THE CURRENT TARGET, AND NEXT STEPS FOR POST-2010
6	1881	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	EUROPEAN COMMISSION	THE NEW ATLAS OF SOIL BIODIVERSITY
7	1891	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL ENVIRONMENT FACILITY (GEF)	GEF BIODIVERSITY STRATEGY AND APPROACH
8	2032	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	ABS CAPACITY DEVELOPMENT INITIATIVE FOR AFRICA	IMPLEMENTING ABS IN AFRICA.
9	2060	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	HIROSHIMA UNIVERSITY & MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	INTERLINKAGE BETWEEN REDD MECHANISM AND BIODIVERSITY CONSERVATION
10	2071	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	GTZ; ABS CAPACITY DEVELOPMENT INITIATIVE FOR AFRICA	ABS AND SUSTAINABLE FOREST MANAGEMENT - POTENTIALS FOR SYNERGIES AND CHALLENGES OF LINKING THE TWO PROCESSES AT NATIONAL, REGIONAL AND INTERNATIONAL LEVELS
11	2093	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	ETC GROUP	SYNTHETIC BIOLOGY AND NEXT GENERATION BIOFUELS
12	2110	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	ASEAN CENTRE FOR BIODIVERSITY	PRESENTATION OF THE MARINE PROTECTED AREAS GAP ANALYSIS

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
13	2197	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY AND FOREST PEOPLES PROGRAMME	ARTICLE 10(C) CUSTOMARY SUSTAINABLE USE LESSONS LEARNS FROM 10C CASE STUDIES
14	2260	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY ALLIANCE C/O KALPAVRIKSH	TOP 10 COP 10 - THE TOP 10 ISSUES FOR CIVIL SOCIETY AT COP10
15	2272	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	SWEDISH SCIENTIFIC COUNCIL ON BIOLOGICAL DIVERSITY, THE NCEAS/NESCENT WORKING GROUP ON GENETIC MONITORING	GENETIC BIODIVERSITY IN FORESTS, INLAND WATERS, AND MARINE ENVIRONMENTS – TARGETS AND INDICATORS FOR MONITORING GENETIC VARIATION FOR RESILIENCE AND FUTURE ADAPTATION
16	2310	13:15 - 14:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	FOOD AND AGRICULTURE ORGANIZATION OF THE UNITED NATIONS	THE GLOBAL FOREST RESOURCES ASSESSMENT 2010: NEW INFORMATION ON FOREST BIOLOGICAL DIVERSITY - WHAT PAST TRENDS TELL US ABOUT THE FUTURE
Tuesday, 19 October 2010, Lunch-Time				
17	1719	13:15 - 14:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	LAUNCHING OF THE INTERNATIONAL PARTNERSHIP FOR THE SATOYAMA INITIATIVE
18	1732	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	CASE REPORTS ON SUSTAINABLE ECONOMIC/ SOCIAL ACTIVITIES—BIODIVERSITY AND SOUND MATERIAL-CYCLE SOCIETY—
19	1754	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF ECONOMY, TRADE AND INDUSTRY OF JAPAN	APPROACH TO ACCESS AND BENEFIT-SHARING
20	1769	13:15 - 14:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	IUCN - THE WORLD CONSERVATION UNION	PROTECTED AREAS - MAINTAING THEIR VALUES AND FUNCTIONS: THE ROLE OF CBD/POWPA
21	1831	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	UNEP-WCMC	OCEAN ACIDIFICATION
22	1862	13:15 - 14:45 Interactive Fair Tent of Japan	CANADIAN DEPARTMENT OF THE ENVIRONMENT	BUSINESS AND BIODIVERSITY: COUNTRY PERSPECTIVES AND APPROACHES
23	1884	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	GLOBAL INVASIVE SPECIES PROGRAMME (GISP), SCBD	INVASIVE SPECIES AND CLIMATE CHANGE: ADRESSING MULTIPLE DRIVERS OF GLOBAL CHANGE
24	1892	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL ENVIRONMENT FACILITY	GEF'S SUPPORT ON ACCESS AND BENEFIT SHARING
25	2013	13:15 - 14:45 CENTURY HALL - Bldg 1 - 1st Floor	SADO CITY HALL	THE REALIZATION OF THE SOCIETY MAINTAINING BIODIVERSITY THROUGH THE REINTRODUCTION OF THE CRESTED IBIS INTO NATURE
26	2036	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL CENTRE FOR TRADE AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT	ENCOURAGING SUSTAINABLE USE THROUGH TRADE AND INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS: WHO'S TO WIN AND WHO SHOULD PAY?
27	2121	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	UNITED NATIONS UNIVERSITY INSTITUTE OF ADVANCED STUDIES (UNU-IAS) OPERATING UNIT AT ISHIKAWA/KANAZAWA (OUIK) AND SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY (SCBD)	SATOUMI AND THE MANAGEMENT OF MARINE AND COASTAL BIODIVERSITY IN JAPAN
28	2134	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	DEPARTMENT OF ENVIRONMENTAL AFFAIRS	NATIONAL INSTITUTIONS TO MEET BIODIVERSITY CHALLENGES
29	2142	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	UNEP	INFORMEA - A COOPERATION OF MEAS ON INFORMATION AND KNOWLEDGE MANAGEMENT

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
30	2147	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	TOOLS FOR MAINSTREAMING NBSAPS IN BROADER DEVELOPMENT PROCESSES
31	2166	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	UNEP	THE FUTURE OF ENVIRONMENTAL LAW
32	2195	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	UNITED NATIONS ENVIRONMENT PROGRAMME	SHOWCASING SPAIN-UNEP PARTNERSHIP FOR LIFEWEB INITIAITVE PROJECTS
33	2198	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY AND CBD LOCAL COMMUNITY CAUCUS	LOCAL COMMUNITIES WITHIN THE CONTEXT OF THE CBD
34	2251	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	JAPAN CIVIL NETWORK FOR CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	MESSAGE FROM AICHI-INTERNATIONAL CYBER DIALOGUE (ANIC DIALOGUE)
Tuesday, 19 October 2010, Evening				
35	1768	16:30 - 18:00 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	GROUP ON EARTH OBSERVATIONS	HOW GEO BON CAN MONITOR PROGRESS TOWARDS THE CBD'S GOALS AND TARGETS
36	1787	16:30 - 18:00 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	UNDESA & UNCRD	SIDE EVENT ON COMMUNITY-BASED ECOSYSTEM CONSERVATION AND HUMAN SECURITY
37	1859	16:30 - 18:00 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	IUCN -INTERNATIONAL UNION FOR CONSERVATION OF NAURE	A NEW VISION FOR BIODIVERSITY CONSERVATION - IUCN'S POSITION ON THE POST-2010 STRATEGIC PLAN OF THE CBD AND ITS VISION, MISSION AND TARGETS.
38	1961	16:30 - 18:00 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, NATURE AND FOOD QUALITY	COMPETING CLAIMS: BIODIVERSITY, FOOD, WOOD, BIOFUELS AND CLIMATE CHANGE
39	2069	16:30 - 18:00 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	DEUTSCHE FORSCHUNGS GEMEINS CHAFT, DFG	BENEFITS SHARING BY RESEARCH, EDUCATION AND KNOWLEDGE TRANSFER - A SUCCESS STORY OF BIODIVERSITY RESEARCH IN SOUTH ECUADOR
40	2079	16:30 - 18:00 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	WORLD AGROFORESTRY CENTRE LANDCARE INTERNATIONAL	LANDCARE INTERNATIONAL: LOCAL ACTION-GLOBAL PROGRESS
41	2096	16:30 - 18:00 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	THE MINISTRY OF NATURE, ENVIRONMENT AND TOURISM OF MONGOLIA, WWF MONGOLIA	PROTECTED AREAS FOR BIODIVERSITY
42	2225	16:30 - 18:00 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	ETC COMPAS	SACRED NATURAL SITES; CONSERVING BIOLOGICAL AND CULTURAL DIVERSITY
43	2248	16:30 - 18:00 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	INSTITUT DE RECHERCHE POUR LE DÉVELOPPEMENT	SUD EXPERT PLANTES INITIATIVE, THE WAY AHEAD
44	2265	16:30 - 18:00 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	IRISH CENTRE FOR HUMAN RIGHTS NATIONAL UNIVERSITY OF IRELAND NUNS ISLAND GALWAY IRELAND	THE ROLE OF CUSTOMARY LAW IN PREVENTION OF BIOPIRACY
45	2276	16:30 - 18:00 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	BRAZILIAN INDIGENOUS INSTITUTE FOR INTELLECTUAL PROPERTY - INBRAPI	III INTERNATIONAL CAUCUS OF INDIGENOUS AND LOCAL COMMUNITIES: TRADITIONAL KNOWLEDGE, INNOVATIONS AND PRACTICES RELATED TO GENETIC RESOURCES, INTERNATIONAL REGIME ON ACCESS AND BENEFIT SHARING, GENDER PLAN AND CLIMATE CHANGES ON THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY
46	2308	16:30 - 18:00 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	UNDP-GEF	SGP / UNDP-GEF SUPPORT TO BIODIVERSITY-BASED PRODUCTS AND SUPPLY CHAINS

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
Tuesday, 19 October 2010, Evening				
47	1738	18:15 - 19:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES OF JAPAN	AGRICULTURAL PRODUCTS PRODUCED BY THE MEASURES WHICH CONSERVE LOCAL LIVING CREATURES (LIVING CREATURE MARK).
48	1750	18:15 - 19:45 CENTURY HALL - Bldg 1 - 1st Floor	WWF JAPAN	THE PARTNERSHIP FOR YELLOW SEA BETWEEN LOCAL GOVERNMENTS, NGOS, GEF AND CORPORATE
49	1926	18:15 - 19:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	FRIENDS OF THE EARTH INTERNATIONAL	THE NEW STRATEGIC PLAN - HAVE WE GOT THE TARGETS RIGHT THIS TIME?
50	2015	18:15 - 19:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	FOREST RESEARCH INSTITUTE MALAYSIA (FRIM)	BIODIVERSITY CONSERVATION BEYOND PROTECTED AREAS: INTEGRATING BIODIVERSITY INTO FORESTRY MANAGEMENT PRACTICES.
51	2028	18:15 - 19:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	UNCTAD	GREENING TRADE FOR BIODIVERSITY CONSERVATION
52	2123	18:15 - 19:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	UNITED NATIONS ENVIRONMENT PROGRAMME - REGIONAL SEAS PROGRAMME	LAUNCH OF REGIONAL SEAS BIODIVERSITY OUTLOOK
53	2133	18:15 - 19:45 Nagoya Gakuin University- Offsite location	DEPARTMENT OF ENVIRONMENTAL AFFAIRS	SOUTH AFRICAN ACHIEVEMENTS AND LESSONS LEARNT IN THE IMPLEMENTATION OF 2010 BIODIVERSITY TARGETS
54	2151	18:15 - 19:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	BERNE DECLARATION, AFRICAN CENTER FOR BIOSAFETY, NATURAL JUSTICE, THIRD WORLD NETWORK, EED	ON GOING BIOPIRACY AND LESSONS FOR AN ABS PROTOCOL
55	2157	18:15 - 19:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	BIOVERSITY INTERNATIONAL AND FOOD AND AGRICULTURE ORGANIZATION OF THE UNITED NATIONS (FAO)	AGRICULTURE BIODIVERSITY IN REDUCING MALNUTRITION AND HUNGER: THE ROLE OF THE CROSS-CUTTING INITIATIVE ON BIODIVERSITY FOR FOOD AND NUTRITION
56	2199	18:15 - 19:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	ABS AND INDIGENOUS AND LOCAL COMMUNITIES
57	2210	18:15 - 19:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	CGIAR'S SYSTEM-WIDE GENETIC RESOURCES PROGRAMME	THE IMPORTANCE OF RECOGNIZING THE INTERNATIONAL TREATY IN THE CBD'S PROTOCOL ON ACCESS AND BENEFIT-SHARING
58	2232	18:15 - 19:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	GLOBAL PARTNERSHIP FOR PLANT CONSERVATION	PROGRESS IN IMPLEMENTING THE GLOBAL STRATEGY FOR PLANT CONSERVATION
59	2250	18:15 - 19:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	UNITED NATIONS UNIVERSITY-INSTITUTE OF ADVANCED STUDIES	IMPLEMENTING ABS: NEW SCIENCE AND OLD PROBLEMS
60	2291	18:15 - 19:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	TRAFFIC INTERNATIONAL	SECURING WILDLIFE RESOURCES TO SECURE PROTECTED AREAS
61	2306	18:15 - 19:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	SCBD & GTI COORDINATION MECHANISM	TAXONOMY 20/20 - VISIONS AND OPPORTUNITIES FOR CONTRIBUTIONS TO THE NEW STRATEGIC PLAN FOR THE CBD
62	2333	18:15 - 19:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	GLOBAL MECHANISM OF THE UN CONVENTION TO COMBAT DESERTIFICATION (UNCCD)	INTEGRATED FINANCING STRATEGIES FOR RESOURCE MOBILIZATION

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
Wednesday, 20 October 2010, Lunch-Time				
63	1717	13:15 - 14:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	TOWARD ACHIEVING THE POST 2010 BIODIVERSITY TARGET
64	1725	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	ALIEN SPECIES MANAGEMENT-1.
65	1757	15:00 - 18:00 Interactive Fair Tent of Japan	MINISTRY OF LAND, INFRASTRUCTURE, TRANSPORT AND TOURISM OF JAPAN	COASTAL BIODIVERSITY—IMPROVEMENT MEASURE FOR GLOBAL ENVIRONMENT THROUGH RESTORATION OF COASTAL OCEAN
66	1790	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	SOCIETY FOR ECOLOGICAL RESTORATION INTERNATIONAL	RESTORING ECOSYSTEM SERVICES: BIODIVERSITY, SUSTAINABLE LIVELIHOODS, AND CLIMATE CHANGE
67	1835	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	GERMAN FEDERAL AGENCY FOR NATURE CONSERVATION	CARBON, BIODIVERSITY AND ECOSYSTEM SERVICES: EXPLORING CO-BENEFITS
68	1883	13:15 - 14:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	UNITED NATIONS ENVIONMENT PROGRAMME - THE ECONOMICS OF ECOSYSTEMS AND BIODIVERSITY	TEEB - THE ECONOMICS OF ECOSYSTEMS AND BIODIVERSITY: A SYNTHESIS OF KEY FINDINGS FROM ACROSS THE STUDY
69	1895	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	GLOBAL ENVIRONMENT FACILITY	GEF'S PROGRAM ON SUSTAINABLE FOREST MANAGEMENT
70	1925	13:15 - 14:30 Interactive Fair Tent of Japan	UNITED NATIONS UNIVERSITY, INSTITUTE FOR SUSTAINABILITY AND PEACE, GLOBAL ENVIRONMENT OUTREACH CENTRE (GEOC) & MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	SATOYAMA GOVERNORS' SUMMIT
71	1927	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	GYEONGSANGNAMDO RAMSAR ENVIONMENTAL FOUNDATION	CEPA PROGRAMS FOR THE RAMSAR SITES IN NORTHEAST ASIA AND ITS BIOLOGICAL DIVERSITY
72	2089	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	IUCN THEME ON GOVERNANCE, COMMUNITIES, EQUITY, AND LIVELIHOOD RIGHTS IN RELATION TO PROTECTED AREAS (TILCEPA), DEUTSCHE GESELLSCHAFT FÜR TECHNISCHE ZUSAMMENARBEIT (GTZ), SECRETARIAT OF THE CBD	DEVELOPING CAPACITY FOR GOVERNANCE OF PROTECTED AREAS
73	2144	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	IUCN/CEM/FEG AND EUROPEAN BUREAU FOR CONSERVATION AND DEVELOPMENT (EBCD)	SELECTIVE FISHERIES AND BALANCED EXPLOITATION IN RELATION TO FISHERIES AND ECOSYSTEM SUSTAINABILITY
74	2146	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	EUROPEAN COMMISSION DG ENVIRONMENT	TOWARDS A EUROPEAN SCIENCE-BASED BIODIVERSITY POLICY
75	2154	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	ACHIEVEMENTS IN IMPLEMENTATION OF THE CBD PROGRAMME OF WORK ON PROTECTED AREAS
76	2170	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	NORDIC COUNCIL OF MINISTERS	TOWARDS A GREEN FUTURE – BIODIVERSITY ACTION ON THE LOCAL LEVEL
77	2175	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	S-CBD DIVERSITAS UNEP-WCMC	GLOBAL BIODIVERSITY OUTLOOK-3 AND BEYOND
78	2190	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	INTERNATIONAL BARCODE OF LIFE PROJECT	INTERNATIONAL BARCODE OF LIFE (IBOL)

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
79	2228	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	BLIVE GLOBAL INITIATIVE	HOW THE BUSINESS SECTOR IS CONTRIBUTING TO BIODIVERSITY IN CHINA
80	2295	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	TURISMO SOSTENIBLE COMO UNA ESTRATEGIA DE DESARROLLO DE LOS PUEBLOS INDIGENAS
81	2316	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	SCBD, CSP, CETAF/EDIT	LARGE-SCALE BIOLOGICAL COLLECTIONS - RESEARCH CENTRES FOR CAPACITY BUILDING AND TECHNOLOGY TRANSFER IN SUPPORT OF THE CBD
Wednesday, 20 October 2010, Evening				
82	1771	16:30 - 18:00 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	THIRD WORLD NETWORK	ABS PROTOCOL: KEY TOOL TO IMPLEMENT THE CBD
83	1841	16:30 - 18:00 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	DEPARTMENT ENVIRONMENT FOOD AND RURAL AFFAIRS	DARWIN INITIATIVE ANNUAL LECTURE
84	1844	16:30 - 18:00 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL ISLAND PARTNERSHIP	ADVANCING THE BIODIVERSITY AND CLIMATE ADAPTATION AGENDA IN THE WESTERN INDIAN OCEAN
85	1920	16:30 - 18:00 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL CORAL REEF INITIATIVE (ICRI)	CORAL REEFS: A VALUABLE ECOSYSTEM IN JEOPARDIZE NOTE: THIS TITLE MAY CHANGE
86	1948	16:30 - 18:00 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	SABAH BIODIVERSITY CENTRE	SABAH'S, MALAYSIA CONSERVATION GOVERNANCE – ECOSYSTEM APPROACH IN PRACTICE
87	1962	16:30 - 18:00 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, NATURE AND FOOD QUALITY	ANALYSIS OF THE BIODIVERSITY EFFECTS OF DIFFERENT POLICY OPTIONS. A CONTRIBUTION TO THE TEEB REPORT
88	1980	16:30 - 18:00 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	GLOBAL REPORTING INITIATIVE	CORPORATE REPORTING ON ECOSYSTEM SERVICES
89	2163	16:30 - 18:00 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	MINISTRY OF ENVIRONMENT AND FOREST, GOVERNMENT OF MADAGASCAR	TRIPLING THE PROTECTED AREA SYSTEM IN MADAGASCAR: A SUCCESS STORY
90	2193	16:30 - 18:00 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	NATIONAL COMMISSION FOR PROTECTED AREAS, MEXICO	CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLANS IN MEXICAN PROTECTED AREAS
Wednesday, 20 October 2010, Evening				
91	1733	18:15 - 19:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES OF JAPAN	AGRICULTURE AND BIODIVERSITY.
92	1756	18:15 - 19:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	MINISTRY OF LAND, INFRASTRUCTURE, TRANSPORT AND TOURISM OF JAPAN	CITIES AND BIODIVERSITY.
93	1822	18:15 - 19:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	CBD SECRETARIAT, GERMANY, IUCN, GLOBAL OCEAN BIODIVERSITY INITIATIVE (GOBI), CENSUS OF MARINE LIFE, OBIS, AND MARINE CONSERVATION BIOLOGY INSTITUTE (MCBI)	THE GLOBAL OCEAN BIODIVERSITY INITIATIVE (GOBI): APPLYING THE CBD CRITERIA TO IDENTIFY ECOLOGICALLY SIGNIFICANT AREAS IN THE HIGH SEAS
94	1825	18:15 - 19:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	CONSERVATION INTERNATIONAL	ACHIEVING THE 2020 TARGETS: PROTECTING THE RIGHT AREAS
95	1861	18:15 - 19:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	THE NATURE CONSERVANCY	MAKING A CASE FOR SUSTAINED INVESTMENT IN NATURAL CAPITAL: ECOSYSTEMS ADDRESSING THE CHALLENGES OF CLIMATE CHANGE AND DEVELOPMENT

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
96	1869	18:15 - 19:45 CENTURY HALL - Bldg 1 - 1st Floor	UNITED NATIONS ENVIRONMENT PROGRAMME WORLD CONSERVATION MONITORING PROGRAMME	LAUNCH OF PROTECTEDPLANET.NET AND THE UNITED NATIONS LIST OF PROTECTED AREAS 2012
97	1909	18:15 - 19:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	REDPARQUES (LATINAMERICAN NETWORK OF PROTECTED AREAS) WITH THE SUPPORT OF WWF, IUCN AND THE CBD SECRETARIAT	BUILDING A CONSERVATION VISION FOR THE AMAZON BIOME
98	2008	18:15 - 19:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	WETLANDS INTERNATIONAL	"WETLANDS, WATER, LIVELIHOODS AND BIODIVERSITY LINKAGES IN A GLOBAL WATER CRISIS".
99	2083	18:15 - 19:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	TEBTEBBA AND THE IIFB WORKING GROUP ON INDICATORS	INDICATORS RELEVANT FOR INDIGENOUS PEOPLES
100	2084	18:15 - 19:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	THE GLOBAL BIODIVERSITY INFORMATION FACILITY (GBIF), SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY (CBD)	OFFICIAL LAUNCH OF AN ONLINE SUPPORT TOOL TO SUPPORT NATIONAL REPORTING TO THE CONVENTION OF BIOLOGICAL DIVERSITY (CBD).
101	2100	18:15 - 19:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	SWISS ACADEMY OF SCIENCES	ELEMENTS OF A CONTRACT ON ACCESS AND BENEFIT SHARING - CREATING TRUST BETWEEN PROVIDERS AND USERS BY TRANSPARENT NEGOTIATIONS
102	2102	18:15 - 19:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	UN FOOD AND AGRICULTURE ORGANISATION - FAO	BIODIVERSITY FOR A WORLD WITHOUT HUNGER: ABS OF GENETIC RRESOURCES FOR FOOD AND AGRICULTURE
103	2108	18:15 - 19:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	NATURAL JUSTICE: LAWYERS FOR COMMUNITIES AND THE ENVIRONMENT	CBD AND REDD: WHOSE RIGHTS, WHO'S WRONGED?
104	2130	18:15 - 19:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	PEW ENVIRONMENT GROUP	MARINE BIODIVERSITY AND LARGE PELAGIC SPECIES
105	2145	18:15 - 19:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	WETLANDS INTERNATIONAL	WETLANDS AND URBANISATION
106	2290	18:15 - 19:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	IUCN	WET CARBON: USING CARBON FINANCE TO RESTORE WETLANDS, CONSERVE BIODIVERSITY AND SECURE LIVELIHOODS
107	2327	18:15 - 19:45 Interactive Fair Tent of Japan	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	YOUNG HANDS TOGETHER FOR DIVERSITY LAUNCH
Thursday, 21 October 2010, Lunch-Time				
108	1730	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	THE ROLE OF "SATOUMI" FOR MARINE BIODIVERSITY CONSERVATION
109	1737	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES OF JAPAN	BIODIVERSITY INDICATORS IN AGRICULTURE
110	1759	13:15 - 14:45 Interactive Fair Tent of Japan	EAAFP SECRETARIAT & MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	RESPONDING TO THE BIODIVERSITY CHALLENGE OF THE EAST ASIAN - AUSTRALASIAN FLYWAY
111	1832	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	UNEP AND FAO	THE IMPACTS OF DESTRUCTIVE FISHING PRACTICES, UNSUSTAINABLE FISHING, AND ILLEGAL, UNREPORTED, AND UNREGULATED (IUU) FISHING ON MARINE BIODIVERSITY AND HABITATS

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
112	1894	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	GLOBAL ENVIRONMENT FACILITY	THE GEF AND INDIGENOUS PEOPLES
113	1943	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	CENTER FOR HUMANS AND NATURE	THE BIOSPHERE ETHICS INITIATIVE: INCORPORATING ENVIRONMENTAL ETHICS INTO LAW, GOVERNANCE AND POLICY
114	1949	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF ENVIRONMENT AND WATER	ESTABLISHMENT OF THE PANNON SEED BANK FOR THE LONG-TERM EX-SITU CONSERVATION OF HUNGARIAN PLANTS
115	1975	13:15 - 14:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	INSTITUTE FOR GLOBAL ENVIRONMENTAL STRATEGIES	DRIVING INNOVATION FOR BIODIVERSITY AND ECOSYSTEM SERVICES IN ASIA AND THE PACIFIC
116	2020	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	UNITED NATIONS ENVIRONMENT PROGRAMME DIVISION OF TECHNOLOGY, INDUSTRY AND ECONOMICS INTERNATIONAL ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY CENTER	LONG-TERM SUSTAINABLE DEVELOPMENT AND MANAGEMENT OF THE IRAQI MARSHLANDS
117	2037	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL CENTRE FOR TRADE AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT	ENFORCEMENT AND COMPLIANCE IN THE ABS REGIME - DESIGNING STRONG AND EFFECTIVE MECHANISMS
118	2088	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	PERUVIAN SOCIETY FOR ENVIRONMENTAL LAW, INTERNATIONAL DEVELOPMENT RESEARCH CENTRE	NEW APPROACHES FOR BENEFIT SHARING IN THE CONTEXT OF THE INTERNATIONAL REGIME ON ABS
119	2098	13:15 - 14:45 CENTURY HALL - Bldg 1 - 1st Floor	INTERNATIONAL INDIGENOUS FORUM ON BIODIVERSITY	INDIGENOUS WISDOM FOR AGROBIODIVERSITY AND FOOD SECURITY
120	2149	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	IUCN CEESP + ICCA CONSORTIUM + UNEP/ WCMC + GEF/SGP + GTZ + EQUATOR INITIATIVE + IIED	STRENGTHENING WHAT WORKS— RECOGNISING AND SUPPORTING THE CONSERVATION ACHIEVEMENTS OF INDIGENOUS PEOPLES AND LOCAL COMMUNITIES
121	2159	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	EUROPEAN COMMISSION DG ENVIRONMENT	NATURA 2000 - THE EU NETWORK OF PROTECTED AREAS - WHERE DO WE STAND?
122	2200	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	ILCS CAPACITY BUILDING INITIATIVES WITH A FOCUS ON LAC ILC 3 YEARS CAPACITY BUILDING STRATEGY WITH THE SCBD AND THE IWBN LAC REGION AND THE INDIGNEOUS LEADERSHIP PROGRAMME OF CONSERVATION INTERNATIONAL.
123	2257	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF ENVIRONMENTAL PROTECTION	TAKING OFF – BIRDS AS A TRIGGER FOR ACTION
124	2280	13:15 - 14:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN, IUCN, DIVERSITAS, IHDP & ICSU.	THE INTERGOVERNMENTAL PLATFORM ON BIODIVERSITY AND ECOSYSTEM SERVICES (IPBES); STATUS, NEXT STEPS, AND IMPLICATIONS FOR THE BIODIVERSITY COMMUNITY.
125	2309	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	INTERNATIONAL INSTITUTE FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT (IISD)	CONFLICT-SENSITIVE CONSERVATION: EARLY LESSONS FROM THE FIELD
Thursday, 21 October 2010, Evening				
126	1734	16:30 - 18:00 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL COLLECTIVE IN SUPPORT OF FISHWORKERS	SOCIAL DIMENSIONS OF MARINE PROTECTED AREAS
127	1786	16:30 - 18:00 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	UNITED NATIONS DEVELOPMENT PROGRAMME - GLOBAL ENVIRONMENTAL FACILITY	POST 2010 TRENDS AND ISSUES FOR PROTECTED AREAS

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
128	1805	16:30 - 18:00 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	INSTITUTE FOR GLOBAL ENVIRONMENTAL STRATEGIES (IGES)	BEST PARCTICESE IN JAPAN ON FINANCIAL MECHANISM FOR THE PROTECTION AND SUSTAINABLE USE OF BIODIVERSITY
129	1984	16:30 - 18:00 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	UNEP WORLD CONSERVATION MONITORING CENTRE (UNEP-WCMC) IN COLLABORATION WITH UNEP DGEF, GEF SECRETARIAT, THE SECRETARIATS OF CBD, UNCCD AND UNFCCC AND THE PROJECT PILOT COUNTRIES	INTEGRATED PROCESSES AND APPROACHES TO FACILITATE NATIONAL REPORTING TO THE RIO CONVENTIONS
130	2022	16:30 - 18:00 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	GERMAN TECHNICAL COOPERATION IN COOPERATION WITH SEVERAL PARTNER INSTITUTIONS (TO DE SPECIFIED)	BIODIVERSITY AND CLIMATE CHANGE - PROMOTING ECOSYSTEM BASED ADAPTATION
131	2026	16:30 - 18:00 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	FOOD AND AGRICULTURE ORGANIZATION OF THE UNITED NATIONS (FAO)	BIODIVERSITY AND CLIMATE CHANGE: THE ROLE OF GLOBALLY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMS (GIAHS)
132	2125	16:30 - 18:00 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	GREENPEACE INTERNATIONAL	EMERGENCY MARINE RESCUE PLAN: IMPLEMENTING THE ROADMAP TO RECOVERY
133	2233	16:30 - 18:00 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	DEVELOPMENT FUND	GRAINS OF WISDOM: FARMER INNOVATIONS, AGRICULTURAL BIODIVERSITY AND CLIMATE CHANGE
134	2252	16:30 - 18:00 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	MOUNTAIN PARTNERSHIP SECRETARIAT - FAO	MOUNTAIN BIOLOGICAL DIVERSITY: MEETING THE CHALLENGES OF ENHANCED IMPLEMENTATION OF THE PROGRAMME OF WORK
135	2315	16:30 - 18:00 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	INTERNATIONAL TREATY ON PLANT GENETIC RESOURCES FOR FOOD AND AGRICULTURE (FAO)	THE OPERATION OF THE MULTILATERAL SYSTEM OF ACCESS AND BENEFIT-SHARING UNDER THE INTERNATIONAL TREATY ON PLANT GENETIC RESOURCES FOR FOOD AND AGRICULTURE
Thursday, 21 October 2010, Evening				
136	1726	18:15 - 19:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	ALIEN SPECIES MANAGEMENT-2.
137	1739	18:15 - 19:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES OF JAPAN	FISHERIES AND BIODIVERSITY
138	1967	18:15 - 19:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	GLOBAL ENVIRONMENT FACILITY	GEF: FOURTH OVERALL PERFORMANCE STUDY
139	2034	18:15 - 19:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	CONSERVATION FINANCE ALLIANCE - SECRETARIAT	NEW PATHWAYS FOR CONSERVATION FINANCE
140	2035	18:15 - 19:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF ENVIRONMENTAL PROTECTION OF THE PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA	BIODIVERSITY AND CARBON IN CHINA: OPPORTUNITIES AND CHALLENGES FOR LOCAL GOVERNMENTS
141	2067	18:15 - 19:45 Interactive Fair Tent of Japan	FEU, UNIVERSITY OF BREMEN	COMMON POOLS OF GENETIC RESOURCES: A SOLUTION FOR EFFECTIVE AND FAIR ABS?
142	2075	18:15 - 19:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	WILDLIFE CONSERVATION SOCIETY	ESTABLISHING CLIMATE-RESILIENT LANDSCAPES THROUGH CORRIDORS, CONNECTIVITY AND PROTECTED AREA INTEGRATION
143	2136	18:15 - 19:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	SEARICE	CAN YOU LIVE WITHOUT RICE?

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
144	2152	18:15 - 19:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	MINISTRY OF AGRICULTURE, LIVESTOCK AND FOOD SUPPLY	PATHWAYS TO SUSTAINABLE AGRICULTURE IN BRAZIL
145	2171	18:15 - 19:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	UNEP WORLD CONSERVATION MONITORING CENTRE	AN INTERACTIVE OCEAN DATA VIEWER: ENHANCING MARINE AND COASTAL DATA ACCESSIBILITY AND QUALITY, AND BUILDING TECHNICAL CAPACITY FOR IMPLEMENTATION OF CBD PROGRAMMES OF WORK.
146	2182	18:15 - 19:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	COIAB _ COORDENACAO DAS ORGANIZAÇÕES INDÍGENAS DA AMAZONIA BRASILEIRA APIB - ARTICULAÇAO DOS POVOS INDÍGENAS DO BRASIL UNDP BRAZILIAN GOVERNMENT GEF THE NATURE CONSERVANCY	"LESSONS FROM INDIGENOUS PARTICIPATION ON GEF PROJECTS: INDIGENOUS PROJECT IN BRAZIL
147	2184	18:15 - 19:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	DIVERSITAS	BEYOND 2010: DEFINING SCIENCE BASED TARGETS FOR BIODIVERSITY, ECOSYSTEM SERVICES AND HUMAN WELL-BEING
148	2201	18:15 - 19:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	ILCS AND THE PRIVATE SECTOR "OPEN FOR BUSINESS"
149	2285	18:15 - 19:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	IUCN	GLOBAL SPENDING ON BIODIVERSITY CONSERVATION: HOW MUCH, BY WHOM AND ON WHAT?
150	2311	18:15 - 19:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	SCBD, IIED IIED, UNIVERSITY OF MONTREAL AND UNIVERSITY OF EBERSWALDE	UNDERSTANDING AND APPLYING THE ECOSYSTEM APPROACH FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT AND POVERTY REDUCTION UNDER GLOBAL CHANGE
Friday, 22 October 2010, Lunch-Time				
151	1721	13:15 - 14:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	INSTITUTE FOR GLOBAL ENVIRONMENTAL STRATEGIES (IGES) & MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	DISCUSSION ON TEEB
152	1728	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	EAST AND SOUTHEAST ASIA BIODIVERSITY INFORMATION INITIATIVE (ESABII).
153	1817	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	ENVIRONMENTAL LAW INSTITUTE	ADAPTING THE LAWS AND GOVERNANCE OF BIOLOGICAL DIVERSITY TO CLIMATE CHANGE: FRAMEWORKS FOR POLICYMAKERS AND PRACTITIONERS
154	1829	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	CENSUS OF MARINE LIFE	CENSUS OF MARINE LIFE
155	1988	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	IUCN ASIA REGIONAL OFFICE	SHAPING THE FUTURE FOR ASIA'S PROTECTED AREAS - TAKING THE POWPA FORWARD
156	2016	13:15 - 14:45 CENTURY HALL - Bldg 1 - 1st Floor	REDLAC - LATIN AMERICAN AND THE CARIBBEAN NETWORK OF ENVIRONMENTAL FUNDS	ECOFUNDS DATABASE – MONITORING CONSERVATION INVESTMENTS IN THE ANDES AMAZON REGION
157	2019	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	UNITED NATIONS ENVIRONMENT PROGRAMME DIVISION OF TECHNOLOGY, INDUSTRY AND ECONOMICS INTERNATIONAL ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY CENTER	CURRENT STATUS ON BIOLOGICAL DIVERSITY IN IRAQ
158	2048	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	CITIES, LOCAL AUTHORITIES AND BIODIVERSITY: IMPROVING COOPERATION FOR LOCAL IMPLEMENTATION OF THE CBD

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
159	2050	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	CENTER FOR INTERNATIONAL FORESTRY RESEARCH	LANDSCAPE APPROACHES TO CONSERVATION AND DEVELOPMENT – GUIDELINES AND RECOMMENDATIONS BUILT ON A COMBINATION OF SCIENTIFIC KNOWLEDGE AND MULTIPLE FIELD EXPERIENCES
160	2155	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	THE NEW CBD PROGRAMME OF WORK ON PROTECTED AREAS WEB PORTAL AND E-CURRICULUM
161	2177	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	ADDRESSING THE BUSHMEAT CRISIS: RECOMMENDATIONS FROM THE CBD BUSHMEAT LIAISON GROUP
162	2194	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	IUCN CEESP + ICCA CONSORTIUM + UNEP/ WCMC + GEF/SGP + GTZ + EQUATOR INITIATIVE + IIED	ICCAS IN COASTAL AND MARINE ENVIRONMENTS: LEARNING FROM LONG-STANDING AND BRAND NEW EXAMPLES THROUGHOUT THE WORLD
163	2202	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	INDIGNEOUS AND LOCAL COMMUNITIES, THEIR TRADITIONAL KNOWLEDGE AND RESPONSES TO CLIMATE CHANGE
164	2221	13:15 - 14:45 Interactive Fair Tent of Japan	FONDATION POUR LA RECHERCHE SUR LA BIODIVERSITÉ (FOUNDATION FOR RESEARCH ON BIODIVERSITY)	BUSINESS AND BIODIVERSITY: COOPERATION BETWEEN STAKEHOLDERS AND STRATEGIES
165	2313	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	G-77 SECRETARIAT AND CHAIR, AND SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	STRENGTHENING SOUTH-SOUTH AND TRIANGULAR COOPERATION IN THE CBD - A PLAN FOR ACTION
166	2317	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	GTZ AND SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	ABS COMMUNICATION
167	2320	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	IN COOPERATION WITH THE SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY, GGCA AND THE IUCN GLOBAL SENIOR GENDER ADVISER OFFICE	LINKING GENDER, CLIMATE CHANGE AND BIODIVERSITY
168	2328	13:15 - 14:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	LOCAL BIODIVERSITY STRATEGY AND ACTIONS PLANS
Friday, 22 October 2010, Evening				
169	1784	16:30 - 18:00 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	CONSERVATION OF COASTAL&MARINE BIODIVERSITY WG, CBD CITIZENS NETWORK JAPAN	BIODIVERSITY OF MARINE AND COAST - MPAS AND SUSTAINABLE FISHERIES SUPPORTED BY CITIZENS
170	1888	16:30 - 18:00 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	UNITED NATIONS FOUNDATION- TSC SECRETARIAT	GLOBAL SUSTAINABLE TOURISM COUNCIL
171	1919	16:30 - 18:00 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	FONDAZIONE ENI ENRICO MATTEI, PAULO AUGUSTO NUNES CONSERVATION INTERNATIONAL, ROSIMEIRY PORTELA	VALUING AND MANAGING MARINE RESOURCES FOR HUMAN WELLBEING
172	1970	16:30 - 18:00 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	ITTO - INTERNATIONAL TROPICAL TIMBER ORGANIZATION	BIODIVERSITY CONSERVATION IN TROPICAL FORESTS
173	2009	16:30 - 18:00 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	NEW FORESTS INC.	BIODIVERSITY MARKETS AND PRIVATE-SECTOR PARTICIPATION IN THE CONSERVATION OF BIOLOGICAL DIVERSITY

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
174	2066	16:30 - 18:00 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	NETWORK FORUM FOR BIODIVERSITY RESEARCH LOCATED AT THE HELMHOLTZ CENTRE FOR ENVIRONMENTAL RESEARCH UFZ	"SCIENCE-POLICY INTERFACES - EXAMPLES FROM EUROPE
175	2070	16:30 - 18:00 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	EUROPEAN SPACE AGENCY	SPACE AGENCIES SUPPORT TO RAMSAR/CBD FOR INLAND AND COASTAL WETLAND OBSERVATION AND REPORTING
176	2215	16:30 - 18:00 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	SECRETARIAT FOR THE PACIFIC ENVIRONMENT REGIONAL PROGRAMME (SPREP)	(TENTATIVE) PACIFIC SIDS: VALUE ISLAND BIODIVERSITY: ITS OUR LIFE
177	2227	16:30 - 18:00 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	FEDERATION OF ENVIRONMENTAL AND ECOLOGICAL DIVERSITY FOR AGRICULTURAL REVAMPMENT AND HUMAN RIGHTS (FEEDAR & HR)	FINANCIAL MOBILIZATION FOR FOR FORESTS AND BIODIVERSITY CONSERVATION
178	2229	16:30 - 18:00 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL UNION FOR CONSERVATION OF NATURE	THREATENED ECOSYSTEMS, VULNERABLE PEOPLE
179	2254	16:30 - 18:00 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL UNION OF FOREST RESEARCH ORGANIZATIONS	WHY GLOBAL FOREST GOVERNANCE MATTERS
180	2287	16:30 - 18:00 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	FRIDTJOF NANSEN INSTITUTE	RECENT DEVELOPMENTS IN PATENT LAW RELEVANT FOR GENETIC RESOURCES
181	2299	16:30 - 18:00 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	US DEPARTMENT OF AGRICULTURE/FOREIGN AGRICULTURAL SERVICE	THE US EXPERIENCE: MOVEMENT AND USE OF FOOD AND AGRICULTURE GENETIC RESOURCES AMONG US-BASED STAKEHOLDERS
Friday, 22 October 2010, Evening				
182	1736	18:15 - 19:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	EMBASSY OF INDONESIA IN JAPAN IN COOPERATION WITH WWF INDONESIA	SUMATRA LANDSCAPE CONSERVATION --RIAU, JAMBI AND WEST SUMATRA CASE
183	1741	18:15 - 19:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES OF JAPAN	BIOMASS AND BIODIVERSITY.
184	1749	18:15 - 19:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	MINISTRY OF LAND, INFRASTRUCTURE, TRANSPORT AND TOURISM OF JAPAN	BIODIVERSITY OF INLAND WATERS
185	1761	18:15 - 19:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	TRAFFIC EAST-ASIA JAPAN	SUSTAINABLE USE OF WILD PLANTS
186	1798	18:15 - 19:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	WWF INTERNATIONAL	EXPERIENCE IN IMPLEMENTING HIGH SEAS MARINE PROTECTED AREAS
187	1854	18:15 - 19:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	UNITED NATIONS UNIVERSITY INSTITUTE OF ADVANCED STUDIES (UNU-IAS)	ASSESSMENT PROCESS: EXPLORING SATOYAMA-SATOUMI RENAISSANCE
188	1882	18:15 - 19:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	AUSTRALIA-JAPAN WILDLIFE CONSERVATION AND EDUCATION FOUNDATION	A REPORT FROM THE AUSTRALIAN CONTINENT - CLIMATE CHANGE AND MANAGEMENT FOR BIODIVERSITY OF THE WORLD HERITAGE GONDWANA RAINFORESTS, AND; THE ROLE OF ARTIFICIAL INSEMINATION IN IMPROVING GENETIC DIVERSITY IN UNIQUE AUSTRALIAN ANIMALS
189	2052	18:15 - 19:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	INTERNATIONAL CENTRE FOR INTEGRATED MOUNTAIN DEVELOPMENT	TRANSBOUNDARY COOPERATION FOR BIODIVERSITY CONSERVATION: A STRATEGY TOWARDS 'ECOSYSTEM APPROACH' OF CONVENTION OF BIOLOGICAL DIVERSITY AND ADAPTATION TO CLIMATE CHANGE

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
190	2076	18:15 - 19:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	WILDLIFE CONSERVATION SOCIETY	LIVELIHOODS, GOVERNANCE AND BIODIVERSITY: WHAT WORKS, WHEN AND WHY? TOWARDS A GUIDING FRAMEWORK FOR DESIGNING EFFECTIVE CONSERVATION STRATEGY
191	2236	18:15 - 19:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	NATIONAL PARK UNIT COLOMBIA	NATIONAL PARK SYSTEM OF COLOMBIA FRIENDS: A CALL FOR PROTECTED AREA AND BIODIVERSITY SUPPORTERS
192	2264	18:15 - 19:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	OCEAN POLICY RESEARCH FOUNDATION	MARINE SPATIAL PLANNING IN JAPAN
193	2297	18:15 - 19:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF ENVIRONMENT OF BRAZIL	CONTRIBUTION OF THE PROTECTED AREAS OF BRAZIL TO ECONOMY
194	2322	18:15 - 19:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	G.B. PLANT INSTITUTE OF HE & D	HIMALAYAN BIODIVERSITY
195	2323	18:15 - 19:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	WORLD INTELLECTUAL PROPERTY ORGANIZATION	INTELLECTUAL PROPERTY AND BIODIVERSITY IN THE WIPO IGC: IDENTIFYING LINKS BETWEEN THE CBD AND WIPO
Saturday, 23 October 2010, Lunch-Time				
196	1727	13:15 - 14:45 Interactive Fair Tent of Japan	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	PRESENTATION AND INTERPRETATION ON TREATMENT OF INVASIVE ALIEN SPECIES IN JAPAN.
Monday, 25 October 2010, Lunch-Time				
197	1743	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES OF JAPAN	RICE PADDIES AND BIODIVERSITY.
198	1760	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	THE ROLE OF CRITICAL ECOSYSTEM PARTNERSHIP FUND (CEPF)
199	1802	13:15 - 14:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	UNITED NATIONS UNIVERSITY INSTITUTE OF ADVANCED STUDIES (UNU-IAS)	EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT (ESD) AND BIOLOGICAL DIVERSITY - HOW ESD CAN CONTRIBUTE TO CBD? -
200	1864	13:15 - 14:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	GLOBAL BIODIVERSITY INFORMATION FACILITY (GBIF)	THE IMPORTANCE OF BIODIVERSITY DATA FOR THE POST-2010 TARGETS
201	1897	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL ENVIRONMENT FACILITY	GEF AND PRIVATE SECTOR
202	1924	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	JAPAN INTERNATION COOPERATION AGENCY	SUSTAINABLE FOREST MANAGEMENT AND BIODIVERSITY
203	1935	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	WORLD BUSINESS COUNCIL FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT	EFFECTIVE BIODIVERSITY AND ECOSYSTEM POLICY AND REGULATION – A BUSINESS PERSPECTIVE
204	1954	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	HYOGO ENVIRONMENTAL ADVANCEMENT ASSOCIATION	HYOGO ENVIRONMENTAL NGO/NPO SYMPOSIUM RESOLUTIONS
205	1971	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	OISCA INTERNATIONAL	OISCA'S EXPERIENCE IN SUSTAINABLE AGRICULTURE WITH AGRO-ECOSYSTEMS AND BIOLOGICAL DIVERSITY CONSERVATION
206	2007	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	UNITED NATIONS ENVIRONMENT PROGRAMME	BIOTRADE
207	2053	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	ZOOLOGICAL SOCIETY OF LONDON	NATIONAL RED LISTS - CHALLENGES AND OPPORTUNITIES

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
208	2068	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	WORLD BANK	VALUATION OF ECOSYSTEM SERVICES AND BENEFITS OF PROTECTED AREAS
209	2119	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	BIRDLIFE INTERNATIONAL, FUNDACION BIODIVERSIDAD- SPAIN	EMPOWERING PEOPLE TO IDENTIFY, CONSERVE AND MONITOR AREAS OF IMPORTANCE FOR BIODIVERSITY ACROSS THE WORLD
210	2187	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	MEDITERRANEAN PROTECTED AREAS NETWORK	MARINE PROTECTED AREAS 2010-2012
211	2216	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	EARTHMIND	THE GREEN DEVELOPMENT MECHANISM AND INNOVATIVE FINANCE
212	2330	13:15 - 14:45 Interactive Fair Tent of Japan	UNESCO, INDIGENOUS PEOPLES ORGANZIATIONS, AND SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	A JOINT PROGRAMME OF WORK ON BIOLOGICAL AND CULTURAL DIVERSITY
Monday, 25 October 2010, Evening				
213	1875	16:30 - 18:00 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	INTERNATIONAL CENTRE FOR INTEGRATED MOUNTAIN DEVELOPMENT	FACING THE CHALLENGES OF MOUNTAIN BIODIVERSITY CONSERVATION AND MANAGEMENT IN CHANGING CLIMATE ACROSS THE HINDU KUSH-HIMALAYAN REGION
214	1903	16:30 - 18:00 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	HOLCIM GROUP SUPPORT LTD	INTEGRATING BIODIVERSITY MANAGEMENT INTO THE BUILDING MATERIALS SECTOR
215	1918	16:30 - 18:00 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	NAGOYA UNIVERSITY GLOBAL ENVIRONMENTAL LEADERS PROGRAM (NUGELP)	POSSIBLE OPTIONS FOR INTERNATIONAL REGIME (IR) - FROM THE VIEWPOINTS OF COSTS, BENEFITS AND FEASIBILITY
216	2072	16:30 - 18:00 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	WILDLIFE CONSERVATION SOCIETY	ECOSYSTEM BASED MANAGEMENT AND ADAPTION LESSONS FROM THE PACIFIC
217	2087	16:30 - 18:00 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	UNITED NATIONS ENVIRONMENT PROGRAMME (UNEP) INTERNATIONAL ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY CENTRE (IETC)	WASTE AND BIODIVERSITY
218	2209	16:30 - 18:00 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	NETHERLANDS ENVIRONMENTAL ASSESSMENT BUREAU	BIODIVERSITY LOSS IN THE CONTEXT OF WORLDWIDE TRADE RELATIONS, A CASE FROM THE NETHERLANDS
219	2223	16:30 - 18:00 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	FOUNDATION FOR REVITALIZATION OF LOCAL HEALTH TRADITIONS, COMPAS, UNEP, UNU-IAS, AND EQUATOR INITIATIVE	HEALTH, BIODIVERSITY AND TRADITIONAL KNOWLEDGE: STRENGTHENING LINKAGES
220	2231	16:30 - 18:00 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL UNION FOR CONSERVATION OF NATURE (IUCN)	ENGAGING THE CBD TO BUILD ON EXISTING BIOFUEL SUSTAINABILITY INITIATIVES
221	2243	16:30 - 18:00 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	UNEP WORLD CONSERVATION MONITORING CENTRE, CONSERVATION INTERNATIONAL, BIRDLIFE INTERNATIONAL, IUCN	WHERE THE WILD THINGS ARE: USING THE INTEGRATED BIODIVERSITY ASSESSMENT TOOL (IBAT) TO UNDERSTAND WHERE IN THE WORLD BIODIVERSITY LIES
222	2261	16:30 - 18:00 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	U.S. AGENCY FOR INTERNATIONAL DEVELOPMENT (USAID)	USAID'S BIODIVERSITY PROGRAMS: INTERNATIONAL DEVELOPMENT THROUGH CONSERVATION ACTION
223	2271	16:30 - 18:00 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL UNION FOR CONSERVATION OF NATURE (IUCN), EASTERN AND SOUTHERN AFRICA REGIONAL OFFICE (ESARO)	"IMPROVING PA GOVERNANCE FOR SECURE LIVELIHOODS AND POWPA IMPLEMENTATION IN SOUTHERN AFRICA

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
Monday, 25 October 2010, Evening				
224	1729	18:15 - 19:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	ASIA-PACIFIC BIODIVERSITY OBSERVATION NETWORK (AP-BON).
225	1814	18:15 - 19:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	LAUNCH OF A PRIMER ON "BIODIVERSITY FOR DEVELOPMENT: SOUTH AFRICA'S LANDSCAPE APPROACH TO CONSERVING BIODIVERSITY AND ENSURING ECOSYSTEM RESILIENCE"
226	1878	18:15 - 19:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	RAIPON - RUSSIAN ASSOCIATION OF INDIGENOUS PEOPLES OF THE NORTH	INDIGENOUS PEOPLES OF RUSSIA AND BIODIVERSITY CONSERVATION.
227	1953	18:15 - 19:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	INTERNATIONAL UNION FOR THE CONSERVATION OF NATURE, THE TEMPERATE GRASSLANDS CONSERVATION INITIATIVE	TEMPERATE GRASSLANDS CONSERVATION INITIATIVE
228	1974	18:15 - 19:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	WWF	HEART OF BORNEO - FROM VISION TO ACTION
229	2101	18:15 - 19:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	WILDLIFE CONSERVATION SOCIETY	THE SANGHA TRI-NATIONAL LANDSCAPE: AN AFRICAN TEST-BED FOR CONSERVATION INNOVATION AND SUSTAINABLE NATURAL RESOURCE MANAGEMENT
230	2164	18:15 - 19:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	ASIAN DEVELOPMENT BANK	FINANCING LANDSCAPE MANAGEMENT: AN INTEGRATED APPROACH TO ACHIEVING AN ECONOMICALLY AND ENVIRONMENTALLY PROSPEROUS GREATER MEKONG SUBREGION
231	2165	18:15 - 19:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	GLOBAL ENVIRONMENTAL FORUM	THE UNIVERSAL VALUE OF BIODIVERSE "USSURI TAIGA" FOREST OF SOUTHERN RUSSIAN FAR EAST: TIGER PROTECTION AND INDIGENOUS PEOPLES SUSTAINABILITY
232	2185	18:15 - 19:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	INTERNATIONAL UNION FOR THE CONSERVATION OF NATURE	DEVELOPING SUCCESSFUL BUSINESS AND BIODIVERSITY INITIATIVES
233	2235	18:15 - 19:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	NATIONAL PARK UNIT COLOMBIA	BUILDING A REGIONAL CONSERVATION VISION FOR THE AMAZON BIOME
234	2247	18:15 - 19:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	WORLD OCEAN COUNCIL	OCEAN INDUSTRY LEADERSHIP IN ADDRESSING MARINE BIODIVERSITY CHALLENGES
235	2301	18:15 - 19:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	WWF TANZANIA	DRIFTING WOODS: THE VOYAGE FROM EASTERN AFRICA TO NAGOYA
236	2326	18:15 - 19:45 Interactive Fair Tent of Japan	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	THE GREEN WAVE
Tuesday, 26 October 2010, Lunch-Time				
237	1753	13:15 - 14:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY OF JAPAN	UNESCO'S MAN AND BIOSPHERE (MAB) PROGRAM, EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT (ESD), AND JAPANESE ACTIVITIES
238	1755	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF LAND, INFRASTRUCTURE, TRANSPORT AND TOURISM OF JAPAN	SUSTAINABLE INFRASTRUCTURE DEVELOPMENT CONSISTENT WITH BIODIVERSITY CONSERVATION IN JAPAN.
239	1889	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	CAMBRIDGE CONSERVATION INITIATIVE	ACHIEVING GLOBAL CONSENSUS ON THE PROBLEM OF BIODIVERSITY LOSS: LEARNING LESSONS FROM CLIMATE CHANGE
240	1896	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	GLOBAL ENVIRONMENT FACILITY	GEF'S SUPPORT ON PROTECTED AREAS SYSTEM

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
241	1898	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL ENVIRONMENT FACILITY	GEF'S SUPPORT ON MAINSTREAMING BIODIVERSITY INTO PRODUCTION LANDSCAPE AND SEASCAPE
242	2002	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	DESIGN BANGLADESH	SEE WHAT WE SEE, HEAR WHAT WE SAY....
243	2062	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location"	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	ACTIVITIES OF JAPAN NATIONAL COMMITTEE FOR IYB (LIFE ON EARTH COMMITTEE)—TOWARDS THE UN DECADE ON BIODIVERSITY 2011-2020—
244	2090	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	PRICE WATER HOUSE COOPERS	FINANCING THE FUTURE
245	2116	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL CROP DIVERSITY TRUST	CROP DIVERSITY IS BIODIVERSITY
246	2140	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	NIPPON KEIDANREN (JAPAN BUSINESS FEDERATION),COMMITTEE ON NATURE CONSERVATION	THE 1ST MEETING OF GLOBAL PLATFORM ON PRIVATE SECTOR ENGAGEMENT
247	2156	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	FRENCH MARINE PROTECTED AREAS AGENCY	BIODIVERSITY AND MARINE PROTECTED AREAS: BUILDING CAPACITIES FOR THE DEVELOPMENT OF REGIONAL MPAS NETWORKS TOWARD EFFECTIVE LARGE MARINE ECOSYSTEM-BASED MANAGEMENT
248	2178	13:15 - 14:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	CBD PROGRAMME OF WORK ON FOREST BIODIVERSITY: COLLABORATION WITH ITTO AND UNFF
249	2245	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CBD AND BIRDLIFE INTERNATIONAL	STRENGTHENING GOVERNMENTS- CIVIL SOCIETY PARTNERSHIPS FOR ENHANCED CBD IMPLEMENTATION
Tuesday, 26 October 2010, Evening				
250	1752	16:30 - 18:00 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	WWF	LEADING FROM THE FRONT, THE BIO-CHAMPS OF ASIA; PARTNERSHIPS FOR CRITICAL ECOSYSTEMS IN ASIA AND THE PACIFIC
251	1838	16:30 - 18:00 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	NONPROFIT ORGANIZATION OMOTEHAMA NETWORK	OMOTEHAMA COAST EXCURSION
252	1856	16:30 - 18:00 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	HYOGO PREFECTURAL GOVERNMENT	ACTIVITIES FOR THE CONSERVATION OF BIODIVERSITY IN HYOGO PREFECTURE
253	2017	16:30 - 18:00 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	STOCKHOLM RESILIENCE CENTRE AT STOCKHOLM UNIVERSITY	STEWARDSHIP OF BIODIVERSITY FOR PLANETARY SUSTAINABILITY IN AN ERA OF RAPID GLOBAL CHANGE – A SCIENTIFIC CONSULTATION FOR THE 2011 STOCKHOLM NOBEL LAUREATE SYMPOSIUM ON GLOBAL SUSTAINABILITY
254	2082	16:30 - 18:00 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	FRIENDS OF THE CONSERVATION COMMONS	REMOVING BARRIERS AND ENCOURAGING PARTICIPATION IN DATA SHARING.
255	2128	16:30 - 18:00 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	PROTECT OUR WATER AND ENVIRONMENTAL RESOURCES	INTERNATIONAL YOUTH WORK FOR BIODIVERSITY
256	2135	16:30 - 18:00 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	SEARICE	"FARMERS SUSTAINING AGRICULTURE IN A WARMING WORLD"
257	2188	16:30 - 18:00 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	VIVAT INTERNATIONAL	INTEGRATING RELIGIOUS VALUES AND GREATER STAKEHOLDER PARTICIPATION INTO ENVIRONMENTAL GOVERNANCE

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
258	2222	16:30 - 18:00 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	UNITED NATIONS UNIVERSITY-INSTITUTE OF ADVANCED STUDIES, UNITED NATIONS ENVIRONMENT PROGRAMME, COMPAS, EQUATOR INITIATIVE	WELL BEING, BIOENTERPRISES AND ENDOGENOUS DEVELOPMENT
259	2277	16:30 - 18:00 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	BRAZILIAN MINISTRY OF THE ENVIRONMENT	RESULTS AND IMPACTS OF THE FIRST PHASE OF IMPLEMENTATION OF THE AMAZON REGION PROTECTED AREAS PROGRAM (ARPA), IN BRAZIL.
260	2298	16:30 - 18:00 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	PCI - MEDIA IMPACT	AS THE WORLD BURNS: SOAP OPERAS AND SOCIAL MARKETING AS TOOLS TO COMBAT CLIMATE CHANGE IN THE CARIBBEAN
Tuesday, 26 October 2010, Evening				
261	1746	18:15 - 19:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY OF JAPAN	CONTRIBUTION OF ARTIFICIAL SATELLITES TO BIODIVERSITY SURVEY AND CLIMATE CHANGE MONITORING-1 (FEAT. JAPAN AEROSPACE EXPLORATION AGENCY).
262	1748	18:15 - 19:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY OF JAPAN	BIODIVERSITY IN JAPAN AND ITS CONSERVATION (FEAT. NATIONAL MUSEUM OF NATURE AND SCIENCE)
263	1850	18:15 - 19:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	IUCN*, TNC, UNEP WCMC, UNEP, UNU-IAS	MOVING THE NEEDLE ON OCEAN PROTECTION
264	1931	18:15 - 19:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	AMERICAN BIRD CONSERVANCY	ALLIANCE FOR ZERO EXTINCTION
265	2014	18:15 - 19:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	REDLAC - THE LATIN AMERICAN AND CARIBBEAN NETWORK OF ENVIRONMENTAL FUNDS	THE CONTRIBUTION OF ENVIRONMENTAL FUNDS TO THE LATIN AMERICAN AND CARIBBEAN PROTECTED AREAS
266	2033	18:15 - 19:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	RAIPON - RUSSIAN ASSOCIATION OF INDIGENOUS PEOPLES OF THE NORTH, SIBERIA AND THE FAR EAST	INDIGENOUS PEOPLES AND PROTECTED TERRITORIES IN RUSSIA
267	2065	18:15 - 19:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floora	FOREST TRENDS AND MIZUHO CORPORATE BANK	BIODIVERSITY OFFSETS: ENSURING NO NET LOSS OF BIODIVERSITY IN THE CONTEXT OF DEVELOPMENT PROJECTS
268	2094	18:15 - 19:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	THE INTERNATIONAL UNION FOR CONSERVATION OF NATURE (IUCN) (ENVIRONMENTAL LAW CENTRE, ELC)	PROTECTED AREAS AND THE LAW
269	2107	18:15 - 19:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	NATURAL JUSTICE: LAWYERS FOR COMMUNITIES AND THE ENVIRONMENT	DEMYSTIFYING COMMUNITY PROTOCOLS
270	2158	18:15 - 19:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	WORLD METEOROLOGICAL ORGANIZATION	BETTER CLIMATE SERVICES FOR THE BIOLOGICAL DIVERSITY COMMUNITY
271	2174	18:15 - 19:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	IUCN	2010 IUCN - REUTERS - COMPLUS MEDIA AWARDS
272	2204	18:15 - 19:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	INTERNATIONAL UNION FOR CONSERVATION OF NATURE	YOUNG PEOPLE'S VOICES ON BIODIVERSITY CONSERVATION IN NATURAL HERITAGE SITES
273	2224	18:15 - 19:45 EVENT HALL - Bldg 1 - 1st Floor	LIFE INSTITUTE	LIFE INSTITUTE CERTIFICATION
274	2289	18:15 - 19:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	CANADIAN ENVIRONMENTAL NETWORK	FRIENDS OF THE CBD: A MULTISTAKEHOLDER PARTICIPATORY MODEL

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
Wednesday, 27 October 2010, Lunch-Time				
275	1720	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location"	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	ASSESSMENT AND INDICATORS ON BIODIVERSITY (JAPAN BIODIVERSITY OUTLOOK).
276	1731	13:15 - 14:45 Interactive Fair Tent of Japan	MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	THE RESULTS OF THE INTERNATIONAL YOUTH CONFERENCE ON BIODIVERSITY IN AICHI 2010.
277	1766	13:15 - 14:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	NIPPON KEIDANREN (JAPAN BUSINESS FEDERATION)	INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON BUSINESS AND BIODIVERSITY
278	1804	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	TOYOOKA MUNICIPAL GOVERNMENT	COEXISTANCE BETWEEN THE HUMAN COMMUNITY AND THE ORIENTAL WHITE STORKS
279	1852	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	UNIVERSITY OF THE AZORES	ANTHROPOGENIC LANDSCAPE IMPACTS AND BIODIVERSITY RESTORATION
280	1900	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	UNITED NATIONS WORLD TOURISM ORGANIZATION	TOURISM AND BIODIVERSITY :HOW TO ACHIEVE COMMON GOALS TOWARDS SUSTAINABILITY
281	1923	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY	POVERTY ALLEVIATION AND BIODIVERSITY; THROUGH JICA ACTIVITIES
282	1936	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	WORLD BUSINESS COUNCIL FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT	CORPORATE ECOSYSTEM VALUATION – BUSINESS GUIDANCE AND EXAMPLES
283	2153	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	IMPLEMENTATION OF THE CBD PROGRAMME OF WORK ON MOUNTAIN BIODIVERSITY: REGIONAL APPROACHES
284	2167	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	CENTRAL AMERICAN COMMISSION ON ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT (CCAD)	PROTECTED AREAS IN MESOAMERICA: A BASIS FOR ENHANCING LIVELIHOODS AND ADDRESSING CLIMATE CHANGE.
285	2183	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL CROP DIVERSITY TRUST	ENSURING CROP DIVERSITY FOR GLOBAL FOOD SECURITY
286	2208	13:15 - 14:45 Rooma 211B - Bldg 2, 1st Floor	UNEP FINANCE INITIATIVE	THE NEXT CHALLENGE – THE ROLE OF FINANCE INSTITUTIONS IN ACCOUNTING FOR BIODIVERSITY AND ECOSYSTEM SERVICES IN THE ASIA PACIFIC REGION
287	2274	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	CONVENTION ON MIGRATORY SPECIES	STEPPES AND DESERTS OF EURASIA: A REFUGE FOR MIGRATORY SPECIES
288	2284	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	ROBERTO MARINHO FOUNDATION	THE MUSEUM OF TOMORROW IN RIO DE JANEIRO
289	2288	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	IUCN	NET POSITIVE IMPACT: A NEW BUSINESS TREND?
290	2321	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	MINISTRY OF ENVIRONMENT AND FORESTS OF INDIA AND CSIR	TRADITIONAL KNOWLEDGE DIGITAL LIBRARY
Wednesday, 27 October 2010, Evening				
291	1782	16:30 - 18:00 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	COMMITTEE OF FISHERY ENVIRONMENT, JAPANESE SOCIETY OF FISHERIES SCIENCES	BIODIVERSITY IN FISHERY - PERSPECTIVE FROM EXPERIENCES OF JAPAN
292	1797	16:30 - 18:00 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	WWF INTERNATIONAL WITH THE SECRETARIAT OF THE CARPATHIAN CONVENTION	TIGERS

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
293	1808	16:30 - 18:00 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	JAPAN CIVIL NETWORK FOR THE CONVENTION OF BIOLOGICAL DIVERSITY	SUSTAINABLE AGRICULTURE FOR ENHANCING BIODIVERSITY IN ECO-TONE BY USING RICE BASED ECOSYSTEM
294	1819	16:30 - 18:00 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	WORLD WETLAND NETWORK	INTERNATIONAL WETLAND AWARDS
295	1867	16:30 - 18:00 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	JAPAN CIVIL NETWORK FOR THE CONVENTION OF BIOLOGICAL DIVERSITY	FROM INTERNATIONAL YEAR OF BIODIVERSITY TO UN DECADE OF BIODIVERSITY
296	1887	16:30 - 18:00 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	KOREA WETLANDS NGO NETWORK (KWNN)	THE CURRENT SITUATION AND BIODIVERSITY OF KOREA'S WETLAND
297	1963	16:30 - 18:00 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	GLOBAL NATURE FUND AND IUCN, EUROPEAN UNION REPRESENTATIVE OFFICE	THE BUSINESS CASE FOR BIODIVERSITY
298	2058	16:30 - 18:00 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	THE ROYAL SOCIETY	GEOENGINEERING AND BIODIVERSITY
299	2141	16:30 - 18:00 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	ICLEI - LOCAL GOVERNMENTS FOR SUSTAINABILITY: LOCAL ACTION FOR BIODIVERSITY (LAB).	"LOCAL SOLUTIONS TO GLOBAL BIODIVERSITY CHALLENGES
300	2173	16:30 - 18:00 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	GENERAL SECRETARIAT OF THE ANDEAN COMMUNITY	A REGIONAL BIODIVERSITY STRATEGY FOR THE ANDEAN COUNTRIES AND ITS LINK TO THE CBD OBJECTIVES
301	2283	16:30 - 18:00 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	UNIVERSITY OF READING	THE CATALOGUE OF LIFE - INDEXING THE WORLD'S SPECIES
302	2300	16:30 - 18:00 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	THE WILD FOUNDATION	AN INTERIM MECHANISM TO PROTECT TROPICAL FORESTS (IMPTF) AND SURROUNDING AREAS INCLUDING COASTAL FORESTS - EXPEDITE MARKET TO CAPTURE CARBON CREDITS, SAVE FOREST BIODIVERSITY AND EMISSIONS, AND STRENGTHEN PROTECTED AREAS THROUGH COMMUNITIES WITHIN CONNECTIVITY CONSERVATION INITIATIVES
303	2305	16:30 - 18:00 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	UNITED STATES NATIONAL INVASIVE SPECIES COUNCIL	THE MICRONESIA BIOSECURITY PLAN - AN UNPRECEDENTED COOPERATIVE EFFORT TO PROACTIVELY ANALYZE AND PREVENT INVASIVE SPECIES THREATS TO THE REGION OF MICRONESIA.
Wednesday, 27 October 2010, Evening				
304	1722	18:15 - 19:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	NIPPON KEIDANREN (JAPAN BUSINESS FEDERATION) & MINISTRY OF THE ENVIRONMENT OF JAPAN	DISCUSSION ON BUSINESS AND BIODIVERSITY
305	1913	18:15 - 19:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	BUSINESS AND BIODIVERSITY INITIATIVE 'BIODIVERSITY IN GOOD COMPANY'	CORPORATE BIODIVERSITY MANAGEMENT - PRACTICALITY MEETS BIODIVERSITY
306	1939	18:15 - 19:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	WORLD WILDLIFE FUND - GERMANY	SUSTAINABLE USE OF BIOMASS – A CHANCE FOR BIODIVERSITY AND CONSERVATION
307	2039	18:15 - 19:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	UNITED NATIONS CONFERENCE ON TRADE AND DEVELOPMENT (UNCTAD)	GOING BEYOND MITIGATION: HOW CAN PRIVATE SECTOR DRIVE BIODIVERSITY CONSERVATION?
308	2056	18:15 - 19:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	ORGANISATION INTERNATIONALE DE LA FRANCOPHONIE/INSTITUT DE L'ENERGIE ET DE L'ENVIRONNEMENT DE LA FRANCOPHONIE	PRÉSENTATION DU LIVRE ET DES FICHES SUR LA "BIODIVERSITÉ DANS LE MONDE FRANCOPHONE"

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
309	2073	18:15 - 19:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	AMAZON COOPERATION TREATY ORGANIZATION	REGIONAL ACTION PLAN FOR AMAZON BIODIVERSITY
310	2120	18:15 - 19:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	BIRDLIFE INTERNATIONAL, MACARTHUR FOUNDATION	IDENTIFYING IMPACTS AND PLANNING ADAPTIVE MANAGEMENT RESPONSES TO CLIMATE CHANGE IN ASIA AND AFRICA
311	2122	18:15 - 19:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	ECOMANAGEMENT FORUM AND NIKKEI ECOLOGY. NIKKEI BUSINESS PUBLICATIONS, INC.	HOW JAPANESE COMPANIES WORK ON TEEB, CERTIFICATIONS, PES, OFFSETS: MANY CASES PRESENTED BY NIKKEI BP EMF.
312	2131	18:15 - 19:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	PEW ENVIRONMENT GROUP	LARGE SCALE MARINE RESERVES: AN INSURANCE POLICY FOR THE FUTURE OF OUR OCEANS
313	2179	18:15 - 19:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	INTERNATIONAL INSTITUTE FOR ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT, ASOCIATION ANDES (PERU), CENTRE FOR CHINESE AGRICULTURAL POLICY (CHINA), ECOSERVE (INDIA), KENYA FORESTRY RESEARCH INSTITUTE	PROTECTING TRADITIONAL KNOWLEDGE AND BIO-CULTURAL HERITAGE
314	2189	18:15 - 19:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	VIVAT INTERNATIONAL	VIVAT INTERNATIONAL FORUM ON BIODIVERSITY AND ENVIRONMENTAL GOVERNANCE: STRENGTHENING SYNERGY, INTERRELATEDNESS AND PARTICIPATION IN ENVIRONMENTAL DECISION-MAKING
315	2203	18:15 - 19:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL LEGISLATORS ORGANISATION FOR A BALANCED ENVIRONMENT	GLOBE INTERNATIONAL: LEGISLATIVE APPROACHES TO RECOGNISING THE VALUE OF BIODIVERSITY AND NATURAL CAPITAL
316	2226	18:15 - 19:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	WORLD WIDE FUND FOR NATURE	WHEN PARKS ARE NOT ENOUGH: ECOSYSTEM RESILIENCE AND CHANGE IN THE ARCTIC
317	2282	18:15 - 19:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	WWF-BRASIL	CLIMATE CHANGE VULNERABILITY ASSESSMENT OF THE PANTANAL AND THE ROLE OF PROTECTED AREAS
318	2318	18:15 - 19:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	BDA FOUNDATION / DE DESIGN AND ENVIRONMENT	ADAPTATION, BIODIVERSITY PRESERVATION, AND COMMUNITY CAPACITY BUILDING THROUGH ENTREPRENEURSHIP IN THE DEMOCRATIC REPUBLIC OF THE CONGO
Thursday, 28 October 2010, Lunch-Time				
319	1747	13:15 - 14:45 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY OF JAPAN	CONTRIBUTION OF ARTIFICIAL SATELLITES TO BIODIVERSITY SURVEY AND CLIMATE CHANGE MONITORING-2 (FEAT. JAPAN AEROSPACE EXPLORATION AGENCY).
320	1775	13:15 - 14:45 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	CONSERVATION OF ARCTIC FLORA & FAUNA WORKING GROUP OF THE ARCTIC COUNCIL	ARCTIC BIODIVERSITY: STATUS AND TRENDS
321	1796	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	WWF INTERNATIONAL	ZERO NET DEFORESTATION
322	2031	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	BUSINESS AND BIODIVERSITY INITIATIVE 'BIODIVERSITY IN GOOD COMPANY'	BUSINESS MEETS BIODIVERSITY - DOING BUSINESS THE BIODIVERSE WAY
323	2054	13:15 - 14:45 Room 211B - Bldg 2, 1st Floor	UNEP/MAP	MARINE AND COASTAL PROTECTED AREAS TOWARDS A BETTER GOVERNANCE OF THE MEDITERRANEAN
324	2112	13:15 - 14:45 Room 233B - Bldg 2 - 3rd Floor	WWF INTERNATIONAL	GAP ANALYSIS OF RUSSIAN FEDERAL PROTECTED AREA SYSTEM

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
325	2118	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	THE NORWEGIAN MINISTERY OF THE ENVIRONMENT	THE NATURE DIVERSITY ACT- BEST BIODIVERSITY POLICY FOR THE FUTURE POLICY AWARD 2010.
326	2172	13:15 - 14:45 Room 130 - Bldg 1 - 3rd Floor	BRAZILIAN BUSINESS COUNCIL FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT	BRAZILIAN BIODIVERSITY AND BUSINESS ACTION
327	2211	13:15 - 14:45 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL LEGISLATORS ORGANISATION FOR A BALANCED ENVIRONMENT	GLOBE INTERNATIONAL: LEGISLATIVE ACTIONS TO RESTORE MARINE BIODIVERSITY AND ECOSYSTEM SERVICES
328	2220	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	MINISTRY OF ENVIRONMENT (REPUBLIC OF KOREA), KOREA NATIONAL PARK SERVICE, JEJU SPECIAL SELF-GOVERNING PROVINCE, IUCN	THE PROSPECTIVE VIEW OF 2012 WORLD CONSERVATION CONGRESS(WCC)
329	2281	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	WORLD FUTURE COUNCIL	PACIFIC OCEAN 2020 CHALLENGE - A HEALTHY OCEAN FOR FUTURE GENERATIONS
330	2292	13:15 - 14:45 Room 236 - Bldg 2 - 3rd Floor	WWF GERMANY	MARINE PROTECTED AREA IN THE SOUTH OF CHILE
331	2325	13:15 - 14:45 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	ENVIRONMENT MANAGEMENT GROUP, SECRETARIAT OF THE CONVENTION ON BIOLOGICAL DIVERSITY	ADVANCING THE BIODIVERSITY AGENDA: A UN SYSTEM-WIDE CONTRIBUTION
Thursday, 28 October 2010, Evening				
332	1793	16:30 - 18:00 Room 210A - Bldg 2, 1st Floor	WORLD WILDLIFE FUND (WWF)	20 BY 2010 PARTNERSHIP LAUNCH
333	2160	16:30 - 18:00 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	WAZA WORLD ASSOCIATION OF ZOOS AND AQUARIUMS	A GLOBAL AQUARIUM STRATEGY FOR CONSERVATION AND SUSTAINABILITY
334	2168	16:30 - 18:00 Room 232 - Bldg 2 - 3rd Floor	WORLD BANK	GLOBAL TIGER INITIATIVE: MAINSTREAMING CONSERVATION AND BIODIVERSITY INTO THE DEVELOPMENT AGENDA
335	2256	16:30 - 18:00 Room 234C - Bldg 2 - 3rd Floor	THE INTERNATIONAL UNION FOR CONSERVATION OF NATURE	IMPLEMENTING THE CONVENTION ON BIOLOGICAL BIODIVERSITY IN THE EUROPEAN UNION OVERSEAS ENTITIES
336	2296	16:30 - 18:00 Room 231B - Bldg 2 - 3rd Floor	ROBERTO MARINHO FOUNDATION	FUTURA CHANNEL: A PLATFORM FOR EDUCATION AND COMMUNITY OUTREACH IN BRAZIL
Thursday, 28 October 2010, Evening				
337	1827	18:15 - 19:45 SHIROTORI HALL - Bldg 4 - 1st Floor	UNDP, EQUATOR INITIATIVE	ECONOMICS OF ECOSYSTEMS AND BIODIVERSITY IN LATIN AMERICA
338	2055	18:15 - 19:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	ORGANISATION INTERNATIONALE DE LA FRANCOPHONIE/ INSTITUT DE L'ÉNERGIE ET DE L'ENVIRONNEMENT DE LA FRANCOPHONIE	CONCERTATION FRANCOPHONE DE HAUT NIVEAU À LA CDP10 À LA CONVENTION SUR LA DIVERSITÉ BIOLOGIQUE
339	2196	18:15 - 19:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	BRAZILIAN MINISTRY OF THE ENVIRONMENT	RECONCILING EFFORTS TO IMPLEMENT THE PROVISIONS OF THE CONVENTIONS ON CLIMATE CHANGE AND BIOLOGICAL DIVERSITY IN AN INTEGRATED WAY.
340	2214	18:15 - 19:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	WWF - ANI	AMAZON ALIVE! A DECADE OF DISCOVERY:1999-2009
341	2259	18:15 - 19:45 Bldg 3, 3rd Floor - Press Room	PRINCIPAUTÉ DE MONACO	JAPANESE PREMIERE OF THE FILM "HIDDEN BEAUTY- A LOVE STORY THAT FEEDS THE EARTH"

#	ID	Time/Room*	Organizers	Title
Friday, 29 October 2010, Lunch-Time				
342	1818	13:15 - 14:45 Room 212A - Bldg 2, 1st Floor	ORGANISATION FOR ECONOMIC CO-OPERATION AND DEVELOPMENT	RECENT OECD WORK ON ECONOMIC ASPECTS OF BIODIVERSITY
343	1977	13:15 - 14:45 Room 235A - Bldg 2, 3rd Floor	SYNGENTA INTERNATIONAL	NEW MODELS TO SHARE INNOVATION FOR SUSTAINABLE AGRICULTURE AND FOOD SECURITY
344	2180	13:15 - 14:45 Room 234A - Bldg 2 - 3rd Floor	GLOBAL CROP DIVERSITY TRUST	DEVELOPING PARTNERSHIPS FOR CROP DIVERSITY
345	2253	13:15 - 14:45 Room 136 - Bldg 1 - 3rd Floor	BIOLOGICAL DIVERSITY DIVISION OFFICE OF NTAURAL RESOURCES AND ENVIRONMENTAL POLICY AND PLANNING MINISTRY OF NATURAL RESOURCES AND ENVIRONMENT	CP THAI PRIVATE SECTOR 'S CONTRIBUTION TO CONSERVATION , SUSTAINABLE USE AND BENEFIT SHARING ON ANIMAL GENETIC RESOURCES.
346	2262	13:15 - 14:45 Nagoya Gakuin University - Offsite location	NATIONAL PARK UNIT COLOMBIA	PROGRAMA TRINACIONAL DE CONSERVACIÓN Y DESARROLLO SOSTENIBLE ECUADOR - COLOMBIA – PERU
347	2304	13:15 - 14:45 Room 212B - Bldg 2, 1st Floor	JOINT RESEARCH CENTRE OF THE EUROPEAN COMMISSION, INSTITUTE FOR THE ENVIRONMENT AND SUSTAINABILITY	"AN INTRODUCTION TO DOPA, A DIGITAL OBSERVATORY FOR PROTECTED AREAS

2. 屋内展示

CEPA フェア（CBD 事務局主催、発表者公募型）

CEPA フェア（Fair on experiences and best practices in Communication, Education and Public Awareness) は、カルタヘナ議定書・生物多様性条約の目的達成に資する情報交換、教育及び普及啓発における取組やその成功事例について、締約国及び各種団体が発表し合うために、CBD 事務局が主催する成果物展示コーナー及びサイドイベントです。

【日程】2010 年 10 月 18 日（月）～ 29 日（金）
【会場】名古屋国際会議場 2 号館 1 階 216A 号室とその周辺（P.12 参照）

リオパビリオン（CBD 事務局主催、発表者公募型）

リオ 3 条約（1992 年のリオ地球サミットに起源をもつ生物多様性条約・気候変動枠組条約・砂漠化対処条約）の各事務局が共同で開催する、セッション＆展示イベントコーナーです。リオ 3 条約の複数の目的を達成するための活動（生物多様性、気候変動、土地管理を結び付けるような取組）が紹介されます。

【日程】2010 年 10 月 18 日（月）～ 29 日（金）
【会場】名古屋国際会議場 2 号館 1 階 211A 号室とその周辺（P.12 参照）

ポスターセッション（日本政府主催、発表者公募型）

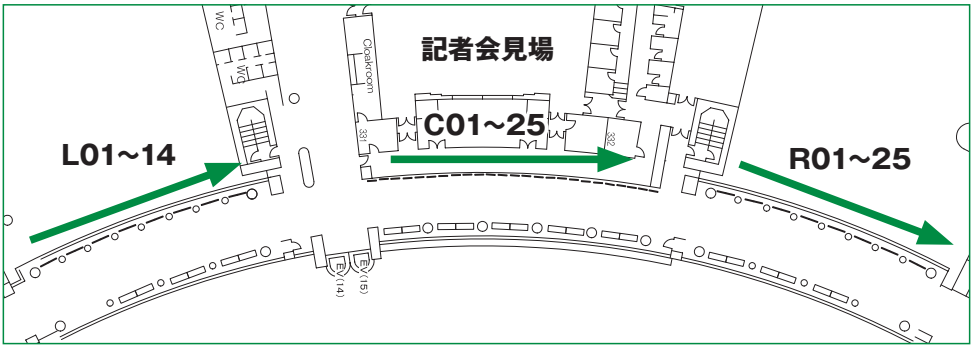
締約国、参加団体における COP10/COP-MOP5 の議題に関するこれまでの取組や活動、その成果等を共有するポスター掲示コーナーです。

【日程】2010 年 10 月 11 日（月）～ 29 日（金）
【会場】名古屋国際会議場 3 号館 3 階の通路外周側（P.16 参照）

ポスターセッションの会場・タイトル一覧

ポスターセッション会場：3 号館 3 階通路

パネル番号：



ポスタータイトル一覧：

COP-MOP5 期間：2010 年 10 月 11 日～ 15 日

パネル番号	代表機関	ポスタータイトル
L01	Kanuri Development Association (KDA)	The Impacts of Climate change on Apiculture and Traditional Knowledge in the sub-Saharan African nations: Case study of Borno state of Nigeria
L02	Ministry of the Environment, Czech Republic	Development and Implementation of the National Biosafety Framework - Czech Republic
L03	European Commission, BCH National Focal Point for the European Union	European Commission Capacity Building Project on GMO Analysis
L04	NGO VAID	THE SOLUTION TO THE CLIMATE CHANGE
L05	EMBRAPA - BRAZIL	"The LATIN AMERICAMULTI - COUNTRY CAPACITY BUILDING FOR COMPLIANCE WITH THE CARTAGENA PROTOCOL ON BIOSAFETY PROJECT: BRAZIL, COLOMBIA, COSTA RICA,"

COP10 第 1 週：2010 年 10 月 18 日～ 22 日

パネル番号	代表機関	ポスタータイトル
L01	International Centre for Integrated Mountain Development (ICIMOD)	General Legal Process for Access and Benefit Sharing (ABS) from Genetic Resources and Associated Traditional Knowledge in the context of climate change
L02	TRAFFIC	Saving Plants that Save Lives
L03	United Nations University-Institute of Advanced Studies	Can REDD learn something from ABS legal negotiations?
L04	Indonesian Institute of Sciences	Development of New Botanic Gardens in Indonesia and the Achievements of GSPC Targets
L05	Central American Commission on Environment and Development (CCAD)	PROMEBIO: A Regional Strategic Biodiversity Monitoring and Evaluation Program for Central America
L06	Fondation pour la recherche sur la biodiversité (FRB)	The French Foundation for Biodiversity Research: a science-society interface to address the scientific challenges in biodiversity
L07	Royal Botanic Gardens, Kew, Botanic Gardens Conservation International-2	Plants for the IUCN Sampled Red List Index
L08	Muséum national d'Histoire naturelle, Paris, France	Vigie Nature, Monitoring ordinary biodiversity in France
L09	Muséum national d'Histoire naturelle, Paris, France	Contribution of the Muséum national d'Histoire naturelle (Paris, France) to the implementation of CBD

パネル番号	代表機関	ポスタータイトル
L10	National Parks Board Singapore	Biodiversity Conservation in Singapore
L11	United Nations University – Institute of Advanced Studies	Biofuel, ecosystem services and human wellbeing
L12	Royal Botanic Gardens, Kew	Effective Training to Meet the Post 2010 Targets or Capacity Building for the Post-2010 targets
L13	Directorate for Nature Management, Norway	The Nature Index: A new method to integrate expert knowledge and data on biodiversity to measure state and trends within and across ecosystems
L14	MedPAN (Network of MPA managers in the Mediterranean)	the Mediterranean Network of Marine Protected Areas Managers
C01	International Centre for Integrated Mountain Development (ICIMOD)	Celebrating the International Year of Biodiversity in Hindu Kush-Himalayan (HKH) region
C02	Food and Agriculture Organization (FAO) of the United Nations	Globally Important Agricultural Heritage Systems: a heritage for the future
C03	1-BirdLife Asia, 2-Wild Bird Society of Japan, 3-BirdLife International	Identification of Marine Important Bird Areas in Japan
C04	International Tropical Timber Organization, Forest Organization and Development Agency Ministry of	Public-Private Partnership for Conservation of Biodiversity and Carbon in Meru Betiri National Park, Indonesia
C05	"Fiji Department of Fisheries; Whale and Dolphin Conservation Society; WWF South Pacific Programme"	Establishing a long-term dataset for monitoring trends in humpback whale migration through Fijian waters
C06	World Wide Fund for Nature - South Pacific Programme	Safeguarding Marine Resources through local Landcare Network
C07	Smithsonian Institution	A Pollinator Information Network for the Americas: Vital Information supporting a Vital Ecological Service
C08	Sango Map Project	Potential of citizen monitoring programs for marine areas -- Two-year activities of Sango (Coral) Map Project --
C09	French Global Environment Facility (FGEF)/ Agence française de développement (AFD)	French Global Environment Facility (FGEF), supporting global Environment
C10	French Global Environment Facility (FGEF) / Agence française de développement (AFD)	French international strategy to preserve biodiversity
C11	French Global Environment Facility (FGEF) / Agence française de développement (AFD)	Biodiversity and development/Agence française de développement
C12	Environmental Law Institute	Adapting National Biodiversity Laws and Institutions to a Changing Climate
C13	International Centre for Integrated Mountain Development (ICIMOD)	Conservation Connectivity in Transboundary Landscapes: an approach for climate change adaptation in the Hindu Kush-Himalayan (HKH) region
C14	International Centre for Integrated Mountain Development (ICIMOD)	Transhimalayan transects: an approach for long-term ecological research and environmental monitoring to enhance climate change adaptation in the Hindu Kush-Himalayas (HKH) region
C15	International Centre for Integrated Mountain Development (ICIMOD)	Linking biodiversity conservation and climate change perspectives in bio-culturally rich transboundary areas in the Kailash Sacred Landscape region of
C16	UNEP-WCMC	Biodiversity and carbon: Identifying opportunities and challenges in climate change mitigation
C17	Forest Protection, Forest Research Institute, Yezin, Myanmar	Invasive Alien Species
C18	Sri Lanka Environment Exploration Society	Biodiversity Conservation
C19	Wildscreen	ARKive: Promoting the Conservation of the World's Threatened Species through the Power of Wildlife Imagery

COP10 第 2 週：2010 年 10 月 25 日～ 29 日

パネル番号	代表機関	ポスタータイトル
L01	OISCA International	OISCA's Contribution to Biological Diversity
L02	United Nations Environment Programme (UNEP)	Sustaining Life On Our Planet
L03	Federal Ministry of Germany	Public Awareness
L04	Japan International Cooperation Agency	"The World at Risk - JICA's Actions to Save Biodiversity for the People in Need"
L05	Institute of Nature Conservation Research	Edelweiss and Steirerkas – Biocultural Diversity in the Satoyama Landscapes of the Austrian Alps
L06	IFOAM and Green Foundation (India)	Organic Farming is Biodiversity in Action. Eco-intensification - The New Paradigm for Biodiversity and Food Security
L07	European Commission	Life beneath our feet: The factory of life - why soil biodiversity is important
L08	WWF South Pacific Programme	Community Based Turtle Monitoring in Fiji
L09	WWF South Pacific Programme	Exemplars of resilience and mangroves biodiversity
L10	Zoological Society of London	The Global Coral Reef Crisis: An Action Plan for Legislators
L11	Food and Agriculture Organization of the United Nations	An international regulatory framework for aquatic alien species: challenges and opportunities for aquaculture and fisheries
L12	Census of Marine Life International Secretariat	Making Marine Life Count: A New Baseline for Policy
L13	Nikkei Business Publications,Inc.	Activities of NikkiBP emf for biodiversity
L14	Zoological Society of London	Chagos Archipelago: The World's Largest Marine Protected Area
C01	Zoological Society of London	EDGE Aquatics
C02	United Nations University – Institute of Advanced Studies	Biofuel, trade and deforestation
C03	Zoological Society of London	National Red Lists
C04	Muséum national d'Histoire naturelle, Paris, France	The natural heritage of France website
C05	Muséum national d'Histoire naturelle, Paris, France	SAVING OUR PLANET'S FLORA - The contribution of the French National Natural History Museum
C06	United Nations Environment Programme, Division of Early Warning and Assessment	Carbon Benefits Project: Modelling, Measurement, and Monitoring
C07	Botanic Gardens Conservation International, Royal Botanic Gardens, Kew-2	The Role of Botanic Gardens in Supporting REDD-plus
C08	Zoological Society of London Indonesia Programme, Bogor, Indonesia	Sumatran Tigers: A flagship species approach to biodiversity conservation utilising REDD
C09	Zoological Society of London (ZSL)	Harnessing carbon to conserve biodiversity: supporting protected area authorities and local communities to conserve forest biodiversity and enhance livelihoods through forest carbon finance
C10	Mohamed bin Zayed Species Conservation Fund	The Mohamed bin Zayed Species Conservation Fund
C11	Federal Ministry of Environment, Nature Conservation and Nuclear Safety	Representative survey: Awareness of nature in Germany 2009
C12	Environmental Consulting Klagenfurt/Austria	FLOWERWATCH – ONE WAY TO PRESERVE BIODIVERSITY
C13	Ministry of Rural Development	Celebrations in Hungary in the International Year of Biodiversity
C14	Zamorano University	Academic Alliance for Sustainable Management of Natural Resources in Central America
C15	Institute of Zoology	Evolution Lost: Status and Trends of the Worlds Vertebrates
C16	UNDP	Biodiversity for Development
C17	Zoological Society of London	Political innovation for investing in natural capital

広報資料展示配布エリア（CBD 事務局主催、展示配布者公募型）

締約国、参加団体が作成した COP10/MOP5 の議題に関するこれまでの取組や活動、その成果等をまとめた広報資料を展示・配布するエリアです。また、CBD 事務局の HP 上には電子版資料の展示エリアが設けられています（ http://www.cbd.int/cop10/display/ ）。

【日程】2010 年 10 月 11 日（月）～ 29 日（金）
【会場】名古屋国際会議場 1 ～ 2 号館連絡通路 3 階、2 号館 1 階・3 階ロビー、
3 号館 3 階の通路両側（P.12 ～ 17 参照）

リオ 3 条約事務局展示エリア

リオ 3 条約（P.58 参照、生物多様性条約・気候変動枠組条約・砂漠化対処条約）の各事務局が、自らの活動について DVD やパネルにより紹介する展示エリアです。

【日程】2010 年 10 月 11 日（月）～ 29 日（金）
【会場】名古屋国際会議場 1 号館 1 階アトリウム内（P.13 参照）

UNESCO パネルシリーズ

UNESCO（国連教育科学文化機関）が CBD 事務局、UNEP（国連環境計画）、GEF（地球環境ファシリティ）、Centre Sciences、フランス国立自然史博物館等と協力して作成したトラベル展示用パネルシリーズ“Biodiversity is life, Biodiversity is our life”です。生物多様性保全の重要性、生物多様性への脅威に対する UNESCO の取組、普及啓発、及び今後の生物多様性の保全、持続可能な利用のための今後の行動計画、普及活動などわかりやすく説明しています。

【日程】2010 年 10 月 11 日（月）～ 29 日（金）
【会場】名古屋国際会議場 3 号館 3 階の通路センターライン（P.16 参照）

日本政府展示エリア

日本政府の関係 7 省庁が COP10/MOP5 の議題に関連する自らの取組について紹介する展示エリアです。エリア内には「我が国の取組コーナー」及び「各省の取組コーナー」を設け、前者では「ポスト 2010 年目標」を含む今後の新・戦略計画に関する我が国の取組、遺伝子組換え生物の安全性の確保における取組、COP10/MOP5 開催に際する環境配慮の取組をパネルで紹介します。後者では、その他の関連する各省の取組をオムニバスにポスターで紹介します。

【日程】2010 年 10 月 11 日（月）～ 29 日（金）
【会場】名古屋国際会議場 1 ～ 2 号館 2 階連絡通路（P.14 参照）

COP10 支援実行委員会展示エリア（一部は国内発表者公募型）

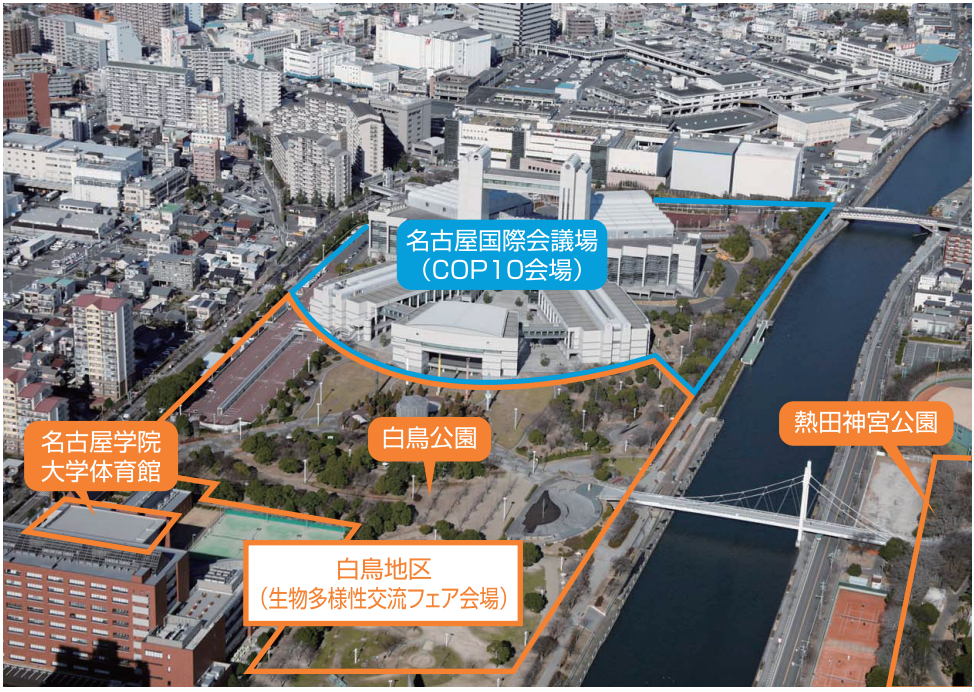
開催地あいち・なごや及び周辺地域の魅力発信および環境への取り組みを紹介します。

【日程】2010 年 10 月 11 日（月）～ 29 日（金）
【会場】名古屋国際会議場 1 ～ 4 号館 2 階連絡通路（P.14 参照）

3. 生物多様性交流フェア

名古屋国際会議場に隣接する白鳥地区を舞台に開催する、生物多様性をテーマとした国際的な発表・交流展示会です。国内外の政府や自治体、国際機関、NGO/NPO、学術、企業など200を越える出展者が、生物多様性に関するプロジェクトやコンセプト、課題やアイディアを持ち寄り、情報発信します。会場で様々な取組の成果や課題に触れることで、将来にわたって行動や活動を継続していくための大きなヒントやきっかけを得ることができます。さらには、この地域、そして世界の生物多様性の保全に向けた大きな力へとつながっていきます。【詳しくは、別冊の「生物多様性交流フェア公式ガイド」をご覧ください。】

［日程］10月11日（月）～29日（金）
［開催時間］平日9:30～18:30（最終日は15:00まで）　土日10:00～16:00
［会場］白鳥地区（白鳥公園／熱田神宮公園／名古屋学院大学体育館）
［URL］http://cop10.jp/fair/



展示・発表、交流、そして未来へ。

ブース展示やステージイベント、フォ - ラムなどを通じ、生物多様性について知り、学び、未来へとつながる行動を喚起していきます。




白鳥公園


熱田神宮公園


名古屋学院大学体育館

1 エキスポゾーン(ブース出展)

締約国政府や国際機関、国際的なNGOを中心にCOP10会議参加者への情報発信を意識した専門性の高いブースが集まります。生物多様性の国際的なトレンドに触れられる貴重な機会となります。



2 フェスティバルゾーン (ブース出展・ステージイベント・特設ブース)

地方自治体や国内NGO/NPOを中心に、生物多様性に関するプロジェクトやコンセプト、課題やアイディアを展示・紹介します。ステージや特設ブースでの発表やプログラムとあわせて、興味をもって、楽しく生物多様性について知り・学ぶことができます。



3 フォーラムゾーン(フォーラム)

生物多様性に関する取組やその成果、課題を発表し、参加者とともに解決策や推進方法について議論する場です。


COP9展示会(2008年ドイツ)

4. エクスカーション等各種イベント

10 月 23 日（土）、24 日（日）を中心に、COP 10 支援実行委員会、中部圏の各県、国の機関により「愛知・名古屋そして中部圏の優れた自然、歴史・伝統、文化、産業技術などを体験・体感」することができるエクスカーションを開催します。すべてのエクスカーションには英語による通訳がつきます。エクスカーションの参加費用は無料です。

エクスカーションの詳細について

エクスカーションの内容については、COP 10 支援実行委員会 WEB サイト（http://www.cop10.jp/aichinagoya/english/info/excursions.html）または、COP 10 支援実行委員会作成の参加者向けハンドブックをご覧ください。

また、行程の詳細についてはインフォメーションカウンターのエクスカーションデスク（名古屋国際会議場 1F 騎馬像前）でお尋ねください。

【エクスカーションの参加登録】

エクスカーションの参加登録は、インフォメーションカウンターのエクスカーションデスクで受付けます。参加者定員に限りがありますので、参加登録は基本的に先着順です。参加登録をされた方には、コース名都集合場所を記載したエクスカーション参加チケットをお渡ししますので、チケットを持参の上集合場所へお越しください。

○集合場所は、原則として地下鉄西高蔵駅 2 番出口付近となります。
○出発・集合時間は変更する場合があります。必ずチケットで確認してください。
○コースによっては森の中などを歩くことがありますので動きやすい靴や服装で参加ください。

10 月 16 日（土）・17 日（日）

・越中富山の悠久の歴史・文化を辿る
～世界遺産合掌集落、国宝瑞龍寺を訪ねる～

富山県が世界に誇る五箇山合掌造り集落、高岡山瑞龍寺、日本文化の美を鑑賞することができる富山県水墨美術館など、越中富山の歴史と文化に出会えるロマンあふれるコースです。



10 月 23 日（土）

・ラムサール条約登録湿地藤前干潟と名古屋港水族館

重要な渡り鳥の飛来地であり、国際的に重要な湿地として 2002 年ラムサール条約に登録された藤前干潟と、海生生物の研究を行っている名古屋港水族館を訪問します。



・里山海上の森と愛知・名古屋の産業

2005 年に開催された愛・地球博のメイン会場となる予定だった海上の森と、愛知・名古屋の主要産業である自動車と陶磁器の博物館を訪問します。



10 月 23 日（土）

・木曽川の渓谷美と国宝犬山城

愛知県北部に位置する木曽川などの優れた自然と歴史的な城下町の街並みが残る町、犬山を訪問します。



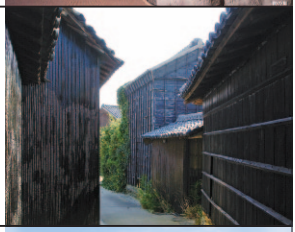
・焼き物と醸造の知多半島めぐり

知多半島は名古屋から南に突き出した半島で、海運などの地の利を生かして、古くから常滑焼などの窯業や、酒、酢などの醸造業が盛んなところです。



・黒壁集落と海を渡る蝶に出会う佐久島

佐久島は穏やかな三河湾に浮かぶ人口 300 人の半農半漁の小さな離島です。魅力的な町並みや三河湾国定公園に指定された自然を活かしたアートプロジェクトがスローライフ志向の観光客の人気を集めています。



・白鳥庭園とナゴヤ堀川歴史観光クルーズ

名古屋国際会議場に隣接する日本庭園の白鳥庭園を散策したのち、400 年前に名古屋城築城とともに掘削され、名古屋の物流を担った堀川を名古屋おもてなし武将隊の案内によりクルーズします。



・生きものと共生する農業と伝統芸能

愛知県東部で生きものと共生する農業を目指している四谷の千枚田で、日本の原風景を眺めながら散策を楽しみます。



・動植物の宝庫、自然豊かな鈴鹿山脈・御在所岳

名古屋市近郊にある三重県菰野町内の自然豊かな「高山」や「里山」における生物多様性の状況を観察します。



10 月 24 日（日）

・愛知・名古屋のものづくりと伝統文化

1610 年の名古屋城築城から始まった名古屋の歴史を感じられる施設を訪問したのち、愛知・名古屋の産業のもとであるものづくりを支える、近代産業史を見ることができる博物館を訪問します。



・東山の森と現代アートの祭典 “あいちトリエンナーレ 2010”

名古屋の東部丘陵地に広がる都市内に残された大きな森である東山の森と、最先端の現代アートの祭典「あいちトリエンナーレ 2010」を訪問します。



・三谷祭りと岡崎

愛知県東部の海に面した町蒲郡と大豆の実から作られる愛知を代表とする調味料である味噌の産地、岡崎を訪問します。



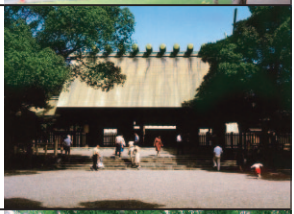
・矢作川流域の里地里山と矢並湿地の生物多様性

愛知県の中央部を流れる矢作川は、流域に住む人々の水源にもなっている清流です。この矢作川流域の河畔林や里山、この地方独特の植物が生育する湿地を訪問します。



・河口都市名古屋が示す生物多様性の保全問題 400 年

名古屋は、生物多様性と人との関係の変化が分かりやすく、日本の沿岸開発や都市づくりの代表例です。名古屋国際会議場の南部はかつて海でした。名古屋の街は近世以降埋立てが進み、現在のような陸地になりましたが、その過程で失われ変化した人の営みや残された干潟や森などを巡ります。



・持続可能な森林経営からみる段戸国有林の生物多様性保全

段戸国有林は御料林（皇室財産であった森林）として、明治時代からスギ・ヒノキの植栽等が行われてきており、現在では面積の 9 割以上が人工林です。これらの人工林は、適切な森林管理によって、林齢や構成の異なる豊富なバリエーションが見られます。また、愛知県では残り少ないブナ、モミ、ツガなどの自然林がまとまった形で保全されています。現地を管理している林野庁の職員から説明を受けながら、日本の森林の生物多様性保全の取組状況を見ます。



10 月 23 日（土）～ 24 日（日）

・自然と共生 2000 年の伊勢神宮と伊勢志摩のエコツアー

約 2000 年の歴史を誇る奥深い森に囲まれた伊勢神宮と、伊勢志摩の海の再生や保全など自然との共生を体感するエコツアーです。



・トキ育む生物多様性と歴史文化が息づく島 さど

訪問先の佐渡市では、トキの野生復帰を契機に「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を設け、生物多様性に配慮した農業を進め、生態系の再生を環境ブランド米として高付加価値販売を実践しています。



・城下町金沢と能登半島の里山里海

加賀百万石が育んだ歴史と文化の城下町金沢と、今も古くからの農山漁村風景が広がる能登半島を巡ります。



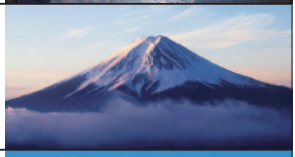
・ラムサール条約湿地三方五湖と恐竜博物館

ラムサール条約湿地三方五湖や中池見湿地、世界３大恐竜博物館の一つである福井県立恐竜博物館などを巡ります。



・富士山５合目と八ヶ岳

富士山を遠望する八ヶ岳山麓と富士山５合目を訪れ、山梨の自然や歴史・文化に触れていただきます。



・霧ケ峰高原と国宝松本城

八ヶ岳中信高原国定公園に指定されている霧ケ峰高原や国宝に指定されている松本城など長野県の中部から南部（中南信地区）の優れた自然と文化的歴史的な施設を訪れます。



・世界遺産白川郷と『岐阜の宝もの』五色ヶ原の森

世界文化遺産である白川郷の合掌造り集落と「岐阜の宝もの」である五色ヶ原の森を巡り、岐阜県の優れた自然や歴史、文化を体験します。



・ふじのくに静岡

富士山に代表される静岡県の豊かな自然、久能山東照宮の歴史、お茶の郷の文化などを体験してください。





・琵琶湖畔の水と人との関わりを訪ねて
―農家民泊と水郷巡り

琵琶湖畔の農村に１泊し、日本で最も大きく世界でも屈指の古代湖琵琶湖の魅力と生活文化を体験していただきます。





地球いきもの EXPO in モリコロパーク

2005 年に環境をテーマに開催された愛・地球博（日本国際博覧会）の会場跡地である愛・地球博記念公園で、自然豊かな環境の中、楽しみながら生物多様性を体感いただきます。

［開催日］10 月 9 日（土）～ 29 日（金）10:00 ～ 16:00 ※主なプログラムは土日のみ開催
［URL］http://www.cop10.jp/expo/

主なプログラム

ステージプログラム（土日のみ）

コンサート、トークショー、地元NGOによるプレゼンテーションなど楽しみながら生物多様性について知ることができるプログラムを実施します。





ブース展示（土日のみ）

NGO、企業、行政機関など様々な団体が生物多様性をテーマとしたブースを出展します。

ナチュラスロン2010 - The Course of the World

COP9の際にボンで開催された環境問題を啓発するためのスポーツイベント「ナチュラスロン 2008 - The Course of the World」（主催:ドイツ連邦政府自然保護局）を継承し、COP10でも開催します。自然に恵まれた公園内に特設した10kmのコースを市民とともに走ってみませんか。

［日　時］ 10月16日（土）11:00スタート
［定　員］ 2,010名
［備　考］ 植樹イベント（P81）なども開催されます。



愛･地球博記念公園（モリコロパーク）



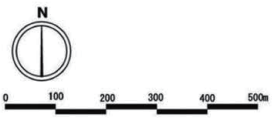
A 地球市民交流センター
･絵画･写真コンテスト作品展示等
･地球のいのち･交流ステーション
･NGOによる参加型体験プログラム

B フレンドシップ広場
･モンゴリ森守プロジェクト

C 大芝生広場
･ステージプログラム
･ブース展示

D もりのゾーン
･里山体感プログラム

E 公園内周遊コース　**F もりの学舎**
･ナチュラスロン



COP10 情報発信ステーション in オアシス 21

２名古屋市の中心部に位置する栄・オアシス２１では、COP10 と生物多様性の情報を集約し発信する「COP10 情報発信ステーション」を開設します。

「ステーション」では、行政機関、NGO/NPO、企業などの生物多様性・COP10 に関連するイベントや各団体の取組をリーフレットや映像で紹介します。「ステージは」、トークショーやライブ演奏を通じて、楽しみながら生物多様性を体感できる場です。「展示エリア」では、COP10 支援実行委員会が実施した事業の成果発表や生物多様性をテーマとしたポスターの展示、週変わりで展開する生物多様性に関する体験型テーマ展示を行います。多様なプログラムを通して、地球環境に目を向け、「生物多様性」について考え行動するきっかけをつくります。



［開催期間］10 月 9 日（土）～ 29 日（金）
［会 場］オアシス２１（銀河の広場）
［開催期間］10:00 ～（終了時刻は日によって異なります）

生物多様性国際自治体会議

～鍵を握る自治体の取組～



都市と生物多様性国際市長会議（2008 年 5 月 ドイツ・ボン）

生物多様性の保全を達成するためには、国レベルの取組だけでなく、実際に地域で施策・事業を行う自治体の役割が重要です。また、私たちの生活は世界の生物多様性やその恩恵の上に成り立っており、その保全は地球規模で取り組む課題で、世界中の自治体が連携し協力していくことが不可欠です。COP10 の開催地である愛知県と名古屋市は、都市や自治体が果たすべき役割の重要性を確認し、地域行動につなげることを目的に、「生物多様性国際自治体会議」を開催します。

会議では、世界の自治体間の情報交換と経験交流を進め、自治体の取組を世界に向けて発信していきます。

［開催期間］10 月 24 日（日）～ 26 日（火）［会 場］名古屋東急ホテル
［主 催］COP10 支援実行委員会、愛知県、名古屋市
［共 済］生物多様性条約事務局、イクレイ - 持続可能性を目指す自治体協議会
※参加登録は終了しています。当日参加はできません。

生物多様性－里山知事サミット

里山・里海の利用・保全と地域活性化

COP10 サイドイベントにおける里山関係会議のひとつとして、愛知県、石川県、静岡県、滋賀県、兵庫県の知事などが集まり、「里山里海の利用・保全と地域活性化」をテーマにその取組を国内外に広く発信し、ポスト COP10 に向けて、世界地域における主体的かつ継続的な取組の重要性を訴えます。

［開催期間］10 月 19 日（火）15:00 ～ 18:00
［場 所］ミッドランドホール（ミッドランドスクエア 5F)
［主 催］地球環境パートナーシッププラザ（GEOC)、国際連合大学（UNU)、環境省

メッセナゴヤ２０１０





メッセナゴヤは、2005 年に開催された「愛・地球博」の理念を継承する事業として 2006 年にスタートしました。業種や業態の枠を超え、各出展者のもちよる製品や技術、サービスを名古屋から国内外に広く情報発信し、販路拡大や人脈形成を図る「国際総合展示会」であり、活発なビジネス交流を展開していただく「異業種交流の祭典」です。第５回目を迎える今回は、COP10 連携事業として、前年比約 100 社増の出展 440 社超え 1,000 小間超えの規模で開催します。

［日 時］10 月 27 日（水）～ 30 日（土）10:00 ～ 17:00
［場 所］ポートメッセなごや［テーマ］環境エネルギー
［主 催］メッセナゴヤ実行委員会（愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所）

生物多様性フォーラム



このフォーラムでは、中部経済界が生物多様性への理念に賛同し、今後中部の豊かな自然と高度な技術の共存をめざしていく姿を広く国内外へ発信する「生物多様性宣言」の発表をはじめ、企業の生物多様性への取組に関する「事例発表」、さらに「特別講演」「パネルディスカッション」を実施します。またフォーラ会場に隣接したエリアでは、中部の企業２０社と IUCN（国際自然保護連合）親善大使であるフォークシンガー・絵本作家のイルカさんが生物多様性への取組を「ポスターセッション」にて掲示します。

フォーラム会場への入場は事前予約された方が対象となりますが、ポスターセッション会場は自由にご覧いただけます。多数のご来場をお待ちしています。

［日 時］10 月 25 日（月）10:00 ～ 17:00
（フォーラム 10:00 ～ 16:30、ポスターセッション 9:00 ～ 17:00)
［場 所］タワーズボールルーム（名古屋マリオットアソシアホテル 16 F）
［主 催］社団法人中部経済連合会

子供ＣＯＰ１０あいち・なごや国際子ども環境会議



日本各地や海外から参加する子どもたちが「生物多様性の保全」という地球規模の課題について考え、その成果を未来に向けて発信することを目的に開催する会議です。この会議は、2005年に開催された愛・地球博の理念を継承し、翌年の2006年から名古屋市で毎年開催されている「なごや子ども環境会議」の流れを受けたもので、今回は国内外の子ども約600名が参加します。10月24日には子どもたちが意見交換を行い、その成果を提言として取りまとめ発信します。また、この会議の成果は、COP10に向け発表されることが予定されています。

[主　催] 子どもCOP10あいち・なごや実行委員会、国連環境計画（UNEP）
[共　催] COP10支援実行委員会

生物多様性国際ユース会議 in 愛知２０１０

この会議は、2009年8月に名古屋市内で行われた「生物多様性アジアユース会議」の流れを受け、世界の青年の交流と生物多様性に関する意識の向上などをめざし、2010年8月21日から27日にかけて、日本を含む世界中から66ヶ国の青年100名が愛知県に集まり開催されました。会議では、地球規模での生物多様性の損失を止めるために青年として何ができるかなどについて議論し、その成果を声明や行動計画などとして取りまとめました。この成果は8月27日のフォーラムで発表され、さらにCOP10に向け発信されることが予定されています。



[主　催] 環境省
[共　催] 外務省、愛知県

コラム

日本政府が参加するサイドイベント・展示等

★サイドイベント

日本政府は 36 件のサイドイベントにオーガナイザーとして参加し、COP10 の議題に関連する様々な日本国内の取組や国際的な枠組構築に関する取組等について発表します。

日本政府がオーガナイザーとして参加・発表するサイドイベント一覧【COP-MOP5 期間】

通し番号	ID	時間 / 会場	オーガナイザー	タイトル
2010 年 10 月 16 日（土） 昼				
16	1767	13:00 - 15:00 白鳥ホール 4号館1階	農林水産省&環境省	日本における遺伝子組換え生物の法的枠組み・リスク評価・管理と開発の状況等

日本政府がオーガナイザーとして参加・発表するサイドイベント一覧【COP10 期間】

通し番号	ID	時間 / 会場	オーガナイザー	タイトル
2010 年 10 月 18 日（月） 昼				
1	1735	13:15 - 14:45 白鳥ホール 4号館１階	農林水産省	森林で生物多様性を守る　～日本から世界へ～
2	1744	13:15 - 14:45 センチュリーホール 1号館２階	文部科学省	海洋の生物多様性を知る（海洋研究開発機構による講演）
4	1778	13:15 - 14:45 235A 号室 2号館３階	ラムサール条約事務局、環境省、生物多様性条約事務局	生物多様性条約の履行におけるラムサール条約の役割
10	2060	"13:15 - 14:45 233B 号室 2号館３階	広島大学＆環境省	REDD メカニズムと生物多様性保全の相互作用
2010 年 10 月 19 日（火） 昼				
17	1719	13:15 - 14:45 白鳥ホール 4号館１階	環境省	SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI) の発進
18	1732	13:15 - 14:45 211B 号室 2号館１階	環境省	持続可能な経済社会活動に関する事例発表会～生物多様性と循環型社会～
19	1754	13:15 - 14:45 232 号室 2号館３階	経済産業省	アクセスと利益配分に関する取組
2010 年 10 月 20 日（水） 昼				
61	1717	13:15 - 14:45 白鳥ホール 4号館１階	環境省	ポスト 2010 年目標の達成に向けて
62	1725	13:15 - 14:45 232 号室 2号館３階	環境省	外来種防除実務者国際ワークショップⅠ
63	1757	15:00 - 18:00 日本政府屋外大型テント	国土交通省	沿岸域の再生を通じた地球環境改善対策
67	1925	13:15 - 14：30 日本政府屋外大型テント	国際連合大学（サステイナビリティと平和研究所）、地球環境パートナーシッププラザ&環境省	里山知事サミット
2010 年 10 月 20 日（水） 夜				
90	1733	18:15 - 19:45 212A 号室 2号館１階	農林水産省	農業と生物多様性
91	1756	18:15 - 19:45 イベントホール 1号館1階	国土交通省	都市と生物多様性
2010 年 10 月 21 日（木） 昼				
106	1730	13:15 - 14:45 211B 号室 2号館１階	環境省	国際里海ワークショップ
107	1737	13:15 - 14:45 212A 号室 2号館１階	農林水産省	農業における生物多様性指標

通し番号	ID	時間 / 会場	オーガナイザー	タイトル
108	1759	13:15 - 14:45 日本政府 屋外大型テント	東アジア・オーストラリア地域・フライウェイ パートナーシップ事務局 & 環境省	東アジア・オーストラリア地域の渡り鳥飛来ルートにおける生物多様性保全の取組
121	2280	13:15 - 14:45 イベントホール 1号館1階	環境省、国際自然保護連合、生物多様性科学国際協同プログラム（DIVERSITAS）、地球環境変化の人間社会側面に関する国際研究計画（IHDP）＆国際科学会議（ICSU）	生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）：現状、今後、そして生物多様性コミュニティへの示唆
2010 年 10 月 21 日（木） 夜				
133	1726	18:15 - 19:45 232 号室 2号館3階	環境省	外来種防除実務者国際ワークショップⅡ
134	1739	18:15 - 19:45 212A 号室 2号館1階	農林水産省	水産業と生物多様性
2010 年 10 月 22 日（金） 昼				
148	1721	13:15 - 14:45 白鳥ホール 4号館1階	地球環境戦略研究機関（IGES）＆環境省	TEEB に関する議論
149	1728	13:15 - 14:45 212A 号室 2号館1階	環境省	東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ（ESABII）
2010 年 10 月 22 日（金） 夜				
179	1741	18:15 - 19:45 232 号室 2号館3階	農林水産省	バイオマスと生物多様性
180	1749	18:15 - 19:45 白鳥ホール 4号館1階	国土交通省	内陸水の生物多様性
2010 年 10 月 23 日（土） 昼				
192	1727	13:15 - 14:45 日本政府 屋外大型テント	環境省	外来種問題ワークショップ
2010 年 10 月 25 日（月） 昼				
193	1743	13:15 - 14:45 211B 号室 2号館1階	農林水産省	水田と生物多様性
194	1760	13:15 - 14:45 名古屋学院大学 （会議場外）	環境省	重要生態系基金（CEPF）ワークショップ
2010 年 10 月 25 日（月） 夜				
219	1729	18:15 - 19:45 130 号室 1号館3階	環境省	アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク（AP-BON）
2010 年 10 月 26 日（火） 昼				
233	1753	13:15 - 14:45 白鳥ホール 4号館1階	文部科学省	持続発展教育（ESD）とユネスコ人間と生物圏（MAB）計画における我が国の取組に関するシンポジウム
234	1755	13:15 - 14:45 211B 号室 2号館1階	国土交通省	開発と生物多様性の調和～社会資本整備における日本の経験・技術～
239	2062	13:15 - 14:45 名古屋学院大学 （会議場外）	環境省	国際生物多様性年・地球生きもの委員会報告会～「国連生物多様性の 10 年」に向けて～
2010 年 10 月 26 日（火） 夜				
259	1746	18:15 - 19:45 211B 号室 2号館1階	文部科学省	生物多様性調査と気候変動モニタリングに対する衛星の貢献－1（宇宙航空研究開発機構による講演）
260	1748	18:15 - 19:45 212A 号室 2号館1階	文部科学省	日本の生物多様性とその保全（国立科学博物館による講演）
2010 年 10 月 27 日（水） 昼				
272	1720	13:15 - 14:45 名古屋学院大学 （会議場外）	環境省	生物多様性の評価・指標（日本の生物多様性総合評価）
273	1731	13:15 - 14:45 日本政府 屋外大型テント	環境省	生物多様性国際ユース会議 in 愛知 2010 の成果発表

通し番号	ID	時間 / 会場	オーガナイザー	タイトル
2010 年 10 月 27 日（水） 夜				
299	1722	18:15 - 19:45 212A 号室 2 号館 1 階	日本経団連&環境省	ビジネスと生物多様性に関する議論
2010 年 10 月 28 日（木） 昼				
312	1747	13:15 - 14:45 232 号室 2 号館 3 階	文部科学省	生物多様性調査と気候変動モニタリングに対する衛星の貢献－２（宇宙航空研究開発機構による講演）

屋外展示（in 生物多様性交流フェア）

日本政府は生物多様性交流フェアに参加し、白鳥公園内に 14 棟の展示ブース・テントを出展します（出展エリアについては P.78 参照）。COP10/MOP5 の議題に関連する様々な日本国内の取組や国際的な枠組構築に関する取組等について展示します。

【1】日本政府屋外大型テント

COP10/MOP5 の議題に係る日本政府の各種取組を、「我が国の取組」パネルの展示や広報 DVD の上映等により紹介します。また、本テントは CBD 事務局主催のサイドイベントの会場の一つに指定されていて、日本政府を含む国内外のオーガナイザーによるサイドイベントが行われます。

【1－1】農林水産省

日本の農林水産分野における生物多様性保全や自然の恵みの持続可能な利用に関する取組として、「生きものマーク」、「生産基盤整備の推進」、「人の働きかけによる森林の適切な整備・保全」、「水産資源の管理及び漁場環境の保全と回復」等を紹介します。

【1－2】環境省

日本の生物多様性の状況やその保全と持続可能な利用に関する活動等を中心に、生物多様性国家戦略 2010 の実施に関する取組、アジア太平洋地域の生物多様性情報の収集・活用に関する国際的な枠組やラムサール条約湿地や渡り鳥に関する取組、化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の取組と市民や子供達による野生生物の観察活動の成果、エコツーリズムの先進的な取組、カーボン・オフセットに関する取組等を紹介します。

【1－3】国土交通省

開発と生物多様性の調和に資する日本の取組（経験・技術）を紹介します。

【1－4】経済産業省

遺伝資源へのアクセスと利益配分（ABS）に関する我が国の取組を紹介します。

【1－5】外務省

国際協力機構 ： 自然環境と人間活動の調和を図るための、途上国における生物多様性保全等の取組を紹介します。

【1－6】文部科学省

国立科学博物館 ： 生物多様性の概念、日本の生物多様性の特徴、その減少の実態及び保全活動について、標本等を用いて紹介します。宇宙航空研究開発機構 ： 生物多様性調査、気候変動監視、森林監視等に対する人工衛星の貢献を紹介します。

海洋研究開発機構 ： 生物多様性と生息環境に関するデータ統合と解析、現場観測とリモートセンシングに関する取組を紹介。

核融合科学研究所：核融合エネルギー源が持続可能な地球環境の実現に貢献することを、模型・ポスター・ビデオ等を用いて紹介。総合地球環境学研究所：人間活動による生物多様性や生態系サービスの変化、生物多様性を維持するための制度に関する研究を紹介。

【出展エリア】

日本政府のブース・テントの出展エリアは、以下の図の中央左よりのブース番号１及び１－１～１－７（いずれもピンク色）が並んでいる箇所です。



◆ NGO関連

COP10/MOP5 期間中において、ホスト国と NGO 代表者による定期会合の開催を予定しています。開催日時・場所等については、会場にてお知らせします。

◆ 環境配慮

生物多様性条約の第 10 回締約国会議 (COP10) およびカルタヘナ議定書第 5 回締約国会議 (MOP5) については、「ポスト 2010 年目標」を含む今後の新・戦略計画や遺伝資源に係わる「アクセスと利益配分」、遺伝子組換え生物による損害に係わる「責任と救済」など重要な議題に係わる議論が予定されています。COP10/MOP5 には世界 193 の国と地域から約 8,000 人の参加が予定されており、参加者の移動や会議の開催に伴ってエネルギーの使用や廃棄物の発生などで大きな環境負荷が発生してしまいます。

COP10/MOP5 は環境分野の条約・議定書の締約国会議であることから、会議の開催に伴う環境負荷をなるべく積極的に低減することが望ましいと考えられます。

そこで COP10/MOP5 では、これまでに実施された国際会議における環境配慮への取組や、既に各国から公表されているイベントの環境配慮に関するガイドラインを参考にしつつ、本会議の開催地に適した環境負荷低減への取組を行っています。こちらに COP10/MOP5 開催にあたって実施されている環境配慮への取組をご紹介します。

また同時に、会期中に皆さんにご協力いただける取組も合わせてご紹介していますので、会期中の環境負荷をなるべく減らし、環境配慮の側面でも会議を成功させるために、参加者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

1.COP10/MOP5 における環境配慮への取組

COP10/MOP5 では、過去に開催された国際会議における環境配慮への取組や、イベントの環境配慮に関するガイドラインを参考にしつつ、関係者全員が一体となって協力できる取組を行っています。

1.1 イベントの環境配慮に関するガイドラインとこれまでの国際会議における取組

近年、国際会議等のイベントにおける環境配慮が推進されています。国際的にも GREEN MEETING GUIDE 2009 (UNEP) などのイベントの環境配慮に関するガイドラインが公表されており、日本国内においても「会議等の環境配慮のススメ」（環境省）などが公表されています。

前回の COP9/MOP4 においては環境配慮型カンファレンスバッグの配布や廃棄物の分別、エコカーの利用促進、地産地消のケータリング、グリーン電力の活用、温室効果ガス（GHG）排出のカーボン・オフセットなどが行われました。日本においても先の北海道洞爺湖サミット、G8 環境大臣会合（神戸）において、低公害車の導入、自然エネルギーの活用、省エネルギー対策の推進、廃棄物の削減、グリーン調達の推進など、当時出来得る限りの環境配慮行動を実行し、CER を用いたカーボン・オフセットを実施しました。

1.2 COP10/MOP5 における取組方針

COP10/MOP5 においては、イベントの環境配慮の最新の動向を踏まえ、国内外の環境配慮ガイドラインを参考にしながらイベントの環境配慮を行うとともに、GHG 排出については、国内の排出量分については国内の GHG 削減・吸収クレジットでオフセットし、国際航空等海外の排出量分については京都クレジットを用いてオフセットを行います。また、これらカーボン・オフセットの取組について第三者機関による認証を得ています。

これらの施策を積極的に周知し、主催者や関連事業者のみならず、参加者の皆さんにもご協力いただきながら、COP10 ／ MOP5 にかかわるすべての立場の人が一体となって取り組めるイベントになるよういたします。

2. 個別の環境配慮への取組

COP10/MOP5 の会議運営においては、グリーン購入、３R の推進、省エネ・省資源、交通の環境負荷低減に取り組み、会議による環境負荷の低減を推進します。

また会議終了後に環境配慮への取組に対して自己評価を行います。

2.1 グリーン調達

製品やサービスを購入する際、環境負荷ができるだけ小さい物を優先的に購入することで適正消費・最小廃棄型社会の形成につなげます。

会議の開催に当たっては、会議運営、海外からの参加者の招へい、展示設営、通訳、印刷、ケータリング等、さまざまな業務を事業者に請負わせています。これら請負先にも環境配慮を徹底することで、会議にかかる環境負荷を低減できます。

- 製品やサービスを購入する際、環境負荷ができるだけ小さい物を優先的に購入しています (グリーン調達)。
- COP10/MOP5 に関与する事業者に環境配慮指針の策定を呼びかけています。
- COP10/MOP5 で使用する製品等の一部に間伐材を活用しています（議長机、国名等表示プレート、ベンチ)。







間伐材を活用した国名等表示プレート（左上)、ベンチ（左下)、議長机（右）

写真提供：COP10 支援実行委員会

2.2 ３R の推進

循環型社会の形成のためには、「Reduce（リデュース)：廃棄物の発生抑制」、「Reuse（リユース)：製品の再使用」、「Recycle（リサイクル)：再資源化」の推進が必要です。

会議では多くの人が集まるだけに廃棄物が大量に発生する可能性があるため、これら３R の取組を推進しています。

- 配布物は真に必要な部数を考慮して制作しています。
- 名古屋市の基準に準拠したごみの分別を実施しています。
- 会場にごみの分別ステーションを設置し、ボランティアによる分別のアドバイスも行っています。

・会場の展望レストランにおいてはバイキング方式を採用し、参加者が必要な量のみ食事が出来るよう配慮しています。

2.3 省エネ・省資源

エネルギーや資源は有限です。これらを効率的に活用するとともに、無駄な利用を削減することで持続可能な社会の形成につながります。

COP10/MOP5 においても再生可能エネルギーの活用や施設のエネルギー管理の徹底を行っています。

・会場に太陽光パネルを設置して使用電力の一部をまかなっています。
・会場における電力使用の一部については愛知県産のグリーン電力証書を購入しています。
・空調の温度設定の調整等会場のエネルギー管理を徹底し、無駄なエネルギー利用の削減に努めています。

2.4 交通の環境負荷削減

会議・イベントに伴う環境負荷の要因として、参加者や来場者の移動による GHG の排出があります。

COP10/MOP5 では公共交通機関の利用促進や、エコカーの利用により移動に係る環境負荷の低減に取り組んでいます。

・公共交通機関の利用を促進するため参加者全員に地下鉄の無料パスを配布しています。
・COP10/MOP5 の運営にあたっては、プラグインハイブリットカーを採用しています。

2.5 カーボン・オフセット

様々な環境への取組を行っても、移動やエネルギーの使用に伴って、GHG は排出されてしまいます。そこで COP10/MOP5 では、削減しきれない GHG についてカーボン・オフセットを実施します。

・本会議場でのエネルギー利用、参加者の航空便・鉄道移動のほか、出来る限り幅広なバウンダリを対象とし、可能な限り精緻な算定を行っています。・ カーボン・オフセットの信頼性を高めるために、環境省のカーボン・オフセット認証基準に基づき、第三者機関によるカーボン・オフセット認証を取得しています。
・カーボン・オフセットに用いるクレジットの選定にあたっては有識者からなる検討委員会を設置し選定を行っています。国内で発生する排出に関しては国内で創出された排出削減・吸収クレジットを用いてオフセットすることを優先し、国際航空等の海外における排出は CER 等の京都クレジット※1 及びオフセット・クレジット (J-VER)※2 を用いてオフセットします。
・カーボン･オフセットは直接目に見えない取組のため､透明性を確保するためにオフセット完了後には報告書を公表し、積極的に情報公開する予定です。

※1　京都議定書に定められた手続に基づいて発行されるクレジットであり、京都クレジットは、京都議定書に基づく削減目標達成のために用いられる。先進国と途上国が共同で事業を実施するクリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism, CDM）プロジェクトにより発行されるクレジット（Certified Emission Reduction, CER）等がある。
※2　国内の排出削減・吸収プロジェクトにより実現された温室効果ガス排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度により発行されるクレジット。平成 20 年 11 月に環境省が創設。

CO2 認証 CARBON OFFSET

認証番号 : 4CJ-1000035　認証取得者 : 外務省国際協力局
生物多様性条約 COP10 日本準備事務局
制度の詳細 : http://www.4cj.org

2.6 自己評価

環境配慮への取組は、計画するだけでなく実行が伴うことが重要です。また開催後に取組を振り返ることで今後の参考にすることができます。

COP10/MOP5 においては、設営や運営に係る事業者から、環境配慮指針の達成度について確認を行い、事後評価を実施することとしています。

3. 参加者の皆さんへのご協力のお願い

参加者の皆さんが一体となって会議の環境配慮を実践することで、環境負荷を低減することが出来ます。

3.1 グリーン購入

製品やサービスを購入する前に必要性を熟考し、環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入することで、消費による環境負荷を低減できます。

日本にはさまざまな環境配慮商品が存在します。商品選択の一つの目安として、環境ラベルがあります。商品を購入する際はこのようなラベルを参考にしましょう。

3.2 3Rの推進

資源の有効な利用を促進するためには、参加者の皆さんの幅広い協力が不可欠です。以下のような取組に協力しましょう。

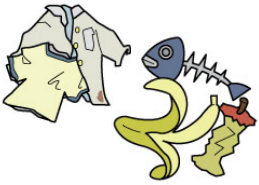
- 会場ではごみ分別ステーションが設置されています。分別ステーションで 11 品目に分別を行いましょう。
- 食品廃棄物の発生抑制のため、バイキング方式の食堂などでは取り過ぎに注意しましょう。
- 不要な配布物は断るようにしましょう。
- 会場ではコングレスバッグを配布しています。レジ袋等は断り、このバッグを活用しましょう
- 会場ではコングレスグッズとしてタンブラーを配布しています。使い捨て容器の利用を減らしましょう。

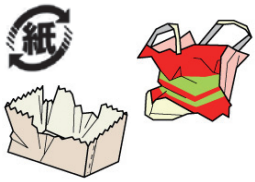
3.3 省エネ・省資源

環境配慮に省エネは欠かせません。また資源利用の無駄を削減するため以下のような取組に協力しましょう。

- 会議が長引くと電気や空調などのエネルギー使用が増えます。エネルギー消費をなるべく抑えるために、円滑な会議運営に協力しましょう。
- 空調のエネルギー消費の削減のため、ドアや窓の開けっ放しに注意しましょう。
- 手洗い場で水を使ったらすぐに蛇口を閉めましょう。
- トイレ等での不要な電気を節約するため、使い終わったら電灯のスイッチを切りましょう。

ごみの１１分別

可燃ごみ	
不燃ごみ	
空きびん	
空き缶	
ペットボトル	
プラスチック製容器包装	

紙製容器包装		
古紙	新聞	
	OA 用紙	
	段ボール	
	雑誌	

※ごみは各自１階のごみステーション（３箇所設置：P12 ～ 13 参照）にて１１種類に分別のうえお捨てください。

3.4 交通の環境負荷低減

公共交通機関を積極的に利用することで移動に伴う GHG の排出を削減できます。また渋滞の緩和等、交通利便性の向上にもつながります。交通の環境負荷低減のため以下のような取組に協力しましょう。

・来場には公共交通機関を利用しましょう。
・配布される地下鉄の無料パスを活用し、地下鉄を利用しましょう。

3.5 カーボン・オフセット

参加者の皆さんが自主的にオフセットされている場合、外務省国際協力局生物多様性条約 COP10 日本準備事務局へお知らせいただきますようお願いします。連絡先は、Information note for participants に記載されています。

3.6 情報発信

参加者の皆さんの、会議における環境配慮行動を周囲に PR することで、環境配慮の環を広げることが出来ます。

・皆さんの会議における環境配慮行動をブログやツイッターでアピールし、友人の行動を促しましょう。

◆ 交通案内

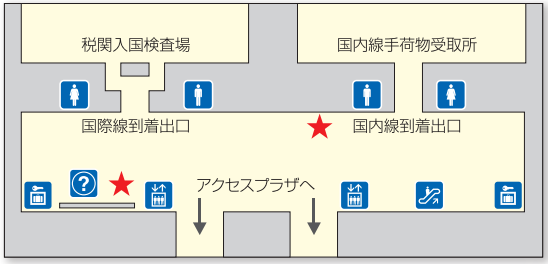
案内所

中部国際空港と名古屋市内主要駅に案内所を開設しています。交通案内などにご利用ください。

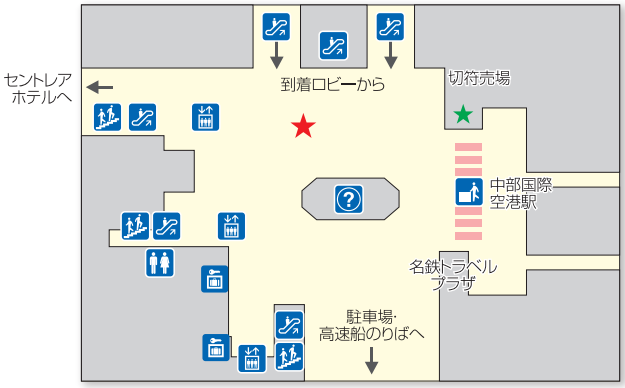
主な設置場所及び開設時間

設置場所		業務時間
中部国際空港	アクセスプラザ、国際線到着ロビー、国内線到着ロビー	8:30～21:00
名古屋駅	JR中央コンコース、名鉄西改集札口、 地下鉄東山線南改札口、地下鉄東山線中改札口	9:00～19:00
地下鉄栄駅	東山線東改札口･西改札口	9:00～16:00
金山総合駅	JR改札口と名鉄改札口の間	9:00～19:00

〈中部国際空港 到着ロビー(国際線･国内線)〉



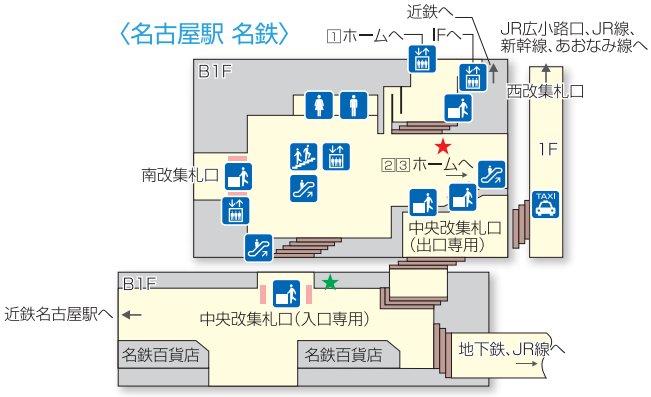
〈アクセスプラザ〉



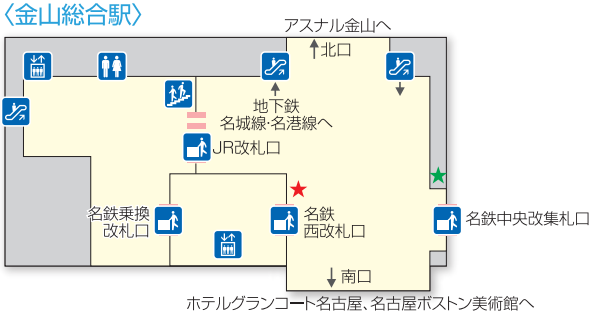
〈名古屋駅 JR〉



〈名古屋駅 名鉄〉



〈金山総合駅〉

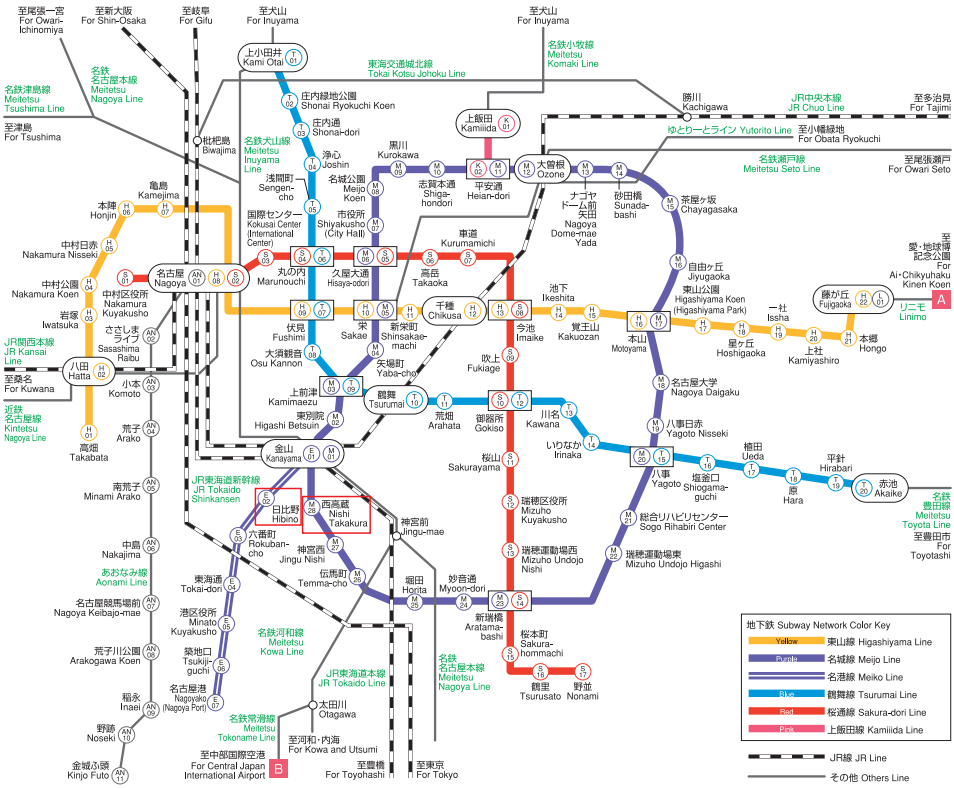


凡　例

- COP10案内所
- インフォメーション
- エスカレーター
- 改札口
- トイレ
- チケット交換所
- エレベーター
- 階段
- コインロッカー
- タクシー乗場

公共交通機関

名古屋市内路線図







※準急以上の停車駅

□ で囲んだ日比野・西高蔵がNCCの最寄り駅です。

タクシー乗降場

会議期間中 [　　] の 区域にタクシー乗降場を設置する予定です。



駐車場

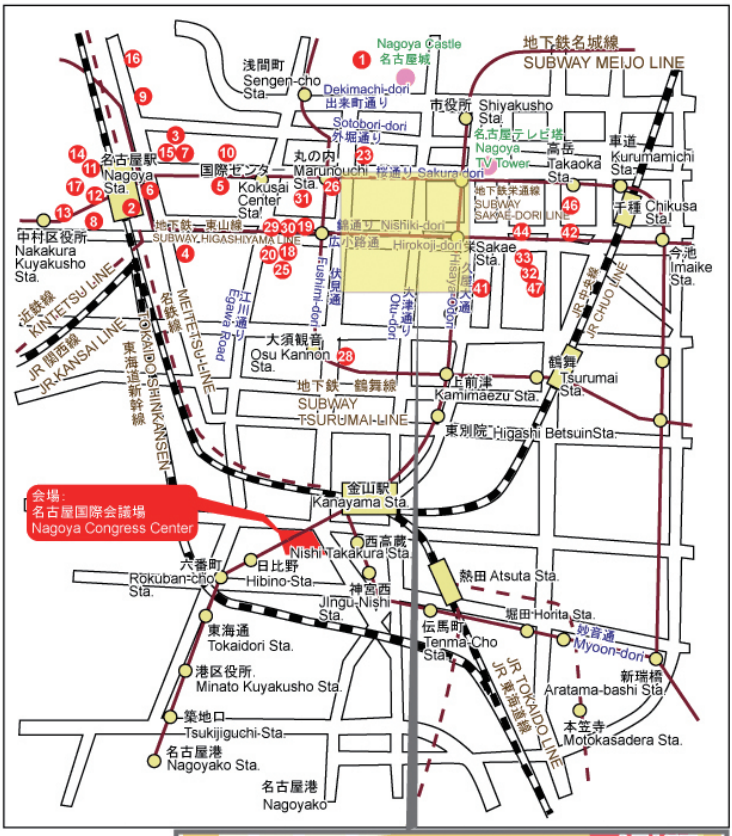
環境配慮の観点から、参加者の皆様には公共交通機関の利用をお願いしておりますが、自動車でお越しの際は、特別の事情がある場合を除き会議期間中は基本的に会場の駐車場を利用することはできません。NCC 周辺の民間有料駐車場をご利用いただくことになりますのでご了承ください。

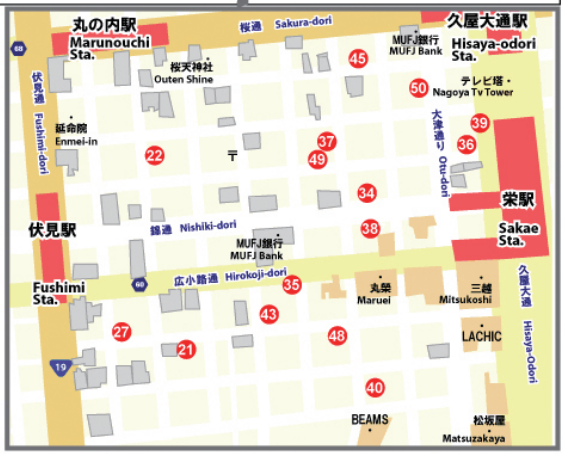
〈NCC 周辺民間駐車場一覧〉

名　称	タイムズ大宝１丁目	タイムズ大宝１丁目第２
電話番号	—	—
住　所	〒 456-0062　愛知県名古屋市熱田区大宝 1-7	〒 456-0062　愛知県名古屋市熱田区大宝 1-6
営業時間	24 時間無休	24 時間無休
台　数	11 台	6 台
料　金	【8:00 ～ 20:00】30 分毎 100 円 最大 1000 円 【20:00 ～翌 8:00】1 時間毎 100 円 最大 500 円	【8:00 ～ 20:00】30 分毎 100 円 最大 1000 円 【20:00 ～翌 8:00】1 時間毎 100 円 最大 500 円
Web サイト	http://times-info.net/map/parkdetails/BUK0021371.html?pid=yh	http://times-info.net/map/parkdetails/BUK0021373.html?pid=yh
備　考	駐車する車に制限事項あり。詳細は、上の Web サイト参照	駐車する車に制限事項あり。詳細は、上の Web サイト参照

名　称	NUP 日々野パーキング	名鉄協商日比野駅前 駐車場
電話番号	052-222-2705	—
住　所	〒 456-0062　愛知県名古屋市熱田区大宝 1-101	〒 456-0062　愛知県名古屋市熱田区大宝 1-418-1
営業時間	24 時間無休	24 時間無休
台　数	32 台	5 台
料　金	【8:00 ～ 20:00】20 分毎 100 円 最大 1000 円 【20:00 ～翌 8:00】1 時間毎 100 円 最大 300 円	全日【08:00 - 20:00】30 分毎 100 円 全日【20:00 - 08:00】1 時間毎 100 円 全日【20:00 - 08:00】500 円（うちきり料金）
Web サイト	http://search.ipos-land.jp/p/detail.aspx?id=M25000007	http://www.mkyosho.co.jp/parking/info/parkingDetail.php?parking_id=002664
備　考	駐車する車に制限事項あり。詳細は、上の Web サイト参照	コイン駐車場、無人駐車する車に制限事項あり。詳細は、上の Web サイト参照

主要ホテル位置図





1. ウェスティンナゴヤキャッスル
2. 名古屋マリオットアソシアホテル
3. ソフィテル ザ サイプレス名古屋
4. ダイワロイネットホテル名古屋駅前
5. キャッスルプラザ
6. 名鉄グランドホテル
7. ロイヤルパークイン名古屋
8. ナゴヤグランドホテル
9. ホテルサンルートプラザ名古屋
10. ホテルリソル名古屋
11. 名鉄ニューグランドホテル
12. 名古屋フラワーホテル
13. 名古屋リバティーホテル
14. チサンイン名古屋
15. 駅前モンブランホテル
16. 名鉄イン名古屋駅前
17. 第一富士ホテル
18. ヒルトン名古屋
19. 名古屋観光ホテル
20. リッチモンドホテル名古屋納屋橋
21. ハミルトンホテルレッド
22. ホテルトラスティ名古屋
23. 名古屋丸の内東急イン
24. 名古屋クラウンホテル
25. ハミルトンホテルブラック
26. ホテルウィングインターナショナル名古屋
27. 伏見モンブランホテル
28. HOTEL&ホール オーズプラザ
29. コンフォートホテル名古屋テヨダ
30. 名古屋ビーズホテル
31. 名古屋グリーンホテル
32. 名古屋東急ホテル
33. ホテルプリシード名古屋
34. 東京第一ホテル錦
35. 名古屋栄東急イン
36. ホテルトラスティ名古屋栄
37. ラグナスイート ホテル&ウェディング
38. 名古屋国際ホテル
39. アバホテル<名古屋錦>
40. プリンセスガーデンホテル
41. ザ・ビー名古屋
42. ホテルコムズ名古屋
43. 名古屋栄ワシントンホテルプラザ
44. チサンイン名古屋栄
45. 名鉄イン名古屋錦
46. 第二富士ホテル
47. ホテルルートイン名古屋栄
48. 名古屋ガーランドホテル
49. 名古屋錦ワシントンホテルプラザ
50. 紀州鉄道名古屋栄ホテル
51. 桑名シティホテル

名古屋国際会議場と名古屋学院大学内の飲食店・コンビニエンスストアー

名古屋国際会議場（NCC）内レストラン

1. パステル（1 号館 7 階）

営業期間：10 月 11 日～ 22 日（同期間中は無休）
営業時間：12:00 ～ 15:00、18:00 ～ 21:00
席数：着席 80 席（立食 120 席）
昼食・夕食：ビュッフェ形式（着席）1500 円程度
店頭販売（テイクアウト）：なし
HLS 中：10/23 から利用不可
提供メニュー（例）：ビュッフェメニュー（チキン、ポテト、サラダなど和洋食全般）
支払い：現金、クレジットカード

2. カスケード（3 号館地下 1 階）

営業期間：10 月 11 日～ 29 日（同期間中は無休。但し最終日は 15：00 にて営業終了）
営業時間：12:00 ～ 21:00 (15:00 ～ 18:00 は飲み物提供のみ）
席数：250 席
昼食・夕食：カフェテリア方式（カウンターで注文）1000 円未満
店頭販売（テイクアウト）：なし
HLS 中：利用可（期間中、数日間レセプション有）
提供メニュー（例）：日替わりランチ、きしめん、スパゲッティ、カレー（ビーフ・チキン）等
支払い：現金のみ

3. ユリ（2 号館 2 階）

営業期間：10 月 11 日～ 22 日（同期間中は無休）
営業時間：9:00 ～ 21:00
席数：80 席
昼食・夕食：カフェテリア方式（カウンターで注文）1000 円未満
店頭販売（テイクアウト）：なし
HLS 中：10/23 から利用不可
提供メニュー（例）：カレー 、スパゲッティ、サンドウィッチ等
支払い：現金のみ

※なお、上記営業期間、時間内においても関連行事開催の都合にて、レストランの使用が出来ない場合がございますので予めご了承願います。

名古屋国際会議場内ケータリングカー

4. ケータリングカー（4 号館前中庭）

営業時間：12:00 ～ 20:00（土日は休み）
昼食・夕食：移動販売車（3 台）による販売 ※コーヒーをテントで販売
HLS 中：利用可
提供メニュー（例）：①ピザ、パスタ、②チキン、ポテトフライ、ソーセージ（19 日～）
③ハンバーガー、コーヒーなど
支払い：現金のみ
その他：売り切れ次第終了

名古屋国際会議場内コンビニエンスストアー出店

5. サンコス（1 号館 1 階）

営業時間：（11 日～ 25 日）7:00 ～ 23:00 、（26 日～ 29 日）24h
HLS 中：利用可
提供メニュー（例）：弁当、パン、おにぎり、サンドイッチ、菓子、ドリンクなど
支払い：現金のみ

生物多様性交流フェア会場（白鳥公園・熱田神宮公園内）

6. カフェ・ダイバーシティ

営業時間：平日 9:30 ～ 18:30 土日 10:00 ～ 16:00
席数：200 席
昼食・夕食：カフェテリア方式（カウンターで注文）1000 円未満
店頭販売（テイクアウト）：メニューの一部可能
HLS 中：利用可
提供メニュー（例）：名古屋三昧（味噌カツ、エビフライ、手羽先等）、ハンバーガー、カレー、
スパゲッティ、ポテト、ドリンク
支払い：現金のみ

※提供メニュー、業務時間など、一部表示内容と異なることがあります。予めご了承ください。

名古屋学院大学

7. 1階 食堂

営業時間：10:00 ～ 18:30（12:30 ～ 13:20 は学生優先）
席数：456 席
昼食・夕食：カフェテリア方式（カウンターで注文）
店頭販売（テイクアウト）：なし
HLS 中：利用可
提供メニュー（例）：日替わりランチ、麺、パスタ等
支払い：現金のみ
その他：12:30 ～ 13:20 は混雑、土日祝日は休み

8. 2階 食堂

営業時間：11:00 ～ 15:00（12:30 ～ 13:20 は学生優先）
席数：410 席
昼食：カフェテリア方式（カウンターで注文）
夕食：なし
店頭販売（テイクアウト）：なし
HLS 中：利用可
提供メニュー（例）：日替わりランチ、麺、パスタ等
支払い：現金のみ
その他：12:30 ～ 13:20 は混雑、土日祝日は休み

9. モスバーガー

営業時間：10:00 ～ 16:00（12:30 ～ 13:20 は学生優先）
席数：なし
店頭販売（テイクアウト）：可能
HLS 中：利用可
提供メニュー（例）：ハンバーガー、ポテト、チキン等
支払い：現金のみ
その他：土日祝日は休み

名古屋学院大学

10. ヒルズマート（コンビニエンスストアー）

営業時間：8:30 ～ 18:00（12:30 ～ 13:20 は学生優先）
HLS 中：利用可
提供メニュー（例）：パン、弁当、おにぎり、サンドイッチ、菓子、ドリンクなど
支払い：現金のみ
その他：土日祝日は休み

11. デイリーヤマザキ（コンビニエンスストアー）

営業時間：8:00 ～ 19:00（12:30 ～ 13:20 は学生優先）
HLS 中：利用可
提供メニュー（例）：パン、弁当、おにぎり、サンドイッチ、菓子、ドリンクなど
支払い：現金のみ
その他：土日祝日は休み

12. カフェ ホヌ・コペ（コーヒー店）

営業時間：10:00 ～ 17:00
HLS 中：利用可
支払い：現金のみ
その他：土日祝日は休み

なお、NCC 周辺のレストラン情報につきましてはインフォメーションセンターにてご照会ください。

◆ ウェブサイトでの情報提供について

COP10/MOP5 の情報は以下のウェブサイトにて提供しています。

・CBD 事務局ウェブサイト
http://www.cbd.int/
・COP10/MOP5 日本政府公式ウェブサイト（日本語のみ）
http://www.cop10.go.jp/
・COP10 支援実行委員会ウエブサイト
http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/

＜その他関連ウェブサイト＞

・外務省ウェブサイト（生物多様性関連）
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/seibutsu_tayosei/
・環境省ウエブサイト（自然環境・生物多様性）
http://www.env.go.jp/nature/
・環境省ウェブサイト（生物多様性）
http://www.biodic.go.jp/biodiversity/
・2010 年国際多様性年ウェブサイト
http://www.cbd.int/2010/welcome/

◆ 非常時の注意事項

地震発生時等の非常時には、パニックになったり、会議場内が混乱することが最も危険です。NCC は耐震性の高い構造であり、落ち着いてアナウンスや警備員による誘導に従って下さい。

◆ その他注意事項

「路上禁煙地区」での喫煙は禁止されています

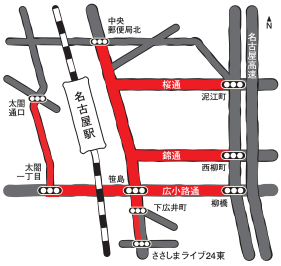


違反者は過料2,000円

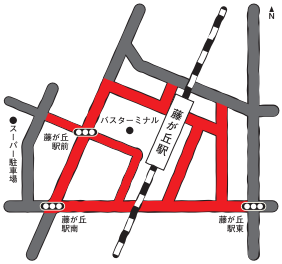
人ごみでの喫煙は、周囲の人にとって、やけどの恐れや衣服を焦がすなどとても危険な行為です。名古屋では、名古屋駅・栄・金山・藤が丘の4地区が、喫煙が禁止されている「路上禁煙地区」に指定されています。

地図中 ■ が路上禁煙地区です

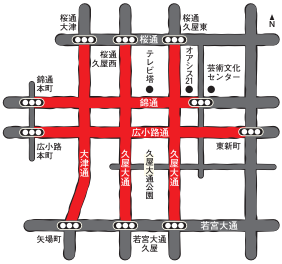
【名古屋駅地区 禁煙ロード】



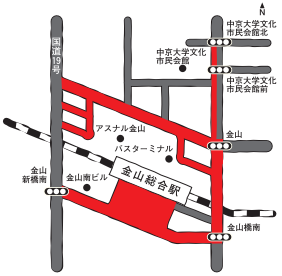
【藤が丘地区 禁煙ロード】



【栄地区 禁煙ロード】



【金山地区 禁煙ロード】



「路上禁煙地区」では、道路上でたばこを吸うことが禁止されています。歩きながらや自転車に乗っているときはもちろん、立ち止まっていてもたばこを吸うことはできません。また、火のついたたばこを持つこともできません。違反者には2,000円の過料が科せられます。公共の場所を安全で快適なものにするため、ご協力をお願いします。



表４